

事記	行業日數	製		採		製	選		製	
		計	製	計	製		計	製		
										計
兵役關係者員數	計	陸軍	海軍	計	陸軍	海軍	計	陸軍	海軍	計

備考

- 一 本表ハ石炭、亜炭及石油ヲ除キタル一般ノ鑛物ニ關シ適用スルモノトス
- 二 鑛夫、職員及其ノ他ノ從業者員數ハ六月三十日現在ニ在リ記載スベシ但シ休業中ノ鑛山又ハ七月一日以後事業ヲ開始シタル鑛山ニ於テハ休業ノ際又ハ十二月三十一日現在ニ依リ記載シ其ノ旨記事欄ニ記載スベシ
- 三 二種以上ノ業務ニ従事スル者ニ付テハ其ノ主ナル一方ニ記載スベシ
- 四 本表ノ種別ニ該當セザル特殊ノ業務ニ従事スル者アルトキハ其ノ名稱ニ依リ記載スルコトヲ得
- 五 其ノ他ノ從業者トハ給仕、小使、門衛、掃除夫等鑛夫以外ノ勞務者ヲ謂フ
- 六 兵役關係者トハ歸休兵役、豫備兵役、後備兵役及補充兵役ニ左ル者ヲ謂フ
- 七 賃金中ニハ手當、賞與、歩増等ニシテ實質上賃金ノ性質ヲ有スルモノノ全部ヲ包含セシムベシ
- 八 賃金ノ一工當平均トハ延工數ヲ以テ賃金總額ヲ除シタルモノヲ謂フ
- 九 鑛業代理人ヨリ差出ス場合ニハ其ノ者ノミ捺印スベシ

様式第十八號乙ノ二 (一通)

昭和 年 鑛業明細表

號		第 錄 登 縣																					
鑛種	區 別	坑 內						坑 外						種 別	延工數、平均一工ノ勞働時間及賃金	位置 何府縣何郡何町村	賃業權者又ハ代表者 住所	賃業代理人 住所					
		探	支	後	運	機	工	雜	探	選	炭	機	工						雜	計	延工數	平均一工ノ勞働時間	賃金

事記	行業日數		坑		區別	坑		區別		合計			
	計	探	外	計		外	內	計	別	職員數及其ノ他ノ從業者員數			
										男		女	
										計		計	
炭		炭		炭		炭		炭					

備考
一 本表ハ石炭及亞炭ニ關シ適用スルモノトス
二 鑛夫、職員及其ノ他ノ從業者員數ハ六月三十日現在ニ依リ記載スベシ但シ休業中ノ鑛山又ハ七月一日以後事業ヲ開始シタル鑛山ニ於テハ休業ノ際又ハ十二月三十一日現在ニ依リ記載シ其ノ旨記事欄ニ記載スベシ

三 二種以上ノ業務ニ從事スル者ニ付テハ其ノ主ナル一方ニ記載スベシ
四 本表ノ種別ニ該當セザル特殊ノ業務ニ從事スル者アルトキハ其ノ名稱ニ依リ記載スルコトヲ得
五 其ノ他ノ從業者トハ給仕、小使、門衛、掃除夫等鑛夫以外ノ勞務者ヲ謂フ

六 兵役關係者トハ歸休兵役、豫備兵役、後備兵役及補充兵役ニ在ル者ヲ謂フ
七 賃金中ニハ手當、賞與、歩増等ニシテ實質上賃金ノ性質ヲ有スルモノノ全部ヲ包含セシムベシ

八 賃金ノ一工當平均トハ延工數ヲ以テ賃金總額ヲ除シタルモノヲ謂フ
九 鑛業代理人ヨリ差出ス場合ニハ其ノ者ノミ捺印スベシ

樣式第十八號乙ノ三 (二通)

昭和 年 鑛業明細表

鑛種	鑛種	位置		何府縣何郡何町村	何	何		延工數	住所		住所	賃金	
		名稱				延工數	住所		平均一工當	總額			
		鑛夫員數、延工數、平均一工ノ勞働時間及賃金				住所	賃金		平均一工當	總額			
區別	鑛夫員數、延工數、平均一工ノ勞働時間及賃金						延工數	住所		住所	賃金		
	鑛種	鑛種	鑛種	鑛種	鑛種	鑛種		延工數	住所		住所	賃金	平均一工當
鑛種	鑛種	鑛種	鑛種	鑛種	鑛種	鑛種	延工數	住所	住所	賃金	平均一工當	總額	

鑛業法施行細則

事項記	第 號		行 業 日 數	精 製	坑 內 外 (精 製 ヲ 除 ク)	職 員 數 及 其 ノ 他 ノ 從 業 者 員 數																				
	區 別	職 別				精 製		技術ニ從事スルモノ		其ノ他ノ從業者		兵 役 關 係 者 員 數		夫		合 計										
						計	計	男	女	男	女	男	女	陸 軍	海 軍	陸 軍	海 軍									
	陸 軍	海 軍				計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計									

一 本表ハ石油(可摺質天然瓦斯ヲ含ム)ニ關シ適用スルモノト
 ス
 備 考

二 鑛夫、職員及其ノ他ノ從業者員數ハ六月三十日現在ニ依リ
 記載スベシ但シ休業中ノ鑛山又ハ七月一日以後事業ヲ開始
 シタル鑛山ニ於テハ休業ノ際又ハ十二月三十一日現在ニ依

- 三 リ記載シ其ノ旨記事欄ニ記載スベシ
- 二 二種以上ノ業務ニ從事スル者ニ付テハ其ノ主ナル一方ニ記載スベシ
- 四 本表ノ種別ニ該當セザル特殊ノ業務ニ從事スル者アルトキハ其ノ名稱ニ依リ記載スルコトヲ得
- 五 其ノ他ノ從業者トハ給仕、小使、門衛、掃除夫等鑛夫以外ノ勞務者ヲ謂フ

樣式第十八號丙 (二通)

- 六 兵役關係者トハ歸休兵役、豫備兵役、後備兵役及補充兵役ニ在ル者ヲ謂フ
- 七 賃金中ニハ手當、賞與、歩増等ニシテ實質上賃金ノ性質ヲ有スルモノノ全部ヲ包含セシムベシ
- 八 賃金ノ一工當平均トハ延工數ヲ以テ賃金總額ヲ除シタルモノヲ謂フ
- 九 鑛業代理人ヨリ差出ス場合ニハ其ノ者ノミ捺印スベシ

昭和 年 鑛業明細表

第 號	第 錄 登 縣	鑛 種	種 別	原 動 機											方 式	箇 數	實 馬 力	設 置 場 所	使 用 目 的	摘 要																										
				蒸 氣 機	瓦 斯 機	石 油 機	西 洋 形 機	水 車	日 本 形 機	電 動 機	其 他	電 機	其 他	電 機							其 他																									
		位 置	名 稱	何 府 縣 何 郡 何 町 村											何	何	何	何	何	何	何																									
		鑛 業 權 者 又 ハ 代 表 者	住 所	鑛 業 代 理 人											住 所	實 馬 力	設 置 場 所	使 用 目 的	摘 要																											

備考
一 電氣機械ニ付テハ實馬力ノ欄ニ「キロワット」又ハ「キロワ
ルト、アンペア」數ヲ記載スベシ

備考
二 汽鐘ニ付テハ實馬力ノ欄ニ火格子面積ヲ記載スベシ
三 休止及豫備ノモノハ摘要欄ニ其ノ旨記載スベシ
四 鑛業代理人ヨリ差出ス場合ニハ其ノ者ノミ捺印スベシ

様式第十八號丁 (二通)

昭和 年 鑛業明細表

登 縣	鑛種		鑛業用燃料動力使用額		製鍊及精製用		摘要	
	位置	名稱	何府縣何郡何町村	何	製鍊及精製用	製鍊及精製用	摘要	
	鐵種	鐵種	鐵種	鐵種	鐵種	鐵種	鐵種	
瓦斯	天然	自家發生ノモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	
石炭	自家發生ノモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	
薪	自家發生ノモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	
木	自家發生ノモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	
炭	自家發生ノモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	
石	自家發生ノモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	
瓦	自家發生ノモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	
天	自家發生ノモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	
瓦	自家發生ノモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	

第 條 號

類	鑛業用燃料動力使用額		製鍊及精製用		摘要	
	位置	名稱	何府縣何郡何町村	何	製鍊及精製用	製鍊及精製用
	鐵種	鐵種	鐵種	鐵種	鐵種	鐵種
電力	自家發生ノモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ
瓦斯	自家發生ノモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ
石炭	自家發生ノモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ
薪	自家發生ノモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ
木	自家發生ノモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ
炭	自家發生ノモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ
石	自家發生ノモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ
瓦	自家發生ノモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ
天	自家發生ノモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ
瓦	自家發生ノモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ	他ヨリ供給ヲ受クルモノ

備考
一 鑛ノ單位ハ購買單位ニ依リ記載スベシ
鑛業法施行細則

備考
二 石油ニハ「ピッチ」以外ノ精製品及原油ヲ含ム
三 鑛業用燃料動力使用額中坑内外用、製鍊及精製用ニ區分シ
五九

鑛業法施行細則

- 四 鑛キモノハ其ノ主ナル一方ニ記載スベシ
鐵鋼材中製鋼管ハ石油山ニ在リテハ之ヲ「ドリルパイプ」、
「ケーシングパイプ」及其ノ他ニ區分シテ記載スベシ
- 五 爆藥類中「ダイナマイト」、炭礦用安全爆藥及其ノ他ノ爆藥
ハ商標毎ニ區分シテ記載スベシ

- 六 雷管ハ號數毎ニ區分シテ記載スベシ
- 七 價額ハ購買價額ニ依ルベシ但シ自家生産又ハ自家發生ニ係
ルモノハ其ノ見積價額ニ依ルベシ
- 八 鑛業代理人ヨリ差出ス場合ニハ其ノ者ノミ捺印スベシ

六〇

様式第十九號甲

鑛業施業案

鑛業權者(又ハ鑛業代理人)

何

某印

- 登録(又ハ特許)番號……………
- 鑛區ノ所在地……………
- 鑛山ノ名稱……………
- 鑛種名……………
- 一 探鑛ニ關スル事項
 - (イ) 主要ナル鑛床ノ位置、走向、傾斜及厚サ
 - (ロ) 探掘方法
 - (ハ) 一箇年間ニ於ケル粗鑛採掘豫定高
- 二 選鑛及製鑛ニ關スル事項
 - (イ) 選鑛及製鑛ノ方法
 - (ロ) 一箇年間ニ於ケル鑛產物產出豫定高
- 三 採業上ノ危害豫防ニ關スル事項

様式第十九號乙

鑛業施業案

鑛業權者(又ハ鑛業代理人)

何

某印

- 登録(又ハ特許)番號……………
- 鑛區ノ所在地……………
- 鑛山ノ名稱……………
- 鑛種名 石炭(又ハ亞炭)
- 一 採炭ニ關スル事項
 - (イ) 主要ナル炭層ノ位置、名稱、走向、傾斜及厚サ
 - (ロ) 採炭ノ方法
 - (ハ) 一箇年間ニ於ケル豫定出炭高
- 二 採業上ノ危害豫防ニ關スル事項
 - (イ) 坑内ノ通氣ニ關スル方法又ハ設備
 - (ロ) 地表又ハ坑内ノ保全其ノ他危害ノ豫防又ハ公益ノ保護ニ關シ特別ノ施設又ハ制限ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ施設又ハ制限ニ關スル事項

鑛業法施行細則

六一

- 登錄(又ハ特許)番號……………
- 鑛區ノ所在地……………
- 鑛山ノ名稱……………
- 鑛種名 石油
- 一 探油ニ關スル事項
- (イ) 鑿井方法
- (ロ) 原油ノ處分方法
- 二 操業上ノ危害豫防ニ關スル事項
- (イ) 汲油又ハ製油ノ爲發生スル汚水又ハ廢物ノ處理方法
- (ロ) 前號ノ外危害ノ豫防又ハ公益ノ保護ニ關シ特別ノ施設ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ施設ニ關スル事項

備考

- 一 甲ハ金銀銅其ノ他一般ノ鑛物ニ關シ、乙ハ石炭又ハ亞炭ニ關シ、丙ハ石油ニ關シ適用スルモノトス
- 二 商工大臣又ハ鑛山監督局長ノ發シタル豫防命令ニ基キ施行スベキ事項ハ施業案ニ記載スルコトヲ要セズ

鑛業登錄令

明治三十八年六月二十日 勅令第百八十三號

(沿革)明治四十二年六月十九日勅令第六十三號、大正十一年十二月二十九日同第 五百十四號、昭和四年十月二十三日同第三百十五號改正

第一章 總 則

- 第一條 鑛業ニ關スル登錄ハ鑛山監督局ニ於テ之ヲ爲ス
- 第二條 同一ノ鑛業權ニ關シテ登錄シタル權利ノ順位ニ付法令ニ別段ノ定ナキトキハ其ノ順位ハ登錄ノ前後ニ依ル
- 第三條 附記登錄ノ順位ハ主登錄ノ順位ニ依ル但シ附記登錄間ノ順位ハ其ノ前後ニ依ル
- 第四條 假登錄ヲ爲シタルモノニ付本登錄ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ順位ハ假登錄ノ順位ニ依ル
- 第二章 鑛業原簿
- 第五條 鑛業原簿ハ試掘原簿、探掘原簿ノ二種トス
- 共同鑛業權者ニ付テハ共同人名簿、鑛區圖ニ付テハ鑛區圖綴込帳、信託ニ付テハ鑛業信託原簿ヲ設ケ鑛業原簿ノ一部トス
- 第六條 何人ト雖手數料ヲ納付シテ鑛業原簿ノ謄本、抄本ノ交付ヲ請求シ又ハ鑛業原簿若ハ其ノ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スルコトヲ得
- 手數料ノ外郵便切手ヲ納付シテ鑛業原簿ノ謄本、抄本ノ送付ヲ請求スルコトヲ得
- 鑛業登錄令
- 第七條 鑛業原簿ノ全部又ハ一部分が滅失シタル場合ニ於テ其ノ調製ニ關スル手續ハ商工大臣之ヲ定ム
- 前項ニ依リテ調製シタル原簿ハ滅失前ノ鑛業原簿ト看做ス
- 第八條 前條鑛業原簿ノ調製ヲ終リタルトキハ其ノ登錄ノ謄本又ハ抄本ヲ登錄名義人ニ交付スルコトヲ要ス
- 第三章 登錄手續
- 第一節 通 則
- 第九條 登錄ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外申請、囑託又ハ命令アルニ非ザレハ之ヲ爲スコトヲ得ズ
- 囑託又ハ命令ニ因ル登錄ノ手續ニ付テハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外申請ニ因ル登錄ニ關スル規定ヲ準用ス
- 第十條 登錄ハ登錄權利者及登錄義務者又ハ其ノ代理人出頭シ又ハ書留郵便ヲ以テ申請スルコトヲ要ス
- 第十一條 判決又ハ相續其ノ他ノ一般承繼ニ因ル登錄ハ登錄權利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得
- 第十二條 登錄名義人ノ表示ノ變更又ハ更正ノ登錄ハ登錄名義人ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

第十三條 左ノ登録ニ付テハ官廳又ハ公署ハ囑託書ニ登録原因ヲ附スル書面ヲ添附シテ囑託スルコトヲ要ス

一 處分ノ制限ノ登録

二 公賣處分ニ因ル債權移轉ノ登録

第十四條 債權ヲ取消シタルトキ又ハ取消處分ノ取消ヲ爲シタルトキハ商工大臣ハ其ノ登録ヲ命ズルコトヲ要ス

第十五條 登録ヲ申請スルニハ左ノ書類ヲ提出スルコトヲ要ス

一 申請書

二 登録原因ヲ附スル書面

三 登録原因ニ付第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ要スルトキハ之ヲ附スル書面

四 代理人ニ依リテ登録ヲ申請スルトキハ其ノ權限ヲ附スル書面

探知權ノ設定、變更ニ關スル試探權ノ抹消登録ノ申請又ハ共同債權ノ場合ヲ除クノ外廢業登録ノ申請ニ付テハ前項第二號ノ書面ヲ提出スルコトヲ要セズ

登録原因ヲ附スル書面ガ執行力アル判決ナルトキハ第一項第三號ニ掲ゲタル書面ヲ提出スルコトヲ要セズ

國、法人ノ代表者又ハ共同債權ノ代表者ニ依リテ申請スル場合ニ於テハ第一項第四號ノ書面ヲ提出スルコトヲ要セズ

第十六條 申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印ス

ルコトヲ要ス

一 債區所在地

二 債權ノ登録番號

三 申請人ノ氏名又ハ名稱及住所

四 代理人又ハ代表者ニ依リテ登録ヲ申請スルトキハ其ノ氏名及住所

五 登録原因及其ノ日附

六 登録ノ目的

七 年月日

第三十條第二項ノ規定ニ依ル抵當權設定ノ申請ニ付テハ前項第二號ノ記載ヲ要セズ

前條第二項ノ申請ニ付テハ第一項第五號ノ記載ヲ要セズ

第十六條ノ二 債權者ガ民法第四百二十三條ノ規定ニ依リ債務者ニ代位シテ登録ヲ申請スルニハ第十五條第一項ニ掲ゲタル書面ノ外代位原因ヲ附スル書面ヲ提出シ且申請書ニ第十六條第一項ニ記載シタル事項ノ外債權者ノ氏名又ハ名稱及住所並ニ代位原因ヲ記載シ之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

第十七條 左ノ場合ニ於テハ申請人ハ申請書ニ其ノ事實ヲ附スル戸籍若ハ登記簿ノ謄本若ハ抄本又ハ之ヲ附スルニ足ルベキ書面ヲ添附スルコトヲ要ス

一 申請人ガ相続人其ノ他ノ一般承繼人ナルトキ

二 登録名義人ガ其ノ表示ノ變更又ハ更正ノ登録ヲ申請スルトキ

トキ

三 死亡ニ因ル共同債權者脫退ノ登録ヲ申請スルトキ

第十八條 申請書ニ第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ附スル書面ヲ添附スルコトヲ要スル場合ニ於テハ其ノ第三者ヲシテ申請書ニ署名捺印セシメテ其ノ書面ニ代フルコトヲ得

第十九條 同一債山監督局ノ管轄ニ屬スル數箇ノ債區ニ關シ抵當權ノ設定ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ登録原因及登録ノ目的ガ同一ナルトキニ限り同一ノ申請書ヲ以テ登録ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ規定ハ債權又ハ抵當權ノ處分ノ制限ノ登録ヲ囑託スル場合ニ之ヲ準用ス

第二十條 登録ハ受附ノ順序ニ從ヒテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二十一條 左ノ場合ニ於テハ登録ノ申請ハ之ヲ受理セズ

一 事件ガ管轄ニ屬セザルトキ

二 事件ガ登録スベキモノニ非ザルトキ

三 當事者ガ出頭セズ又ハ申請書ヲ書留郵便ヲ以テ差出サザルトキ

四 申請書ガ方式ニ適合セザルトキ

五 申請書ニ掲ゲタル債權又ハ抵當權ノ表示ガ債權原簿ト帳簿スルトキ

六 第十七條第一號ノ場合ヲ除クノ外申請書ニ掲ゲタル登録義務者及共同債權代表者ノ表示ガ債權原簿ト符合セザルトキ又ハ申請人タル者ガ登録名義人タル場合ニ於テ其ノ表示ガ債權原簿ト符合セザルトキ

七 申請書ニ掲ゲタル事項ガ登録原因ヲ附スル書面ト符合セザルトキ

八 申請ニ必要ナル書面ヲ提出セザルトキ

九 登録稅ヲ納付セザルトキ

第二十二條 登録名義人ノ表示ノ變更若ハ更正ノ登録又ハ共同債權者脫退及其ノ代表者改定ノ登録ハ附記ニ依リテ之ヲ爲ス

第二十三條 行政區畫又ハ其ノ名稱ノ變更アリタルトキハ債權原簿ニ記載シタル行政區畫又ハ其ノ名稱ハ當然之ヲ變更シタルモノト看做ス大字若ハ字又ハ其ノ名稱ノ變更アリタルトキ亦同ジ

前項ノ變更アリタルトキハ債山監督局長ハ債權ノ表示ニ付テハ其ノ變更ヲ記載スルコトヲ要ス

第二十四條 登録ヲ完了シタル後其ノ登録ニ付錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ其ノ旨ヲ登録權利者及登録義務者ニ通知スルコトヲ要ス第十六條ノ二ノ場合ニ於テハ債權者ニ對シテモ亦之ヲ爲スコトヲ要ス

錯誤又ハ遺漏ガ續業權ノ表示ニ關スル登録ニ係ルトキハ更正ノ登録ヲ爲シタル後前項ノ通知ヲナスコトヲ要ス
 錯誤又ハ遺漏ガ前項以外ノ登録ニ係ルトキハ登録更正ノ申請アリタル場合ニ於テ登録上利害ノ關係ヲ有スル第三者ナルトキ又ハ申請書ニ登録上利害ノ關係ヲ有スル第三者ノ承諾書若ハ之ニ對抗スルコトヲ得ベキ裁判ノ謄本ヲ添附シタルトキニ限り附記ニ依リ更正ノ登録ヲ爲ス

第二十五條 抹消シタル登録ノ回復ヲ申請スル場合ニ於テ登録上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ベキ裁判ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第二十六條 申請書其ノ他登録ニ關スル書面ヲ作ルニハ字畫明瞭ナルコトヲ要ス
 金錢其ノ他ノ物ノ數量、年月日及番號ヲ記載スルニハ壹、貳、參、拾ノ文字ヲ用ウルコトヲ要ス
 文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ズ若シ訂正、挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其ノ字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ之ニ捺印シ其ノ削除ニ係ル文字ハ尙讀得ベキ爲字體ヲ存ズルコトヲ要ス

第二十七條 續業ノ出願許可スベキモノト決定シタル場合ニ於テ

第二節 續業權ニ關スル登録手續

テ登録稅ノ納付アリタルトキハ續山監督局長ハ續業權ノ設定又ハ變更ノ登録ヲ爲スコトヲ要ス續業權ノ表示ノ變更又ハ續種名更正ニ依ル表示ノ更正ノ場合亦同ジ

第二十八條 死亡、破産又ハ禁治産ニ因ル共同續業者脱退ノ登録ハ登録權利者又ハ登録義務者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

第二十九條 (削除)

第三十條 續業法第三十五條第二項ノ場合ニ於テ探掘權設定ノ登録ヲ爲サムトスルトキハ其ノ旨ヲ抵當權者ニ通知スルコトヲ要ス
 前項ノ抵當權者ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ抵當權設定ノ登録ヲ申請スルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ抵當權ノ順位ハ協定ノ順位ニ依ル

前項ノ申請ニ付テハ最後ニ通知ヲ受ケタル者ニ對スル前項ノ期間満了ノ日ノ翌日ニ於テ探掘權設定ノ登録ト共ニ其ノ登録ヲ爲スコトヲ要ス
 期間満了前ト雖總抵當權者ノ申請アリタルトキハ直ニ前項ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス

第三節 抵當權ニ關スル登録手續

第三十一條 續業法第三十五條第二項ニ基キ爲シタル承諾及協定ニ因ル抵當權設定ノ登録ハ登録權利者ノミニテ之ヲ申請ス

ルコトヲ得

第三十二條 抵當權設定ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登録原因ニ辨濟期ノ定アルトキ、利息ニ關スル定アルトキ、其ノ發生期若ハ支拂時期ノ定アルトキ又ハ債權ニ條件ヲ附シタルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス
 第三十三條 抵當權設定ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テ設定者ガ債務者ニ非ザルトキハ申請書ニ債務者ノ表示ヲ爲スコトヲ要ス

抵當權移轉ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ抵當權ガ債權ト共ニ移轉スルヤ否ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十四條 一定ノ金額ヲ目的トセザル債權ノ擔保タル抵當權設定ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ債權ノ價格ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十五條 債權ノ一部ノ讓渡又ハ代位辨濟ニ因ル抵當權移轉ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ讓渡又ハ代位辨濟ノ目的タル債權額ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十六條 抵當權變更ノ登録ノ申請アリタル場合ニ於テハ登録上利害ノ關係ヲ有スル第三者ナキトキ又ハ申請書ニ登録上利害ノ關係ヲ有スル第三者ノ承諾書若ハ之ニ對抗スルコトヲ得ベキ裁判ノ謄本ヲ添附シタルトキニ限り附記ニ依リ變更ノ登録ヲ爲ス

第三十七條 抵當權ノ移轉、順位ノ變更ニ因ル抵當權ノ變更及其ノ處分ノ制限ノ登録ハ附記ニ依リテ之ヲ爲ス

第四節 抹消ニ關スル登録手續

第三十八條 期限ノ満了ニ因リ續業權ガ消滅シタルトキハ其ノ原因ヲ記載シ抹消ノ登録ヲ爲スコトヲ要ス

第三十九條 廢業ニ因ル續業權消滅ノ登録ハ登録權利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

第四十條 續業ノ合併又ハ分割ニ因ル探掘權設定ノ登録ヲ爲シタルニ因リ其ノ合併又ハ分割前ノ探掘權消滅シタルトキハ其ノ原因ヲ記載シテ抹消ノ登録ヲ爲スコトヲ要ス

第四十一條 抵當權ノ登録アル探掘權ニ關シ廢業ニ因ル抹消ノ申請アリタルトキハ抹消ノ登録ヲ爲スト同時ニ競賣ノ目的ノ範圍内ニ於テ仍存續スル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

抵當權者競賣ノ請求ヲ爲サザルトキ又ハ競賣申立ノ登録アリタル場合ニ於テ其ノ登録抹消ノ囑託アリタルトキハ其ノ旨ヲ登録シタル後存續ニ關スル記載ヲ抹消スルコトヲ要ス

第四十二條 前條ノ規定ハ續業法第三十八條第一項及第三十九條ノ規定ニ依ル場合ヲ除クノ外抵當權ノ登録アル探掘權取消ニ因ル抹消ノ命令アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條 抵當權ガ人ノ死亡ニ因リテ消滅シタル場合ニ於テ申請書ニ其ノ死亡ヲ證スル戸籍ノ謄本其ノ他之ニ相當スル書

面ヲ添附スルトキハ登録権利者ノミニテ登録ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第四十四條 登録権利者ガ登録義務者ノ行方ノ知レザルニ因リ之ト共ニ登録ノ抹消ヲ申請スルコト能ハザルトキハ民事訴訟法ノ規定ニ從ヒテ公示催告ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ除裁判決アリタルトキハ申請書ニ其ノ原本ヲ添附シ登録権利者ノミニテ登録ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得
第一項ノ場合ニ於テ申請書ニ債權證書、債權ノ受取證書並民法第三百七十四條ノ規定ニ依リ抵當權ヲ行フコトヲ得ル定期金及損害賠償ノ受取證書ヲ添附シタルトキハ登録権利者ノミニテ抵當權ニ關スル登録ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第四十五條 廢業ニ因ル場合ヲ除クノ外登録ノ抹消ヲ申請スル場合ニ於テ其ノ抹消ニ付登録上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ第二十五條ノ規定ヲ準用ス

廢業ニ因ル登録ノ抹消ヲ申請スル場合ニ於テ假登録又ハ豫告登録ヲ爲シタル第三者アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ベキ裁判ノ原本ヲ添附スルコトヲ要ス

第四十六條 第十三條ノ規定ニ依リ公賣處分ニ因ル債權移轉ノ登録ノ囑託アリタル場合ニ於テハ處分ノ制限ノ登録ヲ抹消シ若シ抵當權ノ登録アルトキハ其ノ登録ヲ抹消スルコトヲ要ス

第五節 信託ニ關スル登録手續

第四十七條 債權ノ信託ノ登録ニ付テハ受託者ヲ登録権利者トシ委託者ヲ登録義務者トス

第四十八條 信託法第十四條ノ規定ニ依リテ信託財産ニ屬スル債權ノ信託ノ登録ハ受託者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得
前項ノ規定ハ信託法第二十七條ノ規定ニ基ク信託財産ノ復舊ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十九條 受益者又ハ委託者ハ受託者ニ代位シテ信託ノ登録ヲ申請スルコトヲ得

第五十條 信託ノ登録ノ申請ハ信託ニ因ル債權移轉ノ登録ノ申請ト同一ノ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス但シ前條ノ規定ニ依リテ受益者又ハ委託者ガ受託者ニ代位シテ信託ノ登録ヲ申請スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ハ信託法第十四條ノ規定ニ依リテ信託財産ニ屬スル債權ノ信託ノ登録ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

第五十一條 受託者更迭ノ場合ニ於テ債權移轉ノ登録ヲ申請スルニハ申請書ニ其ノ更迭ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

シタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十六條 裁判所ガ信託財産ノ管理方法ヲ變更シタルトキハ選滯ナク債權信託原簿ノ登録ヲ鐵山監督局長ニ囑託スルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ主務官廳ガ信託ノ條項ヲ變更シタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十七條 第五十一條又ハ第五十二條ノ場合ニ於テ債權原簿ノ登録ヲ爲シタルトキハ鐵山監督局長ハ職權ヲ以テ債權信託原簿ノ登録ヲ爲スコトヲ要ス

第五十八條 第五十一條、第五十二條及第五十四條乃至第五十六條ノ場合ヲ除クノ外第五十三條第一項ニ掲ゲタル事項ノ變更ニ關スル債權信託原簿ノ登録ハ受託者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ變更ヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

受益者又ハ委託者ハ受託者ニ代位シテ前項ノ申請ヲ爲スコトヲ得
第十六條ノ二ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル代位登録ノ申請ニ之ヲ準用ス

第五十九條 第五十五條ニ規定スル登録ヲ爲シタルトキハ鐵山監督局長ハ職權ヲ以テ債權原簿ニ其ノ旨ヲ附記スルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ信託法第五十條第二項ノ場合ニ於テ爲スベキ變更ノ登録ニ之ヲ準用ス

第五十二條 受託者ノ任務ガ死亡、破産、禁治産、準禁治産又ハ裁判所若ハ主務官廳ノ解任命令ニ因リテ終了シタルトキハ前條ノ登録ハ新受託者又ハ他ノ受託者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得受託者タル法人ノ任務ガ解散ニ因リテ終了シタルトキ亦同ジ

第五十三條 信託ノ登録ノ申請書ニハ第十六條ニ掲グル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス
一 委託者、受託者、受益者及信託管理人ノ氏名又ハ名稱及住所
二 信託ノ目的
三 信託財産ノ管理方法
四 信託終了ノ事由
五 其ノ他信託ノ條項

前項ニ掲グル事項ハ職權ヲ以テ債權信託原簿ニ之ヲ登録スルコトヲ要ス

第五十四條 裁判所ガ信託管理人ヲ選任シ又ハ解任シタルトキハ選滯ナク債權信託原簿ノ登録ヲ鐵山監督局長ニ囑託スルコトヲ要ス主務官廳ガ信託管理人ヲ選任シタルトキ亦同ジ

第五十五條 前條ノ規定ハ裁判所又ハ主務官廳ガ受託者ヲ解任債權登記令

第六十條 信託財産ニ屬スル債權ガ移轉ニ因リテ信託財産ニ屬セザルニ至リタル場合ニ於テ爲スベキ信託登録抹消ノ申請ハ移轉登録ノ申請ト同一ノ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第六十一條 第五條第二項及第四十七條乃至前條ノ規定ハ探掘權ヲ目的トスル抵當權ノ信託ノ登録ニ之ヲ準用ス

第四章 假登録及豫告登録

第六十二條 假登録ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ爲スモノトス

- 一 債權ノ移轉又ハ抵當權ノ設定、移轉、變更若ハ消滅ノ登録ノ申請ニ必要ナル手續上ノ條件ガ具備セザルトキ
- 二 前條ノ事項ニ關シ請求權ヲ保全セムトスルトキ

第六十三條 假登録ハ次條ノ場合ヲ除クノ外假登録權利者ノ申請ニ因リ其ノ目的タル債權ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ヨリ囑託書ニ假處分命令ノ正本ヲ添附シテ囑託スルコトヲ要ス

第六十四條 假登録ハ假登録義務者ノ承諾アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書ヲ添附シテ假登録權利者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ要ス

第六十五條 假登録ノ抹消ハ假登録名義人ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

第六十六條 豫告登録ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ爲スモノトス

- 一 登録原因ノ無効又ハ取消ニ因ル登録ノ抹消又ハ回復ノ訴訟ノ提起アリタルトキ但シ登録原因ノ無効又ハ取消ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ル場合ニ限ル
- 二 債權法第八十九條ノ規定ニ依リ債權ニ關スル出願ノ許可ニ對シ訴願又ハ行政訴訟ノ提起アリタルトキ

第六十七條 豫告登録ハ前條ニ掲ゲタル訴訟又ハ訴願ヲ受理シタル官廳ヨリ囑託書又ハ命令書ニ訴狀若ハ訴願書ノ謄本又ハ抄本ヲ添附シテ囑託又ハ命令スルコトヲ要ス

第六十八條 第六十六條第一號ニ掲ゲタル訴ヲ却下シタル裁判若ハ之ヲ提起シタル者ニ對シテ敗訴ヲ言渡シタル裁判ガ確定シタルトキ、訴ノ取下アリタルトキ、請求ノ拋棄アリタルトキ又ハ請求ノ目的ニ付和解アリタルトキハ第一審裁判所ハ囑託書ニ裁判ノ謄本若ハ抄本又ハ訴ノ取下、請求ノ拋棄若ハ和解ヲ證スル裁判所書記ノ書面ヲ添附シテ豫告登録ノ抹消ヲ囑

託スルコトヲ要ス

第六十九條 第六十六條第二號ニ掲ゲタル訴願又ハ行政訴訟ヲ却下シ、請求ヲ否認シ若ハ其ノ取下アリタルトキハ商工大臣ハ豫告登録ノ抹消ヲ命ジ行政裁判所ハ之ヲ囑託スルコトヲ要ス

第七十條 登錄ニ關スル處分ヲ不當トスル者ハ處分ノ了リタル日ヨリ三十日以内ニ商工大臣ニ異議ヲ爲スコトヲ得

第七十一條 異議ハ鐵山監督局長ニ異議狀ヲ差出シテ之ヲ爲ス

第七十二條 異議ハ新ナル事實及證據方法ヲ以テ其ノ證據ト爲スコトヲ得ズ

第七十三條 鐵山監督局長異議ヲ理由ナシトスルトキハ意見ヲ附シテ事件ヲ商工大臣ニ送付スルコトヲ要ス

第七十四條 鐵山監督局長異議ヲ理由アリトスルトキハ相當ノ處分ヲ爲スコトヲ要ス若シ登録完了ノ後ナルトキハ假登録ヲ爲シ之ヲ登録上ノ利害關係人ニ通知シ且前項ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス

第七十五條 異議ハ執行ヲ停止スル效力ヲ有セズ

第七十六條 商工大臣ハ登録上ノ利害關係人ニ決定ノ謄本ヲ送付スルコトヲ要ス

債權登記令

第六十五條 假登録ノ抹消ハ假登録名義人ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

第六十六條 豫告登録ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ爲スモノトス

- 一 登録原因ノ無効又ハ取消ニ因ル登録ノ抹消又ハ回復ノ訴訟ノ提起アリタルトキ但シ登録原因ノ無効又ハ取消ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ル場合ニ限ル
- 二 債權法第八十九條ノ規定ニ依リ債權ニ關スル出願ノ許可ニ對シ訴願又ハ行政訴訟ノ提起アリタルトキ

第六十七條 豫告登録ハ前條ニ掲ゲタル訴訟又ハ訴願ヲ受理シタル官廳ヨリ囑託書又ハ命令書ニ訴狀若ハ訴願書ノ謄本又ハ抄本ヲ添附シテ囑託又ハ命令スルコトヲ要ス

第六十八條 第六十六條第一號ニ掲ゲタル訴ヲ却下シタル裁判若ハ之ヲ提起シタル者ニ對シテ敗訴ヲ言渡シタル裁判ガ確定シタルトキ、訴ノ取下アリタルトキ、請求ノ拋棄アリタルトキ又ハ請求ノ目的ニ付和解アリタルトキハ第一審裁判所ハ囑託書ニ裁判ノ謄本若ハ抄本又ハ訴ノ取下、請求ノ拋棄若ハ和解ヲ證スル裁判所書記ノ書面ヲ添附シテ豫告登録ノ抹消ヲ囑

託スルコトヲ要ス

第六十九條 第六十六條第二號ニ掲ゲタル訴願又ハ行政訴訟ヲ却下シ、請求ヲ否認シ若ハ其ノ取下アリタルトキハ商工大臣ハ豫告登録ノ抹消ヲ命ジ行政裁判所ハ之ヲ囑託スルコトヲ要ス

第七十條 登錄ニ關スル處分ヲ不當トスル者ハ處分ノ了リタル日ヨリ三十日以内ニ商工大臣ニ異議ヲ爲スコトヲ得

第七十一條 異議ハ鐵山監督局長ニ異議狀ヲ差出シテ之ヲ爲ス

第七十二條 異議ハ新ナル事實及證據方法ヲ以テ其ノ證據ト爲スコトヲ得ズ

第七十三條 鐵山監督局長異議ヲ理由ナシトスルトキハ意見ヲ附シテ事件ヲ商工大臣ニ送付スルコトヲ要ス

第七十四條 鐵山監督局長異議ヲ理由アリトスルトキハ相當ノ處分ヲ爲スコトヲ要ス若シ登録完了ノ後ナルトキハ假登録ヲ爲シ之ヲ登録上ノ利害關係人ニ通知シ且前項ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス

第七十五條 異議ハ執行ヲ停止スル效力ヲ有セズ

第七十六條 商工大臣ハ登録上ノ利害關係人ニ決定ノ謄本ヲ送付スルコトヲ要ス

債權登記令

債權登記令

鑛業登錄令

願ニ付テハ舊鑛業原簿ニ其ノ登錄ヲ爲スコトヲ要ス
前項ノ場合ニ於テハ願書ヲ差出シタル日ヲ以テ申請ノ日ト看
做ス

第八十二條 本令施行前ニ相續ニ因リテ鑛業人ト爲リタル者又
ハ氏名、名稱若ハ住所ヲ變更シタル鑛業人ハ本令中相續又ハ

變更ノ申請ニ關スル規定ニ準ジテ調製シタル届書ヲ差出スコ
トヲ要ス

前項ノ届出アリタルトキハ舊鑛業原簿ニ相續又ハ變更ノ記入
ヲ爲スコトヲ要ス

第八十三條 本令ハ明治三十八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

鑛業登錄令施行細則

明治三十八年六月二十一日
農商務省令第十八號

(沿革)明治三十九年五月十一日農商務省令第十六號、同四十二年六月十九日第二十
五號、大正十一年十二月二十九日同第二十六號、昭和二年四月二十六日商工
省令第五號、昭和四年十月二十三日同第十三號改正

第一章 登錄ニ關スル帳簿

第一條 鑛業原簿ハ第一號及第二號ノ様式ニ依リ之ヲ調製スベ
シ

第二條 鑛業原簿ハ府縣ノ區畫ニ依リ北海道ニ付テハ國ノ區畫
ニ依リ別冊ト爲スベシ但シ登錄事件多ナル府縣又ハ國ニ付
テハ二箇以上ノ別冊ト爲スコトヲ得

第三條 鑛業原簿ハ一箇區ニ付一用紙ヲ備フ

第四條 鑛業原簿ヲ分設シタル數箇ノ區畫ニ跨ルトキハ其ノ一
箇ノ區畫ノ鑛業原簿ニノミ其ノ區畫ニ關スル用紙ヲ備フ

第五條 共同人名簿ハ第三號及第四號ノ様式ニ、鑛業信託原簿
ハ第八號様式ニ依リ之ヲ調製スベシ

第六條 共同人名簿ハ數區畫ヲ通ジテ一冊ト爲スコトヲ得此ノ
場合ニ於テハ鑛業原簿ヲ分設シタル區畫毎ニ見出ヲ附スベシ

第七條 鑛業原簿ハ各區畫ニ登錄番號並登錄年月日ヲ記載
シ登錄番號ノ順序ニ依リテ之ヲ編綴シ丁數ヲ附スベシ

第七條乃至第十條 (削除)

鑛業登錄令施行細則

第十一條 登錄受附帳ハ第七號様式ニ依リ毎年之ヲ調製シ受附
番號ヲ更新スベシ

第十二條 鑛山監督局ニハ登錄事務ニ關シ鑛業原簿、共同人名
簿、鑛業信託原簿、鑛區圖綴込帳及登錄受附帳ノ外左ノ帳簿
ヲ備フベシ

一 申請書囑託書附屬書類綴込帳

二 通知書綴込帳

三 通知簿

四 鑛業原簿謄本綴込帳

五 鑛業權抵當權登錄濟通知簿

六 異議書類決定原本綴込帳

七 謄本抄本交付閱覽申請事件簿

八 謄本抄本交付閱覽申請書綴込帳

第十三條 前條第三號及第五號ノ通知簿ニハ通知事項ヲ記入シ
通知書ト契印スベシ

第十四條 鑛業原簿ノ謄本、抄本若ハ鑛區圖謄本ノ交付又ハ謄

鑛業登錄令施行規則

業原簿若ハ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ提出スベシ

- 一 申請人ノ氏名又ハ名稱及住所
- 二 鑛區所在地及登録番號又ハ鑛區ヲ表示スルニ足ルベキ事項

- 三 申請ノ範圍
- 四 年月日

第十五條 前條ノ申請アリタルトキハ第十二條第七號ノ帳簿ニ請求ノ範圍、申請人ノ氏名又ハ名稱、受附ノ年月日及受附番號ヲ記載シタル上相當ノ處分ヲ爲スベシ

第十六條 鑛業原簿ノ謄本ハ鑛業原簿ト同一様式ノ用紙ヲ以テ之ヲ作成シ餘白アルトキハ之ニ朱線ヲ施シ其ノ末尾ニ左ノ認證文ヲ記載シタルモノヲ添附シテ契印ヲ爲シ鑛山監督局長之ニ年月日ヲ記載シテ記名捺印スベシ

此ノ謄本ハ鑛業原簿ト相違ナキコトヲ認證ス
前項ノ規定ハ鑛區圖ノ謄本及鑛業原簿ノ抄本ヲ作成スル場合ニ之ヲ準用ス

第十七條 鑛業原簿ノ謄本、抄本又ハ鑛區圖ノ謄本ヲ交付スルトキハ第十二條第七號ノ帳簿ニ交付ノ年月日ヲ記載シ謄本又ハ抄本ト契印スベシ

前項ノ規定ハ鑛業原簿ノ謄本ヲ他ノ鑛山監督局ニ移送スル場

合ニ之ヲ準用ス

第十八條 鑛業原簿ヲ分設シタル區畫ガ他ノ鑛山監督局ノ管轄ニ轉屬シタルトキハ全部ノ場合ニ在リテハ其ノ區畫ニ關スル鑛業原簿及其ノ附屬書類ヲ、一部ノ場合ニ在リテハ其ノ部分ニ於ケル鑛業權ニ關スル鑛業原簿ノ謄本及附屬書類若ハ其ノ謄本ヲ移送スベシ

第二章 申請手續

第十九條 登録申請書ガ數葉ニ涉ルトキハ申請人ハ每葉ノ綴目ニ契印スベシ但シ登録權利者又ハ登録義務者ガ多數ナルトキハ其ノ一人ノ契印ヲ以テ足ル

前項ニ依リ契印ナキモノニ付テハ擔當職員ニ於テ契印ヲ爲スベシ

第十九條ノ二 抵當權設定ノ新規登録ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ課稅標準ノ價格ヲ記載スベシ

前項ノ規定ハ滯納處分以外ノ原因ニ因ル鑛業權又ハ抵當權ノ處分ノ制限ノ登録ヲ囑託スル場合ニ之ヲ準用ス

第二十條 數箇ノ鑛山監督局ノ管轄ニ屬スル數箇ノ鑛區ニ關シ同一ノ登録原因ニ因ル抵當權設定ノ登録ヲ申請スル場合ニハ最初ニ登録ヲ申請スル鑛山監督局ニ登録稅ノ全額ヲ納付スベシ

前項ノ規定ニ從ヒ登録稅ヲ納付シタルトキハ擔當職員ハ登録

ヲ申請スベキ鑛山監督局ノ數ニ應ジ登録稅ノ受領證ヲ申請人ニ交付スベシ但シ二通以上ノ受領證ヲ交付スルトキハ各通ニ番號ヲ附スベシ

申請人ガ他ノ鑛山監督局ニ登録ヲ申請スルニハ申請書ニ受領證ヲ添附スベシ

前三項ノ規定ハ同一ノ登録原因ニ因ル鑛業權又ハ抵當權ノ處分ノ制限ノ登録ヲ囑託スル場合ニ之ヲ準用ス

第二十條ノ二 登録稅法施行規則第四條ノ規定ニ依リ登録稅ヲ徵收スル場合ニ於テハ擔當職員ハ後ニ登記又ハ登録ヲ申請スベキ登記所又ハ登録官廳ノ數ニ應ジ課稅價格ヲ記載シタル登録稅ノ受領證ヲ申請人ニ交付スベシ但シ二通以上ノ受領證ヲ交付スルトキハ各通ニ番號ヲ附スベシ

登録稅法施行規則第四條第一項ノ場合ニ於テ既ニ登記所又ハ登録官廳ニ於テ登記又ハ登録ヲ受ケタルトキハ登録申請書ニ其ノ登記所又ハ登録官廳ノ交付シタル受領證ヲ添附スベシ

第三章 登録手續

第二十一條 申請書ノ提出アリタルトキハ登録受附帳ニ登録ノ目的、申請人ノ氏名又ハ名稱、受附ノ年月日及受附番號ヲ、申請書ニ受附ノ年月日及受附番號ヲ記載スベシ但シ申請人ガ郵便ニ依リ申請シタル場合ニ於テ其ノ郵便物ノ到達ガ執務時間外ニ係ルトキハ郵便物ノ表面ニ登録申請ナルコトヲ明記シ

鑛業登錄令施行規則

タルモノニ限リ其ノ到達ノ時ヲ以テ受附ノ時ト看做ス

前項受附番號ハ受附ノ順序ニ依リ之ヲ附スベシ但シ同一ノ鑛業權又ハ抵當權ニ關シテ同時ニ數箇ノ申請アリタルトキハ同一ノ受附番號ヲ附スベシ

第一項ニ依リ申請人ノ氏名又ハ名稱ヲ記載スル場合ニ於テ登録權利者又ハ登録義務者ガ多數ナルトキハ代表者又ハ筆頭者ノ氏名若ハ名稱及他ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル

前三項ノ規定ハ登録稅納付書ノ提出アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十二條 登録番號欄ニハ各鑛區ニ付試掘原簿又ハ探掘原簿ニ登録ヲ爲シタル順序ヲ記載スベシ

表示欄ニハ鑛業權ノ表示ヲ爲シ其ノ變更消滅及鑛業法第三十一條、第三十六條又ハ昭和九年法律第三十七號附則第三項若ハ第六項ノ規定ニ依リ鑛區ノ重複シタル場合ニ於ケル鑛業權ノ制限ニ關スル事項ヲ記載シ表示番號欄ニハ表示欄ニ登録事項ヲ記載シタル順序ヲ記載スベシ

試掘原簿ニ在リテハ事項欄ニ試掘權ノ設定、移轉、處分ノ制限及共同鑛業權者ノ脱退ニ關スル事項ヲ、順位番號欄ニ事項欄ニ登録事項ヲ記載シタル順序ヲ、探掘原簿ニ在リテハ甲區事項欄ニ探掘權ノ設定、移轉、處分ノ制限及共同鑛業權者ノ脱退ニ關スル事項ヲ、乙區事項欄ニ抵當權ノ設定、變更、移

轉、消滅及處分ノ制限ニ關スル事項ヲ、順位番號欄ニ事項欄ニ登録事項ヲ記載シタル順序ヲ記載スベシ
債權原簿ニ信託ニ因ル債權ノ移轉ノ登録ヲ爲シタルトキハ登録ノ末尾ニ債權信託原簿ノ信託番號ヲ記載スベシ抵當權ノ信託ニ付亦同ジ

債權ノ消滅ヲ債權原簿ニ登録シタルトキハ債權信託原簿ニ抹消原因ヲ記載シ信託番號及信託權利ヲ抹消スベシ

第二十三條 表示欄ニ登録ヲ爲スニハ申請書受附ノ年月日、登録ノ目的其ノ他債權ノ表示ニ關スル事項並登録ノ年月日ヲ記載シテ擔當職員捺印スベシ

事項欄ニ登録ヲ爲スニハ申請書受附ノ年月日、受附番號、登録權利者ノ氏名又ハ名稱、住所、登録原因及其ノ日附、登録ノ目的其ノ他登録スベキ權利ニ關スル事項並登録ノ年月日ヲ記載シテ擔當職員捺印スベシ

債權登記令第十六條ノ二及第四十九條ノ申請アリタル場合ニ於テ事項欄ニ登録ヲ爲スニハ前項ニ依ルノ外債權者ノ氏名又ハ名稱及住所並代位原因ヲ記載スルコトヲ要ス

債權信託原簿ニ登録ヲ爲スニハ各信託債權毎ニ信託番號欄ニ登録ヲ爲シタル順序ヲ記載シ信託權利欄ニ信託權利及受附年月日番號ヲ記載シ委託者、受託者、受益者、信託管理人ノ住所氏名ヲ各相當欄ニ記載シ且要目欄ニハ信託事項、變更、

更正其ノ他登録事項ノ要目ヲ、事項欄ニハ信託事項ノ事項其ノ他記載スベキ事項、受附年月日番號ヲ記載シ擔當職員捺印ヲ爲シ要目欄及事項欄ニ縦線ヲ劃シテ餘白ト分界スベシ
第三項ノ規定ハ債權登記令第五十八條第二項ノ申請アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十四條 表示欄ニ登録ヲ爲ストキハ表示番號欄ニ番號ヲ、事項欄ニ登録ヲ爲ストキハ順位番號欄ニ番號ヲ記載スベシ
第二十一條第二項但書ノ規定ニ依リ同一ノ受附番號ヲ附シ同一ノ事項欄ニ登録ヲ爲スモノニ付テハ同一ノ順位番號ヲ記載スベシ

第二十五條 表示欄ニ登録ヲ爲シタルトキハ表示番號欄及表示欄ニ縦線ヲ劃シ事項欄ニ登録ヲ爲シタルトキハ順位番號欄及事項欄ニ縦線ヲ劃シテ餘白ト分界スベシ

第二十六條 附記登録ノ順位番號ヲ記載スルニハ主登録ノ番號ヲ用キ其ノ番號ノ左側ニ附記何號ト記載スベシ
前項ノ場合ニ於テハ主登録ノ順位番號ノ左側ニ附記登録番號ヲ記載スベシ

第二十七條 假登録ハ登録用紙中相當區事項欄ニ之ヲ爲シ其ノ左側ニ餘白ヲ存ズベシ

第二十八條 假登録ヲ爲シタルトキハ事項欄ノミニ縦線ヲ劃シ其ノ左側ニ本登録ヲ爲シ得ベキ相當ノ餘白ヲ存ジタル上順位

番號欄及事項欄ニ縦線ヲ劃スベシ

第二十九條 假登録ヲ爲シタル後本登録ノ申請アリタルトキハ假登録ノ左側ノ餘白ニ其ノ登録ヲ爲スベシ假登録ノ抹消ノ申請アリタルトキ亦同ジ

第三十條 廣告登録ハ債權登記令第六十六條第一號ニ關スルモノニ付テハ登録用紙中相當區事項欄ニ、同條第二號ニ關スルモノニ付テハ表示欄ニ之ヲ爲スベシ

第三十一條 變更又ハ更正ノ登録ヲ爲ストキハ其ノ登録ニ因リテ變更又ハ更正セラレタル登録事項ヲ抹消スベシ

第三十二條 登録ヲ完了シタルトキハ登録原因ヲ證スル書面ニ登録番號、申請書受附ノ年月日、順位番號登録ノ年月日及登録ノ旨ヲ記載シ債權監督局ノ印ヲ捺捺シテ之ヲ登録權利者ニ還付シ且登録義務者ニハ登録番號、登録ノ原因及其ノ日附登録ノ目的、申請書受附ノ年月日、順位番號登録ノ年月日及登録ノ旨ヲ記載シ債權監督局ノ印ヲ捺捺シタル書面ヲ交付スベシ信託ニ關スル登録ヲ完了シタルトキハ受益者ニモ亦之ヲ交付スベシ

法令ノ規定ニ依リ職權ヲ以テ爲ス登録又ハ申請ニ登録原因ヲ證スル書面ヲ要セザルモノノ登録ノ場合ニ於テハ前項ニ準ジ作成シタル登録通知書ニ債權監督局ノ印ヲ捺捺シテ之ヲ登録權利者ニ交付スベシ但シ債權ノ設定變更又ハ表示ノ變更

債權登記令施行細則

ニ關スル場合ニ於テハ債權區ヲ添附スベシ

前二項ノ場合ニ於テ登録權利者又ハ登録義務者多數ナルトキハ其ノ一人ニ交付スルヲ以テ足ル

第三十二條ノ二 債權登記令第十六條ノ二ノ申請アリタル場合ニ於テ登録ヲ完了シタルトキハ前條第一項ニ掲ゲタル書類ヲ債權者ニ還付シ且前條第一項ニ準ジ作成シタル登録通知書ニ債權監督局ノ印ヲ捺捺シテ之ヲ登録權利者ニ交付スベシ
前項ノ規定ハ債權登記令第四十九條、第五十八條第二項ノ申請アリタル場合ニ於テ登録ヲ完了シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十三條 債權消滅ノ登録ヲ爲シタル後登録回復ノ申請アリタル場合ニ於テ登録ヲ爲スニハ登録用紙中登録番號欄ニ新ナル番號ヲ、其ノ左側ニ前登録番號ヲ、表示欄ニ回復ノ原因ヲ記載シ其ノ消滅前ノ登録ト同一ノ登録ヲ爲スベシ
前項ノ規定ハ信託消滅ノ登録ヲ爲シタル後登録回復ノ申請アリタルトキ登録ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第三十四條 前條ニ規定シタル場合ヲ除クノ外登録回復ノ申請アリタル場合ニ於テ登録ヲ回復スルトキハ回復ノ登録ヲ爲シタル後更ニ抹消ニ係ル登録ト同一ノ登録ヲ爲シ若シ登録事項ノ一部ノミガ抹消ニ係ルトキハ附記ニ依リ更ニ其ノ事項ヲ登録スベシ

第三十五條 第十八條ニ依リ債權原簿謄本ノ移送ヲ受ケタルト

キハ續山監督局長ハ其ノ謄本ニ依リ相當續業原簿ニ登錄ヲ移
スベシ

續業原簿ヲ移ストキハ登錄用紙中登錄番號欄ニ新ナル番號ヲ
其ノ左側ニ前登錄區畫及前登錄番號ヲ記載スベシ

前項ノ場合ニ於テハ表示欄及事項欄ニ移シタル登錄ノ末尾ニ
續業原簿ノ謄本ニ依リ登錄ヲ移シタル旨及其ノ年月日ヲ記載
シ擔當職員捺印スベシ

他ノ續業原簿ニ登錄ヲ移シタルトキハ前登錄用紙中表示欄及
事項欄ニ他ノ續山監督局長ノ續業原簿ニ移シタル旨及其ノ年月
日ヲ記載シ擔當職員捺印スベシ

第三十六條 同一續山監督局長ノ管轄ニ屬スル續業區ガ他ノ登錄區
畫ニ轉屬シタルトキハ其ノ續業原簿ニ登錄ヲ移スベシ

前條第二項乃至第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十七條 登錄用紙中部又ハ區畫登錄ヲ爲スベキ餘白ナキニ
至リタルトキハ新用紙中登錄番號欄ニ前用紙ノ登錄番號ヲ轉
寫シ其ノ左側ニ第二ナルコト、前用紙ヲ編綴セル續業原簿ノ
冊數、丁數及其ノ繼續用紙ナル旨ヲ記載シ且前用紙ノ登錄番
號ノ左側ニ其ノ第一ナルコト、新用紙ヲ編綴セル續業原簿ノ
冊數、丁數及之ニ繼續スル旨ヲ記載スベシ但シ前用紙中其ノ
餘白アルモノニ付テハ仍之ニ記載スベシ

前項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設クル場合ニ之ヲ準用ス

目的タル新ナル事項及其ノ順位番號ヲ記載シ擔當職員捺印シ
前ニ記載シタル事項ヲ朱抹スベシ

第四十二條 前三條ノ場合ニ於テ代表者欄又ハ備考欄ニ餘白ナ
キニ至リタルトキハ新ニ番號欄ニ前番號ヲ轉寫シ其ノ左側ニ
其ノ第二ナルコト、前用紙ヲ編綴セル共同人名簿ノ冊數、丁
數及其ノ繼續用紙ナル旨ヲ、共同人名簿ニ共同續業者ノ氏
名又ハ名稱ヲ記載シ且前用紙ノ番號ノ左側ニ其ノ第一ナルコ
ト、繼續用紙ヲ編綴セル共同人名簿ノ冊數、丁數及之ニ繼續
スル旨ヲ記載スベシ但シ前用紙中其ノ餘白アルモノニ付テハ
仍之ニ記載スベシ

前項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設クル場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條 共同人名簿ニ記載ヲ爲シタル場合ニ於テハ續業原
簿ニ爲シタル登錄ノ末尾ニ共同人名簿ニ於ケル番號ヲ記載ス
ベシ

第四十四條 共同人名簿ニ共同續業者ノ氏名又ハ名稱及住所
ノ記載ヲ爲シタルトキハ共同人名簿ニ於ケル末尾ノ縦線ヲ番
號欄、代表者欄及備考欄ニ延長シテ餘白ト分界スベシ

續業登錄令施行細則

續業信託原簿ノ登錄用紙中要目欄及事項欄ニ餘白ナキニ至リ
タルトキハ第八號様式ノ二ノ用紙ヲ編綴シ丁數ヲ附シ前用紙
ト契印ヲ爲スベシ第三以下ノ繼續用紙ヲ設ケタルトキ亦同ジ

第三十八條 續業權ノ設定變更、表示ノ變更又ハ昭和九年法律
第三十七號附則第三項ノ場合ニ於テ續種名更正ニ依ル表示ノ
更正ノ登錄ヲ爲ス場合ニ於テハ登錄用紙中表示欄ニ爲シタル
登錄ノ末尾ニ續業區編綴込帳ノ冊數及丁數ヲ記載スベシ

第三十九條 續業權ノ設定又ハ移轉ノ登錄ヲ爲ス場合ニ於テ登
錄權利者多數ナルトキハ代表者ノミノ氏名又ハ名稱及住所並
其ノ代表者ナルコトヲ登錄用紙ニ、共同續業者ノ氏名又ハ
名稱及住所並代表者ノ氏名又ハ名稱ヲ共同人名簿ニ記載スベ
シ

共同續業代表者改定ノ届出又ハ指定アリタルトキハ前項ニ準
ジテ其ノ登錄ヲ爲シタル後前ノ代表者ノ表示ヲ朱抹スベシ

第四十條 前條ノ規定ニ依リ共同人名簿ニ記載ヲ爲スニハ番號
欄ニ番號ヲ、代表者欄ニ代表者ノ氏名又ハ名稱及其ノ届出又
ハ指定ノ年月日ヲ、共同人名簿ニ共同續業者ノ氏名又ハ名
稱及住所ヲ、備考欄ニ登錄番號及順位番號ヲ記載シテ擔當職
員捺印スベシ

第四十一條 共同續業者ノ表示ノ變更、更正又ハ脱退ニ付續
業原簿ニ登錄ヲ爲シタルトキハ共同人名簿中備考欄ニ登錄ノ

業權ニ付テハ其ノ登錄用紙中表示欄ニ續業法第三十一條、第
三十六條又ハ昭和九年法律第三十七號附則第三項若ハ第六項
ニ依ル續業權ノ登錄番號ヲ表示シ之ト重複ノ關係ヲ有スル旨
ヲ記載スベシ

前項ノ場合ニ於テ其ノ一箇ノ續業權消滅シタルトキハ之ト重
複ノ關係ヲ有スル他ノ續業權ノ登錄用紙中表示欄ニ其ノ續業
權ノ消滅シタル旨ヲ記載シ消滅ニ係ル登錄事項ヲ朱抹スベシ
第一項ノ場合ニ於テ續業區ノ合併又ハ分割ニ因ル採掘權消滅ノ
登錄ヲ爲ストキハ前項ノ手續ヲ爲ス外合併又ハ分割ニ因リ
設定セラレタル新ナル續業權ノ登錄番號ヲ表示シ之ト重複ノ
關係アルコトヲ記載スベシ

第四十五條 數個ノ採掘權ガ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ其ノ
一個ノ採掘權ニ付抵當權設定ノ登錄ヲ爲ストキハ其ノ採掘權
ノ登錄用紙中乙區事項欄ニ他ノ採掘權ノ登錄番號及續業區所在
地ヲ表示シ其ノ採掘權ガ共ニ抵當權ノ目的タル旨ヲ記載スベ
シ

第四十五條ノ二 追加抵當權設定ノ登錄ヲ爲シタルトキハ同一
債權ニ因リ抵當權ノ目的タル他ノ採掘權ノ登錄用紙中乙區事
項欄ニ追加抵當權ノ目的タル採掘權ノ登錄番號及續業區所在
地ヲ表示シ其ノ採掘權ガ共ニ抵當權ノ目的タル旨ヲ附記スベシ

鑛業登錄令施行細則

タル探掘權ト同一鑛山監督局ノ管轄ニ屬セザルトキハ追加抵當權ノ登錄ヲ爲シタル鑛山監督局ハ他ノ鑛山監督局ニ追加抵當權ノ設定ノ事由及登錄年月日並探掘權ノ登錄番號及鑛區所在地ヲ通知スベシ

前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ前條ノ規定ニ準ジテ其ノ通知ヲ受ケタル事項ヲ記載スベシ

第四十六條 數箇ノ探掘權ガ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ其ノ一箇ノ探掘權又ハ抵當權ノ消滅ノ登錄ヲ爲シタルトキハ他ノ探掘權ノ登錄用紙中乙區事項欄ニ其ノ抵當權消滅シタル旨ヲ附記シ消滅ニ係ル登錄事項ヲ抹スベシ

第四十六條ノ二 前條ノ場合ニ於テ探掘權ノ消滅ガ鑛區ノ合併又ハ分割ニ因ルモノナルトキハ前條ノ手續ヲ爲スノ外鑛業登錄令第三十條ニ依リテ新ニ設定セラレタル探掘權ノ登錄番號及鑛區所在地ヲ表示シ其ノ探掘權ガ共ニ抵當權ノ目的タル旨ヲ記載スベシ

第四十六條ノ三 第四十五條ノ三ノ規定ハ登錄令第三十條ニ依リテ新ニ設定セラレタル抵當權ニ關シ之ヲ準用ス

第四十七條 數箇ノ鑛山監督局ノ管轄ニ屬スル數箇ノ探掘權ガ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ一箇ノ探掘權又ハ抵當權ノ消滅ノ登錄ヲ爲シタルトキハ鑛山監督局長ハ關係鑛山監督局長ニ消滅ノ事由及登錄年月日ヲ通知スベシ

八〇

前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ第四十六條ノ規定ニ準ジテ其ノ通知ヲ受ケタル事項ヲ記載スベシ

第四十八條 登錄ヲ抹消スルニハ抹消ノ登錄ヲ爲シタル後抹消スベキ登錄ヲ抹スベシ

第四十九條 鑛業法第四十二條及第四十三條ノ規定ニ基キテ爲シタル競賣ニ因ル探掘權移轉ノ登錄ノ囑託アリタル場合ニ於テハ第三十三條ノ規定ニ準ジ登錄ヲ爲シタル後移轉ノ登錄ヲ爲スベシ

前項ノ場合ニ於テハ前登錄用紙ノ表示欄ニ新登錄用紙ニ登錄ヲ爲シタル旨ヲ記載スベシ

第五十條 第十八條又ハ鑛業登錄令第二十三條ノ場合ニ於テ鑛業原簿ノ表紙ニ記載シタル鑛山監督局又ハ行政區畫ノ名稱ノ變更アリタルトキハ其ノ表紙ニ其ノ名稱ノ變更アリタルコト及其ノ年月日ヲ記載シ且其ノ名稱ヲ變更スベシ

附則

第五十一條 本則ハ明治三十八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第五十二條 鑛業登錄令第七十八條ノ規定ニ依リ舊鑛業原簿ヨリ登錄ヲ移シタルトキハ表示欄及事項欄ニ移シタル登錄ノ末尾ニ舊鑛業原簿第何冊第何丁ヨリ移シタル旨及年月日ヲ記載シ擔當職員捺印スベシ

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ舊鑛業原簿ニ鑛業原簿第何冊第

何丁ニ移シタル旨、其ノ登錄番號及年月日ヲ記載シ擔當職員捺印スベシ

明治四十二年六月農商務省令第二十五號附則

本則施行以前ニ於テ鑛業法第三十一條又ハ第三十六條ニ依リ鑛業權ノ設定又ハ變更ヲ登錄シタルモノニ付テハ本則施行ノ日ニ於テ第四十四條ノ二第一項ノ規定ニ準ジテ各鑛業權ノ登錄用紙ニ其旨ヲ記載スベシ

(様式略ス)

鑛業警察規則

昭和四年十二月十六日
商工省令第二十一號

第一條 探掘權者技術管理者ヲ選任シタルトキハ遲滯ナク履歷

書ヲ添ヘ其ノ旨鑛山監督局長ニ届出ヅベシ

當時百五十人以上ノ鑛夫ヲ雇傭スル鑛山ノ探掘權者ハ技術管
理者ヲ選任スベシ但シ作業ノ狀況ニ依リ危害又ハ衛生上有害
ノ虞少キ場合ニ於テハ鑛山監督局長ノ許可ヲ受ケ之ヲ選任セ
ザルコトヲ得

鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ當時百五十人未滿ノ鑛
夫ヲ雇傭スル鑛山ノ探掘權者ニ對シ技術管理者ノ選任ヲ命ズ
ルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テ鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ技
術管理者ノ増員ヲ命ズルコトヲ得

前三項ノ場合ニ於テ技術管理者死亡シ又ハ之ヲ解任シタルト
キハ探掘權者ハ遲滯ナク其ノ後任者ヲ選任スベシ

第二項乃至第四項以外ノ場合ニ於テ技術管理者死亡シ又ハ之
ヲ解任シタルトキハ探掘權者ハ遲滯ナク其ノ旨鑛山監督局長
ニ届出ヅベシ

第二條 鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ探掘權者ニ對シ
技術管理者ノ改任ヲ命ズルコトヲ得

第三條 技術管理者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ノ中ヨリ之ヲ

鑛業警察規則

選任スベシ

一 帝國大學、大學令ニ依ル大學又ハ實業專門學校ニ於テ鑛
業ノ技術ニ關スル學科ヲ修メ之ヲ卒業シタル者ニシテ一年
以上其ノ實務ニ從事シタルモノ

二 鑛業ノ技術ニ關シ前號ニ掲グル者ト同等以上ノ學力ヲ有
スル者ニシテ一年以上其ノ實務ニ從事シタルモノ

三 工業學校 尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業
年限三年ノモノニ於テ鑛業ノ技術ニ關スル學科ヲ修メ之
ヲ卒業シタル者ニシテ三年以上其ノ實務ニ從事シタルモノ

四 鑛業ノ技術ニ關シ前號ニ掲グル者ト同等以上ノ學力ヲ有
スル者ニシテ三年以上其ノ實務ニ從事シタルモノ

石炭山ニ於テ五年以上其ノ鑛業ノ技術ニ關スル實務ニ從事シ
タル者ハ前項ノ規定ニ拘ラズ鑛山監督局長ノ監督ヲ經テ之ヲ
石炭山ノ技術管理者ニ選任スルコトヲ得石炭山以外ノ鑛山ニ
於テ五年以上其ノ鑛業ノ技術ニ關スル實務ニ從事シタル者石
炭山以外ノ鑛山ニ付亦同ジ

第四條 技術管理者ハ技術ニ關スル一切ノ事項ヲ管理ス

第五條 探掘權者二人以上ノ技術管理者ヲ選任シタルトキハ其

ノ權限ヲ定メ其ノ旨鑛山監督局長ニ届出ヅベシ

第六條 探掘權者ハ技術管理者ヲシテ二以上ノ鑛山ノ技術管理者ヲ兼ネシムルコトヲ得ズ但シ特別ノ事由アル場合ニ於テ鑛山監督局長ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第七條 探掘權者ハ技術管理者旅行、疾病其ノ他ノ事故ニ依リ職務ヲ行フコト能ハザル場合ニ於テ其ノ職務ヲ行ハシムル爲第三條ノ資格ヲ有スル者ノ中ヨリ代理者ヲ選任スルコトヲ得前項ノ代理者ハ豫メ之ヲ選任スルコトヲ得

鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ探掘權者ニ對シ第一項ノ代理者ノ選任ヲ命ズルコトヲ得

前三項ノ規定ニ依リ代理者ヲ選任シタルトキハ遲滞ナク履歷書ヲ添ヘ其ノ旨鑛山監督局長ニ届出ヅベシ

代理者ハ其ノ職務ヲ行フ期間本則其ノ他鑛業警察ニ關スル命令ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ技術管理者ト看做ス

第八條 技術管理者(技術管理者ヲ選任セザル鑛山ニ在リテハ鑛業權者)ノ危害又ハ衛生上有害ノ虞アリト認ムルトキハ遲滞ナク應急又ハ豫防ノ處置ヲ爲スベシ

第九條 鑛業權者本則其ノ他鑛業警察ニ關スル命令ノ規定ニ依リ係員ヲ選任シタルトキハ遲滞ナク履歷書ヲ添ヘ其ノ旨鑛山監督局長ニ届出ヅベシ

前項ノ係員死亡シ又ハ之ヲ解任シタルトキハ鑛業權者ハ遲滞

以上擔任ノ職務ニ關スル作業ニ從事シタルモノ

七 尋常小學校ヲ卒業シタル者ニシテ三年以上擔任ノ職務ニ關スル作業ニ從事シタルモノ

前項第五號乃至第七號ノ期間ハ安全燈係員、發破係員及衛生係員ニ付テハ一年以上トス

第十二條 鑛業權者ハ本則其ノ他鑛業警察ニ關スル命令ノ規定ニ依リ係員ヲシテ二以上ノ鑛山ノ係員又ハ二以上ノ係員ヲ兼ネシムルコトヲ得ズ但シ特別ノ事由アル場合ニ於テ鑛山監督局長ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條 探掘權者ハ坑内保安係員ヲ選任スベシ

鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ探掘權者ニ對シ坑外保安係員ノ選任ヲ命ズルコトヲ得

鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ試掘權者ニ對シ坑内保安係員又ハ坑外保安係員ノ選任ヲ命ズルコトヲ得

第十四條 坑内保安係員又ハ坑外保安係員ハ技術管理者(技術管理者ヲ選任セザル鑛山ニ在リテハ鑛業權者)ノ指揮ヲ受ケ坑内保安係員ハ坑内ノ保安ニ關スル事項、坑外保安係員ハ坑外ノ保安ニ關スル事項ヲ掌ル但シ本則其ノ他鑛業警察ニ關スル命令ノ規定ニ依リ他ノ係員ノ掌ル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

坑内保安係員又ハ坑外保安係員ハ毎日鑛夫ノ就業場所、通行

ナク其ノ旨鑛山監督局長ニ届出ヅベシ

第十條 鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ鑛業權者ニ對シ本則其ノ他鑛業警察ニ關スル命令ノ規定ニ依リ係員ノ改任又ハ増員ヲ命ズルコトヲ得

第十一條 本則其ノ他鑛業警察ニ關スル命令ノ規定ニ依リ係員ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニシテ二十歳以上ノモノノ中ヨリ之ヲ選任スベシ

一 帝國大學、大學令ニ依リ大學又ハ實業專門學校ニ於テ擔任ノ技術ニ關スル學科ヲ修メ之ヲ卒業シタル者ニシテ六月以上其ノ實務ニ從事シタルモノ

二 擔任ノ技術ニ關シ前號ニ掲グル者ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ニシテ六月以上其ノ實務ニ從事シタルモノ

三 工業學校(尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年ノモノ)又ハ高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年ノモノ)ニ於テ擔任ノ技術ニ關スル學科ヲ修メ之ヲ卒業シタル者ニシテ一年以上其ノ實務ニ從事シタルモノ

四 擔任ノ技術ニ關シ前號ニ掲グル者ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ニシテ一年以上其ノ實務ニ從事シタルモノ

五 中學校ヲ卒業シタル者ニシテ二年以上擔任ノ職務ニ關スル作業ニ從事シタルモノ

六 前號ニ掲グル者ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ニシテ二年

場所其ノ他危險ノ虞アル場所ヲ巡視シ落磐、瓦斯爆發其ノ他ノ危險ノ有無ヲ検査スベシ危險又ハ危險ノ虞アリト認ムルトキハ遲滞ナク作業ノ中止、通行ノ遮斷其ノ他ノ應急處置ヲ爲シ技術管理者(技術管理者ヲ選任セザル鑛山ニ在リテハ鑛業權者)ノ指揮ヲ受ケタベシ

坑内保安係員又ハ坑外保安係員ハ保安日誌ヲ作り巡視ノ都度各場所ニ於ケル狀況及危害豫防ニ付爲シタル處置ヲ記入スベシ

第十五條 落磐ノ虞アル場合ニ於テハ支柱其ノ他危害豫防ノ設備ヲ爲スベシ

探炭夫ヲシテ探炭ノ際支柱ヲ爲サシムル必要アル場合ニ於テハ其ノ支柱方法ヲ定メ之ヲ遵守セシムベシ

第十六條 探掘又ハ掘進中特ニ落磐ノ虞アル場合ニ於テハ支柱材其ノ他ノ坑内支持ニ必要ナル材料ヲ其ノ落磐防止ノ作業上便宜ノ場所ニ豫メ配置スベシ

第十七條 坑道ノ掘進其ノ他掘鑿ヲ爲ス場合ニ於テ水又ハ瓦斯ノ噴出ニ因ル危害發生ノ虞アルトキハ先進鑽孔ノ穿鑿其ノ他適當ナル處置ヲ爲スベシ

第十八條 衛生及危害豫防ニ必要ナル分量ノ空氣ヲ坑内ニ給送スル爲通氣施設ヲ爲スベシ

第十九條 扇風機ニ依リ通氣(局部通氣ヲ除ク)ヲ爲ス場合ニ於

坑内保安係員ハ通氣管ヲ作り毎日前項ノ氣壓測定器ノ示度ヲ之ニ記入スベシ

第二十條 同時ニ五十人以上ノ鑛夫ヲ坑内ニ就業セシム石炭坑ニ於テハ左ノ各號ノ規定ニ依ルベシ

一 氣壓計及溫度計ヲ坑口附近ノ適當ナル場所ニ備付クルコト

二 坑内通氣管ヲ作り坑内ニ於ケル通氣路及通氣ノ方向並ニ通氣裝置及通氣量測定箇所ノ位置ヲ記入スルコト

三 坑内保安係員ハ通氣管ヲ作り毎日氣壓計及溫度計ノ示度ヲ記入スルコト

四 坑内保安係員ハ三十日以内毎ニ測風器ヲ以テ通氣量ノ測定ヲ爲シ且揮發油安全燈其ノ他適當ナル器具ヲ以テ可燃性瓦斯ノ檢定ヲ爲スコト但シ通氣ニ異常アリト認ムルトキ又ハ通氣系統ヲ變更シタルトキハ其ノ都度測定及檢査ヲ爲スベシ

五 坑内保安係員ハ前號ノ測定ノ結果ヲ通氣簿ニ、檢査ノ結果ヲ保安日誌ニ記入スルコト

鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ前項以外ノ鑛山ニ付前項各號ノ規定ノ全部又ハ一部ヲ適用スルコトヲ得

第二十一條 坑内ニ可燃性瓦斯存スルコトヲ發見シタルトキハ

運轉ナク其ノ旨鑛山監督局長ニ届出スベシ

第二十二條 坑内ニ可燃性瓦斯存スル鑛山ニ於テハ坑内保安係員ハ毎日揮發油安全燈其ノ他適當ナル器具ヲ以テ可燃性瓦斯ノ存シ又ハ存スル虞アル場所ニ付其ノ分量ヲ測定シ其ノ結果ヲ保安日誌ニ記入スベシ

前項ノ測定ハ鑛夫ノ入坑時前六時間以内ニ之ヲ爲スベシ

第二十三條 坑内作業場ニ於ケル可燃性瓦斯含有率ハ百分ノ二以下ト爲シ坑内通行場所ニ於テハ百分ノ三以下ト爲スベシ但シ特ニ安全ナル方法ニ依リ通氣改良ニ關スル作業ヲ爲サシムル場合ニ於テハ其ノ作業場ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

坑内保安係員ハ可燃性瓦斯含有率百分ノ二ヲ超ユル場所ニハ一定ノ警標ヲ掲ゲ百分ノ三ヲ超ユル場所ニハ欄圍其ノ他通行遮斷ノ設備ヲ爲スベシ

第二十四條 可燃性瓦斯存スル坑内ニ於ケル火番所ハ入氣坑道内ノ安全ナル場所ニ之ヲ設クベシ

第二十五條 坑内ニ於ケル可燃性瓦斯ノ存シ又ハ存スル虞アル場所ニ在リテハ安全燈及安全電燈(携帯用安全電燈及安全裝置ヲ施シタル定著電燈)以外ノ燈火ヲ使用スルコトヲ得ズ

運搬又ハ通氣ノ關係上同一區域ト認メ得ベキ坑内區域ノ一部ニ可燃性瓦斯存スル場合ニ於テハ其ノ存セザル部分ニ在リテモ安全燈及携帯用安全電燈以外ノ携帯用燈火ヲ使用スルコト

ヲ得ズ

鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ鑛業權者ニ對シ其ノ使用スル安全燈又ハ安全電燈ノ種類ヲ制限スルコトヲ得

第二十六條 坑内ニ於テハ使用スル安全燈ノ構造ハ左ノ各號ノ規定ニ依ルベシ

一 鎮鎗ヲ完全ナラシムルコト

二 針金ノ直徑〇・三乃至〇・四ミリメートルニシテ一平方センチメートルニ付百四十四箇以上ノ篩目ヲ有スル金屬製網筒ヲ二重ニ備ヘ其ノ内側ノ網筒ハ鐵製又ハ鋼製ト爲スコト

三 硝子筒ハ堅牢ニシテ溫度ノ激變ニ耐ユルモノト爲スコト

四 各部分品ノ接合部ハ空氣ノ侵入セザル構造ト爲スコト

第二十七條 坑内ニ於テ安全燈又ハ携帯用安全電燈ヲ使用スル場合ニ於テハ左ノ各號ノ規定ニ依ルベシ

一 安全燈係員ヲ選任スルコト

二 安全燈又ハ携帯用安全電燈ノ取扱ヲ爲サシムル爲安全燈室ヲ設クルコト、其ノ揮發油ヲ注入スル場所ノ内部ハ之ヲ不燃性ナラシムルコト

三 坑内ニ在リテハ火番所以外ノ場所ニ於テ安全燈ノ鎮鎗ヲ開キ點火セシメザルコト

四 毀損其ノ他ノ故障ニ因リ安全燈又ハ携帯用安全電燈ヲ坑内ニ於テ交換セシムル場合ニ於テハ火番所、見張所其ノ他

鑛業警察規則

一定ノ場所ニ豫備品ヲ備付ケ同所ニ於テ交換セシムルコト

第二十八條 安全燈係員ハ技術管理者(技術管理者ヲ選任セザル鑛山ニ在リテハ鑛業權者)ノ指揮ヲ受ケ安全燈及携帯用安全燈ノ檢査ヲ爲シ其ノ掃除及授受ヲ監督スベシ但シ坑内火番所ニ於テ再點火ヲ爲ス場合ニ於ケル檢査ニ限リ鑛業權者ノ選定シタル助手ヲシテ之ヲ爲サシムルコトヲ得

安全燈係員ハ左ノ各號ノ規定ヲ遵守スベシ

一 安全燈及携帯用安全電燈ノ各部分品及組立後ノ各接合部ヲ檢査シ異狀ナシト認メ鎮鎗ヲ施シタル後ニ非ザレバ之ヲ交付セシメザルコト

二 安全燈日誌ヲ作り安全燈及携帯用安全電燈ノ總數、使用數、破損及修理ノ狀況並ニ其ノ檢査、掃除及授受ニ關スル事項ヲ記入スルコト

第二十九條 坑内ニ於テ安全燈ヲ使用スル者ハ左ノ各號ノ規定ヲ遵守スベシ

一 安全燈ヲ開カザルコト

二 安全燈ヲ蓋ニ天井ニ接近セシメザルコト、顛倒又ハ毀損ノ虞アル場所ニ之ヲ置カザルコト

三 安全燈ヲ蓋ニ振動シ又ハ傾斜セシメザルコト

四 安全燈ヲ點火シタル儘坑内ニ置去ラザルコト

五 安全燈ノ火焰ヲ蓋ニ伸大セザルコト

六 安全燈ノ火焰伸大シタル場合ニ於テハ安全燈ヲ靜カニ下スコト、消火ヲ要スルトキト雖モ之ヲ放棄シ又ハ吹消サザルコト

七 安全燈ノ毀損又ハ故障ヲ發見シタル場合ニ於テハ遲滯ナク消火スルコト

第三十條 坑内ニ於テハ燈火用トシテ石油又ハ魚油ヲ使用スルコトヲ得ズ但シ油煙ヲ發セザル裝置ヲ爲シタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第三十一條 可燃性瓦斯存スル坑内ニ於テハ火番所以外ノ場所ニ於テ喫煙ヲ爲シ又ハ當該係員ノ指揮ニ依ル場合ノ外發火具喫煙具若ハ煙草ヲ携帯スルコトヲ得ズ

第三十二條 爆發藥ヲ使用スル者ニ對シテハ裝填用込物トシテ粘土其ノ他發火又ハ引火ノ虞ナキ物ヲ交付スベシ

第三十三條 爆發藥ヲ使用スル者ハ左ノ各號ノ規定ヲ遵守スベシ

一 「ダイナマイト」其ノ他ノ「ナイトログリセリン」爆發藥ニシテ凍結シタルモノハ火氣ニ接近セシメ又ハ直接蒸氣ニ接觸セシムル等危險ナル方法ヲ以テ之ヲ融解セザルコト

二 裝填ハ鐵製具ヲ以テ之ヲ爲サザルコト「ナイトログリセリン」爆發藥又ハ棉火藥ノ裝填ニハ木製ノ込棒以外ノモノヲ使用セザルコト

少クトモ五メートルノ區域ニ亘リ可燃性瓦斯ニ付揮發油安全燈其ノ他適當ナル器具ヲ以テ其ノ分量ヲ測定シ且炭塵ニ付危險ノ有無ヲ検査スルコト

二 坑内ニ於ケル可燃性瓦斯含有率百分ノ一以上ノ場所ニ於テハ發破ヲ行ハザルコト但シ其ノ含有率百分ノ二以下ノ場所ニ於テ電氣點火法ニ依ル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

三 空發其ノ他危險ノ虞ナカラシムル爲裝填前鑽孔ノ位置、狀態及深サヲ検査スルコト

四 乾爆炭塵存スル場合ニ於テハ電氣點火法ニ依ルニ非ザレバ同一場所ニ於テ一時ニ二發以上ノ發破ヲ行ハザルコト

五 隣接場所ニ於テ順次ニ發破ヲ行フ場合ニ於テハ風下ヨリ之ヲ爲スコト

六 發破係員ハ發破日誌ヲ作り發破ノ場所毎ニ左記事項ヲ記入スルコト
イ 第一號及第三號ノ測定及検査ノ結果
ロ 發破ノ回数
ハ 各鑽孔ニ於ケル爆發藥、雷管及導火線ノ種類及數量
ニ 點火ノ方法
ホ 不發ノ場合ニ於テ爲シタル處置
ヘ 助手ヲ使用シタル場合ニ於テハ其ノ氏名

第三十六條 鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ鑛業權者ニ

三 爆發藥ノ裝填用込物ハ前條ノ規定ニ依リ交付ヲ受ケタル物ノ外之ヲ使用セザルコト

四 點火ハ豫メ附近ノ者ニ警告シタル後ニ非ザレバ之ヲ爲サザルコト

五 點火後爆發セザルトキハ電氣點火法ニ依リタル場合ハ發破母線ヲ點火器ヨリ取離シタル後、其ノ他ノ方法ニ依リタル場合ハ少クトモ十五分ヲ經過シタル後ニ非ザレバ爆發藥裝填箇所ニ近寄ラザルコト

六 不發ノ裝藥及其ノ込物ハ之ヲ掘出サザルコト、此ノ場合ニ於テハ當該係員ノ指揮ヲ受ケ危險ナカラシムル爲適當ノ處置ヲ爲スコト

第三十四條 鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ可燃性瓦斯ノ存シ若ハ存スル虞アル場所又ハ乾爆炭塵存スル場所ニ於ケル發破ヲ行ハシムル爲鑛業權者ニ對シ發破係員ノ選任ヲ命ズルコトヲ得

第三十五條 發破係員ハ技術管理者(技術管理者ヲ選任セザル鑛山ニ在リテハ鑛業權者)ノ指揮ヲ受ケ爆發藥ノ點火其ノ他發破ニ關スル事項ヲ掌ル但シ爆發藥ノ携帯又ハ裝填ニ限リ鑛業權者ノ選定シタル助手ヲシテ之ヲ爲サシムルコトヲ得

發破係員ハ左ノ各號ノ規定ヲ遵守スベシ
一 發破ヲ行フ場合ニ於テハ其ノ都度點火前其ノ箇所ノ周圍

對シ其ノ使用スル爆發藥、雷管、導火線又ハ電氣點火器ノ種類ヲ制限スルコトヲ得

鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ鑛業權者ニ對シ可燃性瓦斯ノ存シ若ハ存スル虞アル場所又ハ乾爆炭塵ノ存スル場所ニ付一鑽孔ニ裝填スル爆發藥ノ數量ヲ其ノ種類毎ニ制限スルコトヲ得

第三十七條 同時ニ五十人以上ノ鑛夫ヲ就業セシムル坑内ニ於テハ其ノ奥部ニ於テ連絡スル二以上ノ通路ヲ以テ地表ニ連絡セシムベシ

前項ノ通路ハ適當ナル間隔ヲ保有セシメ常ニ出入ニ支障ナカラシムベシ
前二項ノ規定ハ枝坑ニシテ同時ニ五十人以上ノ鑛夫ヲ就業セシムルモノニ付之ヲ準用ス

前三項ノ規定ハ豎坑、斜坑又ハ坑道ヲ開鑿スル場合ニ於テ鑛山監督局長ノ許可ヲ受ケタルトキハ之ヲ適用セズ

鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ同時ニ五十人未滿ノ鑛夫ヲ就業セシムル坑内ニ付第一項乃至第三項ノ規定ヲ適用スルコトヲ得

第三十八條 坑内梯子道(非常用ノモノヲ除ク)ヲ設クル場合ニ於テハ左ノ各號ノ規定ニ依ルベシ但シ已ムヲ得ザル事由アル場合ニ於テ鑛山監督局長ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在

ラズ

- 一 梯子ハ坑壁トノ間ニ適當ナル間隔ヲ保有セシメ傾斜八十度以內ト爲スコト
- 二 十メートル以內毎ニ踏棚ヲ設クルコト但シ長サ十五メートル以內ノ梯子道ニ於テハ踏棚ヲ設ケザルコトヲ得
- 三 昇降ヲ便ナラシムル爲梯子ハ其上端ヲ六十センチメートル以上突出セシメテ設クル等適當ナル設備ヲ爲スコト
- 四 堅坑又ハ四十度以上ノ斜坑ニ於テ梯子道ノ外捲揚裝置ヲモ設クル場合ニ於テハ板仕切其ノ他ノ隔壁ヲ設クルコト
- 第三十九條 捲揚裝置ニ依リ人ヲ昇降セシムル堅坑又ハ四十度以上ノ斜坑ニ於テハ何時ニテモ捲揚裝置ニ依ラズシテ出入シ得ベキ他ノ通路アル場合ノ外非常梯子道ヲ設クベシ
- 第四十條 當該保員又ハ當該保員夫ニ非ザレバ自動車道、捲揚車道若ハ無極綱索軌道ノ車輛又ハ機關車ニ依リ運轉スル車輛ニ乗車スルコトヲ得ズ但シ鑛山監督局長ノ許可ヲ受ケ危害豫防ノ施設ヲ爲シタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ
- 第四十一條 自動車道、捲揚車道又ハ斜坑ニ於ケル無極綱索軌道ニ依リ車輛ヲ運轉スル場合ニ於テハ逸走豫防ノ施設ヲ爲スベシ
- 第四十二條 自動車道、捲揚車道、無極綱索軌道又ハ機關車ヲ運轉スル軌道ヲ設ケタル坑道ハ之ヲ常時通行ニ供スルコトヲ

- 得ズ但シ軌道ノ傍側ニ步道ヲ設ケタル場合又ハ白色ノ標示ヲ爲シタル回避所ヲ適當ノ間隔ニ設ケタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ
- 鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ前項但書ノ規定ニ拘ラズ專用通行坑道ノ設置ヲ命ズルコトヲ得
- 第一項但書ノ回避所ヲ設ケタル場合ニ於テモ鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ軌道ノ傍側ニ步道ノ設置ヲ命ズルコトヲ得
- 第四十三條 同時ニ五十人以上ノ礦夫ヲ就業セシムル坑内ニ於テハ通行坑道ノ分岐點其ノ他必要ナル場所ニ坑道ノ名稱ヲ揭示シ且出口ノ方向ヲ指示スベシ
- 第四十四條 捲揚裝置ヲ設ケタル堅坑及坑井竝ニ自動車道、捲揚車道及無極綱索軌道ヲ設ケタル坑道ニハ人羣ヲ以テ合圖ヲ爲シ得ル場合ノ外信號裝置ヲ設クベシ
- 第四十五條 堅坑又ハ四十度以上ノ斜坑ヲ開鑿スル場合ニ於テハ土石等ノ墜落ニ因ル危害ヲ豫防スル爲メ適當ナル施設ヲ爲スベシ
- 第四十六條 堅坑、坑井、手掘油井又ハ四十度以上ノ斜坑ニ於テハ其ノ坑口及他ノ坑道ト交又スル箇所ニ蓋、柵圍其ノ他墜落豫防ノ設備ヲ爲スベシ
- 堅坑、坑井、手掘油井若ハ四十度以上ノ斜坑ノ内部又ハ堅坑

油井若ハ試錐孔ノ槽上又ハ架空索道ノ支柱上ニ於テ作業セシムル場合ニ於テハ腰綱其ノ他ノ墜落豫防法ヲ講ズベシ

第四十七條 不用ノ堅坑、坑井、手掘油井又ハ四十度以上ノ斜坑ニハ坑口ノ閉塞其ノ他墜落豫防ノ施設ヲ爲スベシ

第四十八條 不用ノ坑道又ハ坑内探掘跡ニハ柵圍其ノ他通行遮斷ノ設備ヲ爲スベシ

第四十九條 坑内ニ於ケル見張所及火香所ニ在リテハ消火器又ハ砂ヲ備付クル等適當ナル消火施設ヲ爲スベシ

前項ノ場所ヲ除クノ外坑内ニ於ケル唧筒座、捲揚機械場其ノ他火災發生ノ虞アル場所ニ在リテハ防火施設ヲ爲シ且前項ノ消火施設ヲ爲スベシ

第五十條 石油坑口又ハ貯油場ノ周圍十メートル以內ニ於テハ發火具、裸火其ノ他危険ナル火氣ヲ使用シ又ハ喫煙ヲ爲スコトヲ得ズ石油精製場又ハ天然揮發油採收場ニ於ケル油類、可燃質瓦斯ノ貯藏、取扱ヲ爲ス場所ノ周圍十メートル以內ニ付亦同ジ

第五十一條 礦業權者ハ汽罐、原動機、坑内通氣用主要扇風機捲揚裝置其ノ他危害豫防上特別ノ注意ヲ要スル機械又ハ裝置ヲ設ケタル場合ニ於テハ機械保安保員ヲ選任スベシ

第五十二條 機械保安保員ハ技術管理者(技術管理者ヲ選任セザル鑛山ニ在リテハ礦業權者)ノ指揮ヲ受ケ前條ノ機械及裝

置ノ保安ニ關スル事項ヲ掌ル

機械保安保員ハ毎日前條ノ機械及裝置ニ付異狀ノ有無ヲ検査スベシ異狀アリト認ムルトキハ適當ナル處置ヲ爲シ運轉ナク

技術管理者(技術管理者ヲ選任セザル鑛山ニ在リテハ礦業權者)ノ指揮ヲ受クベシ

機械保安保員ハ機械保安日誌ヲ作り検査ノ都度機械及裝置ノ操作及保全ノ狀況、修理及休止、危害豫防ニ付爲シタル處置其ノ他重要ナル事項ヲ記入スベシ

第五十三條 機械又ハ裝置ノ危険ナル部分ニハ柵圍、被覆其ノ他危害豫防ノ施設ヲ爲スベシ

第五十四條 人ヲ昇降セシムル堅坑捲揚裝置ヲ設ケタル場合ニ於テハ左ノ各號ノ規定ニ依ルベシ

一 制動機及深度指示器ヲ備フルコト

二 捲揚超過ヨリ生ズル危害豫防ノ設備ヲ爲スコト

三 捲揚臺ニハ上蓋ヲ備ヘ且墜落豫防ノ設備ヲ爲スコト

四 捲揚臺ヲ支持スル附屬金具及捲綱ハ最大荷重ノ少クトモ十倍ニ耐ユルモノナルコト但シ捲綱切斷ニ因ル危害ヲ豫防スル施設ヲ爲シタル場合ニ於テハ鑛山監督局長ノ許可ヲ受ケ最大荷重ノ八倍ニ耐ユル捲綱ヲ用フルコトヲ得

五 離合セタル捲綱ヲ用ヒザルコト

第五十五條 汽罐、架空索道、機關車ヲ運轉スル軌道、坑外無

極細索軌道、延長一キロメートル以上ノ坑外軌道（機關車ヲ運轉スル軌道及坑外無極細索軌道ヲ除ク）、人ヲ昇降セシムル豎坑捲揚裝置、原動機ヲ使用スル選礦場、燒礦場、製鍊場石油精製場、天然揮發油採收場又ハ容量五十キロワット以上ノ石油「タンク」（石油精製場又ハ天然揮發油採收場ニ附屬スルモノヲ除ク）ヲ設ケントスル場合ニ於テハ左ニ掲グル事項ヲ具シ鑛山監督局長ノ認可ヲ受クベシ

一 汽罐

- (一) 設置場所
- (二) 使用目的
- (三) 型式、構造、安全弁ノ種類、直徑及主要寸法
- (四) 火格子面積及傳熱面積
- (五) 最大常用壓力
- (六) 水壓試驗ヲ爲シタル年月日及其ノ成績
- (七) 製作所名、製作年月及修繕其ノ他履歴ノ概要
- (八) 煙突ノ構造、材料、直徑、高さ及圖面
- (九) 汽罐ノ設計圖及据付圖面
- (十) 焚炭機、通風機、蒸氣過熱機、給水機、給水加熱機其ノ他汽罐附屬ノ機械及裝置ノ型式、構造及主要寸法並ニ其ノ配置圖
- (十一) 附近ニ於ケル建設物、道路、石油坑井等トノ關係

圖
二 架空索道

- (一) 使用目的
- (二) 方式、延長及最大運搬量
- (三) 起點、終點ノ位置及其ノ高低差
- (四) 最大徑間及往復兩線ノ間隔
- (五) 原動機ノ種類、型式、キロワット數、廻轉數及主要寸法
- (六) 傳動裝置及 ^{トラクションロープ} 曳索、緊張裝置ノ構造 ^{重錘ノ重量} 重錘ノ重量ヲモ記載スルコト
- (七) 軌索、緊着裝置ノ構造及主要寸法
- (八) 制動機ノ種類及構造
- (九) 牽器及扼索裝置ノ構造說明圖
- (十) 牽器ノ自重、最大積載重量及牽器相互間ノ間隔
- (十一) 綱索ノ種類、構造、全長、直徑又ハ周圍長、單位長ノ重量、最大抗張力及製作所名
- (十二) 支柱及綱索支持裝置ノ種類、構造及主要寸法
- (十三) 綱索ノ最大運轉速度
- (十四) 信號裝置
- (十五) 道路、建設物等ニ對スル保安設備

(十六) 線路平面圖及線路縱斷面圖 線路平面圖ハ縮尺二千五百分ノ一以上トシ停留場ノ位置、線路ノ左右二十米以内ノ地形、道路ノ種類並ニ行政區劃ノ名稱及境界ヲ記載シ線路中心線ニハ支柱ノ位置ヲ明示スルコト

線路縱斷面圖ハ縮尺横ハ平面圖ト同一縱ハ二百五十分ノ一以上トシ停留場ノ位置、支柱ノ位置及高さ並ニ支柱及兩橋ノ基面ノ高差ヲ記載シ線路中心線ニハ支柱ノ位置ノ距離及百米毎ニ距離ヲ明示スルコト

(十七) 工事ノ着手及完成ノ豫定時期

三 機關車ヲ運轉スル軌道

- (一) 使用目的
- (二) 起點、終點ノ位置及其ノ高低差並ニ軌道ノ延長
- (三) 最小曲線半徑及最急勾配
- (四) 軌間、單線又ハ複線ノ區別、複線ニ在リテハ軌道ノ中心間隔ヲ記載スルコト
- (五) 坑道又ハ隧道ノ長さ、幅、高さ、軌道ノ中心ヨリ坑道又ハ隧道ノ兩側迄ノ距離
- (六) 橋梁又ハ棧橋ノ長さ、幅及構造
- (七) 機關車ノ種類、型式、自重、索引力及主要寸法並ニ製作所名及製作年月
- (八) 蒸氣機關車ニ在リテハ機關ノ型式、キロワット數、廻轉數、主要寸法、齒輪トノ接続方法、汽罐ノ構造、安全弁ノ種類、直徑、筒數、煙室ニ於ケル火粉止裝置、主要寸法及灰箱ニ於ケル灰渣止裝置ヲモ記載スルコト

- (九) 內燃機關車ニ在リテハ發動機ノ種類、型式、キロワット數、廻轉數、主要寸法及齒輪トノ接続方法並ニ機關車ノ燃料ノ種類及積載量
- (十) 壓縮空氣機關車ニ在リテハ機關ノ構造、キロワット數、廻轉數及主要寸法並ニ壓縮空氣槽ノ構造、安全弁ノ種類、直徑及筒數ヲモ、主要寸法、最大常用壓力、水壓試驗ヲ爲シタル年月日及其ノ成績
- (十一) 制動機ノ種類及構造
- (十二) 警報及照明ノ裝置
- (十三) 車輛ノ構造、主要寸法、自重及最大積載重量又ハ搭乘定員
- (十四) 最大連結車輛數及車輛相互間ノ連結裝置ノ構造說明圖
- (十五) 最大運轉速度
- (十六) 信號裝置
- (十七) 交通頻繁ナル路切ニ對スル保安設備
- (十八) 機關車ノ設計圖
- (十九) 線路平面圖及線路縱斷面圖 線路平面圖ハ縮尺二千五百分ノ一以上トシ停

留場、坑道、隧道、雪覆、橋梁、棧橋又ハ踏切ノ位置、線路ノ左右二十米以内ノ地形、道路ノ種類及行政區劃ノ名稱及境界ヲ記載シ線路中心線ニハ曲線半徑、單線複線ノ分界點ノ距離及百米毎ニ距離ヲ明示スルコト
 停留場、坑道、隧道、雪覆、橋梁、棧橋又ハ踏切ノ部分ニ付テハ縮尺千分ノ一以上ノ圖面ニ軌道及坑道ノ交叉點又ハ軌道相互ノ交叉點ニ於ケル角度、待避線、轉轍器ノ位置、信號裝置ノ位置、乘降場、步道等ヲ記載スルコト
 坑道、隧道、雪覆、橋梁又ハ棧橋ニ付テハ縮尺百分ノ一以上ノ橫斷面圖ヲ添付スルコト
 線路縱斷面圖ハ縮尺橫ハ平面圖ト同一縱ハ二百五十分ノ一以上トシ停留場、坑道、隧道、雪覆、橋梁、棧橋又ハ踏切ノ位置ヲ記載シ線路中心線ニハ百米毎ニ地勢ノ高サ、施行基面ノ高サ、線路勾配及距離ヲ明示スルコト

四 坑外無極綱索軌道

- (一) 使用目的
- (二) 方式、延長及最大運搬量
- (三) 起點、終點ノ位置及其ノ高低差
- (四) 最小曲線半徑及最急勾配
- (五) 軌間、軌道ノ中心間隔及軌條ノ單位長ノ重量
- (六) 隧道ノ長サ、幅、高サ及軌道ノ中心ヨリ隧道ノ兩側迄ノ距離
- (七) 橋梁又ハ棧橋ノ長サ、幅及構造

持裝置又ハ綱索誘導裝置ノ位置ヲ記載シ線路中心線ニハ百米毎ニ地勢ノ高サ、線路勾配及距離ヲ明示スルコト

五 延長一キロメートル以上ノ坑外軌道(機關車ヲ運轉スル軌道及坑外無極綱索軌道ヲ除ク)

- (一) 使用目的
- (二) 方式及延長
- (三) 起點及終點ノ位置
- (四) 最小曲線半徑及最急勾配
- (五) 軌間、單線又ハ複線ノ區別、複線ニ在リテハ軌道ノ中心間隔ヲ記載スルコト及軌條ノ單位長ノ重量
- (六) 隧道ノ長サ、幅、高サ及軌道ノ中心ヨリ隧道ノ兩側迄ノ距離
- (七) 橋梁又ハ棧橋ノ長サ、幅及構造
- (八) 車輛ノ構造、主要寸法、自重及最大積載重量
- (九) 制動機ノ種類及構造
- (十) 最大連結車輛數及車輛相互間ノ連結裝置ノ構造說明圖
- (十一) 交通頻繁ナル踏切ニ對スル保安設備
- (十二) 線路平面圖及線路縱斷面圖、線路平面圖ハ縮尺二千五百分ノ一以上トシ停留場、坑道、隧道、雪覆、橋梁、棧橋又ハ踏切ノ位置、線路ノ左右二十米以内ノ地形、道路ノ種類及行政區劃ノ名稱及境界ヲ記載シ線路中心線ニハ曲線半徑、單線複線ノ分界點ノ距離及百米毎ニ距離ヲ明示スルコト

- (八) 原動機ノ種類、型式、キロワット數、迴轉數及主要寸法
- (九) 傳動裝置及綱索緊張裝置ノ構造、軌條ノ重量ヲモ、主要寸法及配置圖
- (十) 制動機ノ種類及構造
- (十一) 車輛ノ構造、主要寸法、自重及最大積載重量
- (十二) 扼索器ニ連結スル最大車輛數及扼索器相互間ノ間隔
- (十三) 車輛相互間ノ連結裝置及扼索器ノ構造說明圖
- (十四) 綱索ノ種類、構造、全長、直徑又ハ周圍長、單位長ノ重量、最大抗張力及製作所名
- (十五) 綱索ノ最大迴轉速度
- (十六) 曲線部ニ於ケル綱索誘導裝置ノ配置圖
- (十七) 信號裝置
- (十八) 交通頻繁ナル踏切ニ對スル保安設備
- (十九) 線路平面圖及線路縱斷面圖、線路平面圖ハ縮尺二千五百分ノ一以上トシ停留場、坑道、隧道、雪覆、橋梁、棧橋又ハ踏切ノ位置、線路ノ左右二十米以内ノ地形、道路ノ種類及行政區劃ノ名稱及境界ヲ記載シ線路中心線ニハ曲線半徑及百米毎ニ距離ヲ明示スルコト
- (二十) 線路縱斷面圖ハ縮尺橫ハ平面圖ト同一縱ハ二百五十分ノ一以上トシ停留場、坑道、隧道、雪覆、橋梁、棧橋又ハ踏切ノ位置ヲ記載シ線路中心線ニハ百米毎ニ地勢ノ高サ、施行基面ノ高サ、線路勾配及距離ヲ明示スルコト

六 人ヲ昇降セシム豎坑捲揚裝置

- (一) 設置場所
- (二) 專用又ハ兼用ノ別
- (三) 方式
- (四) 原動機ノ種類、型式、キロワット數、迴轉數及主要寸法
- (五) 鼓胴ノ形狀、主要寸法及原動機トノ接続方法
- (六) 制動機ノ種類及構造
- (七) 深度指示器ノ種類及構造
- (八) 豎坑捲揚ノ構造、材料、主要寸法及圖面、茲ニ捲揚車ノ構造、主要寸法及圖面
- (九) 豎坑ノ構造、材料、主要寸法及區別說明圖、茲ニ爲指
- (十) 捲揚臺ノ構造、主要寸法、圖面、自重、塔乘定員及

- (十) 最大積載重量 於テハ他ノ物ノ運搬ニ兼用スル場合ニ於テハ最大積載重量ヲ要寸法、自重及最大積載重量ヲ記載シ且圖面ヲ添付スルコト
 - (十一) 捲網ノ種類、構造、全長、直徑又ハ周圍長、單位長ノ重量、最大抗張力及製作所名
 - (十二) 捲網及捲揚装置間ノ連結装置ノ構造、主要寸法、重量及圖面
 - (十三) 捲網ノ緊張角度
 - (十四) 捲網ノ制限運轉速度 鐵物其ノ他ノ物ノ運搬ニ兼用轉速度ヲ記載スルコト
 - (十五) 捲揚超過ヨリ生ズル危害ノ豫防装置及捲揚装置ニ關スル安全装置ノ種類、構造、主要寸法及圖面
 - (十六) 捲揚機及捲揚臺承ノ圖面
 - (十七) 壘坑口ノ附近ニ於ケル捲揚装置ノ部分ノ配置圖
 - (十八) 信號裝置
 - (十九) 工事ノ着手及完成ノ豫定期
- 七 原動機ヲ使用スル選礦場
- (一) 設置場所
 - (二) 一月間ノ元鐵ノ種類別品位及取扱數量 產出鐵山別ニ記載スルコト
 - (三) 一月間ノ精鐵ノ種類別品位及產出數量
 - (四) 採業方法ノ概要

- (五) 主要機械又ハ主要裝置ノ種類、型式、構造、主要寸法、能力、所要水量及同一ノモノ二箇以上アルトキハ其ノ箇數
- (六) 原動機ノ種類、型式、キロワット數、廻轉數、主要寸法、使用目的及同一ノモノ二箇以上アルトキハ使用目的別ニ其ノ箇數
- (七) 原動機及主要機械又ハ主要裝置ノ接續方法
- (八) 一月間ノ劇物又ハ毒物ノ種類別使用數量
- (九) 捨石、鐵滓、沈澱物、廢水其ノ他廢棄物ノ種類別成分及數量 他ノモノニ在リテハ一月間ノ數量其ノ處理方法並ニ一月間ノ回收物ノ種類別品位及數量
- (十) 捨石、鐵滓、沈澱物其ノ他廢棄物ノ堆積場又ハ溜置場ノ位置、名稱、面積、堆積方法、扞上方法、堆積量及圖面
- (十一) 廢水處理用ノ水路、沈澱池、濾過機其ノ他ノ機械又ハ裝置(廢棄物堆積場ノ滲透水又ハ廢棄物溜置場ノ溢水處理用ノモノヲ含ム)ノ構造、主要寸法、能力及圖面 機械及裝置ノ關係ヲ明ニセル圖面ヲ添付スルコト
- (十二) 建物ノ設計概要及圖面並ニ主要機械又ハ主要裝置ノ配置圖
- (十三) 附近ノ地形、地目及建設物ヲ示セル地圖

八 鐵礦場又ハ製鐵場

- (一) 設置場所
- (二) 一月間ノ元鐵ノ種類別品位及取扱數量 產出鐵山別ニ記載スルコト
- (三) 一月間ノ製品ノ種類別品位及產出數量
- (四) 採業方法ノ概要
- (五) 主要機械又ハ主要裝置ノ種類、型式、構造、主要寸法、能力及同一ノモノ二箇以上アルトキハ其ノ箇數
- (六) 原動機ノ種類、型式、キロワット數、廻轉數、主要寸法、使用目的及同一ノモノ二箇以上アルトキハ使用目的別ニ其ノ箇數
- (七) 原動機及主要機械又ハ主要裝置ノ接續方法
- (八) 鐵礦ノ排出量、亞硫酸瓦斯含有率ノ含有率ヲ附記スルコト及處理方法
- (九) 煙道、煙塵室及煙突其ノ他鐵礦處理設備ノ構造、材料、主要寸法及圖面 各設備ノ關係ヲ明ニセル圖面ヲ添付スルコト
- (十) 一月間ノ劇物又ハ毒物ノ種類別使用數量
- (十一) 鐵滓、廢液其ノ他廢棄物ノ種類別成分及數量 廢液リテハ一月間ノ數量其ノ他ノ並ニ處理方法モノニ在リテハ一月間ノ數量並ニ處理方法
- (十二) 鐵滓其ノ他廢棄物ノ堆積場又ハ溜置場ノ位置、名稱、面積、堆積方法、扞上方法、堆積量及圖面

稱、面積、堆積方法、扞上方法、堆積量及圖面並ニ廢液其ノ他廢棄物ノ處理設備ノ種類、構造、主要寸法及圖面 各設備ノ關係ヲ明ニセル圖面ヲ添付スルコト

- (十三) 建物ノ設計概要及圖面並ニ主要機械又ハ主要裝置ノ配置圖
 - (十四) 附近ノ地形、地目及建設物ヲ示セル地圖
 - (十五) 工事ノ着手及完成ノ豫定期
- 九 石油精製場又ハ天然揮發油採收場
- (一) 設置場所
 - (二) 一月間ノ原油又ハ可燃質天然瓦斯ノ取扱數量 產出鐵山別ニ記載スルコト
 - (三) 一月間ノ製品ノ種類別產出數量
 - (四) 採業方法ノ概要
 - (五) 主要機械又ハ主要裝置ノ種類、型式、構造、主要寸法、能力及同一ノモノ二箇以上アルトキハ其ノ箇數
 - (六) 原動機ノ種類、型式、キロワット數、廻轉數、主要寸法、使用目的及同一ノモノ二箇以上アルトキハ使用目的別ニ其ノ箇數
 - (七) 原動機及主要機械又ハ主要裝置ノ接續方法
 - (八) 一月間ノ劇物又ハ毒物ノ種類別使用數量
 - (九) 一月間ノ廢棄物ノ種類別成分及數量、處理方法並ニ

處理設備ノ種類、構造、主要寸法及圖面 各設備ノ關係面ヲ添付スルコト

(十) 防火及消火ノ施設

(十一) 建物ノ設計概要及圖面 主要機械又ハ主要裝置ノ配置圖

(十二) 附近ノ地形、地目及建設物ヲ示セル地圖

(十三) 工事ノ着手及完成ノ豫定期

十 容量五十キロワット以上ノ石油「タンク」(石油精製場又ハ天然揮發油採收場ニ附屬スルモノヲ除ク)

(一) 設置場所

(二) 使用目的

(三) 容量

(四) 構造、材料、主要寸法及圖面

(五) 附近ニ於ケル建設物、道路等トノ關係圖

(六) 工事ノ着手及完成ノ豫定期

鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ前項ニ掲グル事項ノ變更ニ付認可ヲ受クベキコトヲ豫メ命ズルコトヲ得

第一項又ハ第二項ノ場合ニ於テ認可ヲ受ケタル工作物ノ工事完成シタルトキ又ハ第一項ニ掲グル事項ヲ變更若ハ廢止シタルトキハ其ノ旨鑛山監督局長ニ届出ヅベシ

除ク)

(一) 設置場所

(二) 使用目的

(三) 型式、構造及主要寸法

(四) 廻轉數、壓力、壓縮階梯及容量

(五) 原動機ノ種類、型式、キロワット數、廻轉數及主要寸法

(六) 原動機トノ接続方法

(七) 壓縮空氣槽ノ構造 安全弁ノ種類、直徑及、主要寸法 筒數ヲモ記載スルコト 及圖面並ニ最大常用壓力及水壓試驗ヲ爲シタル年月日 及其ノ成績

(八) 空氣壓縮機及壓縮空氣槽ノ製作所名及製作年月

(九) 工事完成ノ年月日

三 三十五キロワット以上ノ原動機ヲ使用スル坑内無極綱索軌道

(一) 使用目的

(二) 方式、延長及最大運搬量

(三) 起點、終點ノ位置及其ノ高低差

(四) 最小曲線半徑及最急勾配

(五) 軌間、軌道ノ中心間隔及軌條ノ單位長ノ重量

(六) 坑道ノ幅、高さ及軌道ノ中心ヨリ坑道ノ兩側迄ノ距

鑛業警察規則

第五十六條 坑内通氣用主要扇風機若ハ其ノ豫備扇風機、三十五キロワット以上ノ原動機ヲ使用スル空氣壓縮機(壓力一平方センチメートルニ付三キログラム未滿ノモノヲ除ク)坑内無極綱索軌道、捲揚裝置(人ヲ昇降セシムル壘坑捲揚裝置及油井捲揚裝置ヲ除ク)又ハ鑛夫住宅ヲ設ケタル場合ニ於テハ左ニ掲グル事項ヲ具シ鑛山監督局長ニ届出ヅベシ之ヲ變更又ハ廢止シタルトキ亦同ジ

一 坑内通氣用主要扇風機又ハ其ノ豫備扇風機

(一) 設置場所

(二) 型式、構造及主要寸法

(三) 廻轉數、最大ノ負壓、正壓及風量

(四) 原動機ノ種類、型式、キロワット數、廻轉數及主要寸法

(五) 原動機トノ接続方法

(六) 扇風機ノ附圖

(七) 風向轉換裝置ノ構造說明圖

(八) 坑道、斜坑又ハ壘坑ノ坑口ニ於ケル外氣遮斷裝置ノ構造說明圖

(九) 工事完成ノ年月日

二 三十五キロワット以上ノ原動機ヲ使用スル空氣壓縮機(壓力一平方センチメートルニ付三キログラム未滿ノモノヲ

除ク)

(七) 原動機ノ種類、型式、キロワット數、廻轉數及主要寸法

(八) 傳動裝置及綱索緊張裝置ノ構造 重錘ノ重量ヲモ記載スルコト 主要寸法並ニ配置圖

(九) 制動機ノ種類及構造

(十) 車輛ノ構造、主要寸法、自重及最大積載重量

(十一) 扼索器ニ連結スル最大車輛數及扼索器相互間ノ間隔

(十二) 車輛相互間ノ連結裝置及扼索器ノ構造說明圖

(十三) 綱索ノ種類、構造、全長、直徑又ハ周圍長、單位長ノ重量、最大抗張力及製作所名

(十四) 綱索ノ最大運轉速度

(十五) 曲線部ニ於ケル綱索誘導裝置ノ配置圖

(十六) 信號裝置

(十七) 線路平面圖及線路縱斷面圖 線路平面圖ハ縮尺千分

稱及位置、綱索支持裝置又ハ綱索誘導裝置ノ位置ヲ記載シ線路中心線ニハ曲線半徑及百米毎ニ軒程ヲ明示シ

且線路ノ位置ヲ示セル縮尺百分ノ一以上ノ坑道縱斷面圖ヲ添付スルコト

線路縱斷面圖ハ縮尺廣ハ平面圖ト同一縱ハ百分ノ一以上トシ分岐坑道ノ名稱及位置、綱索支持裝置又ハ綱索

營業警備規則

誘導裝置ノ位置ヲ記載シ線路中心線ニハ
百米毎ニ線路勾配及軒程ヲ明示スルコト
軌道ノ傍側ニ歩道又ハ回避所ヲ設ケタル場
合ニ於テハ其位置及構造ヲ圖示スルコト

(十八) 工事完成ノ年月日

四 三十五キロワット以上ノ原動機ヲ使用スル捲揚裝置(人
ヲ昇降セシムル堅坑捲揚裝置及油井捲揚裝置ヲ除ク)

(一) 設置場所

(二) 使用目的

(三) 方式及最大運搬量

(四) 原動機ノ種類、型式、キロワット數、迴轉數及主要
寸法

(五) 鼓胴ノ形狀、主要寸法及原動機トノ接続方法

(六) 制動機ノ種類及構造

(七) 探度指示器ノ種類及構造

(八) 堅坑捲揚裝置又ハ坑外ニ於ケル捲揚裝置ノ構ノ構造
材料、主要寸法及圖面茲ニ槽滑車ノ構造、主要寸法及
圖面

(九) 捲揚裝置ヲ設置セル堅坑ノ構造、材料、主要寸法及
區別說明圖茲ニ爲摺ノ種類、構造及主要寸法

(十) 斜坑又ハ坑外斜道ニ於ケル捲揚裝置ノ軌道ノ延長、
最小曲線半徑、最急勾配、軌間、單線又ハ複線ノ區別

複線ニアリテハ軌道ノ中
心間隔ヲ記載スルコト

(十一) 捲揚裝置ヲ設置セル斜坑ノ幅、高さ及軌道ノ中心
ヨリ斜坑ノ兩側迄ノ距離

(十二) 捲揚裝置ヲ設置セル坑外斜道ノ橋梁又ハ棧橋ノ長
サ、幅及構造

(十三) 捲揚臺、捲揚函又ハ車輛(捲揚臺ニ塔載スルモノ
ヲ含ム)ノ構造、主要寸法、圖面、自重及最大積載重
量斜坑又ハ坑外斜道ニ於ケル捲揚裝置ニ在
リテハ車輛ノ最大連結數ヲ記載スルコト

(十四) 捲綱ノ種類、構造、全長、直徑又ハ周圍長、單位
長ノ重量、最大抗張力及製作所名

(十五) 捲綱及捲揚臺、捲揚函又ハ車輛間ノ連結裝置ノ構
造、主要寸法、重量及圖面斜坑又ハ坑外斜道ニ於ケル
互間ノ連結裝置ノ構造
說明圖ヲ添附スルコト

(十六) 捲綱ノ緊張角度

(十七) 捲綱ノ最大迴轉速度

(十八) 安全裝置ノ種類、構造、主要寸法及圖面

(十九) 捲揚機及捲揚臺承ノ圖面

(二十) 坑口ノ附近又ハ坑外斜道ノ上端ニ於ケル捲揚裝置
ノ部分ノ配置圖

(二十一) 信號裝置

(二十二)

捲揚裝置ヲ設置セル斜坑又ハ坑外斜道ニ於ケル
軌道ノ線路平面圖及線路縱斷面圖線路平面圖ハ縮尺千
分ノ一トシ分岐坑道

ノ名稱及位置並ニ爲摺ノ位置ヲ記載シ線路中心線ニハ
曲線半徑及百米毎ニ軒程ヲ明示シ且斜坑ニ在リテハ線
路ノ位置ヲ示セル縮尺百分ノ一以
上ノ斜坑橫斷面圖ヲ添附スルコト

線路縱斷面圖ハ縮尺横ハ平面圖ト同一縱ハ百分ノ一以
上トシ分岐坑道ノ名稱及位置並ニ爲摺ノ位置ヲ記載シ
線路中心線ニハ百米毎ニ線路勾配及軒程ヲ明示シ且斜
坑ニ在リテハ軌道ノ線路縱斷面圖ニハ斜坑ノ縱斷面ヲ
圖示ス
ルコト

軌道ノ傍側ニ歩道又ハ回避所ヲ設ケタル
場合ニハ其ノ位置及構造ヲ圖示スルコト

(二十三) 工事完成ノ年月日

五 礦夫住宅

(一) 設置場所

(二) 建物ノ種類 礦夫ヲ合宿セシムルモノ、棟數及名稱建
物ノ番號ヲモ記
載スルコト

(三) 天井又ハ屋根裏ノ構造及天井高 二階以上ノ建物ニ在
ルコト

(四) 一棟ノ建築面積 二階以上ノ建物ニ在リテハ各
階ノ面積ヲモ記載スルコト

(五) 一棟ノ戸數及出入口ノ數 二階以上ノ建物ニ在リテハ
階段ノ箇數及其ノ幅員ヲモ

營業警備規則

記載ス
ルコト

(六) 一棟ノ寢室及居間ノ數並ニ定員

(七) 一棟ノ寢室及居間ノ總面積並ニ採光總面積

(八) 便所ノ箇數

(九) 建物(附屬建物ヲ含ム)ノ設計概要、各階平面圖 縮尺
ノ一以上トシ方位、各室ノ用、斷面圖 縮尺百分ノ一以
上トシ採光面積等ヲ明示スルコト、斷面圖上トシ建物ノ基
礎、道路、下水等 及立面圖
ヲ明示スルコト

(十) 建物(附屬建物ヲ含ム)ノ配置圖 縮尺五百分ノ一以上
地境界線、建築線、道路、排水路及
附近ニ於ケル工作物ヲ明示スルコト

(十一) 工事完成ノ年月日

第五十七條 常時百五十人以上ノ礦夫ヲ雇傭スル礦山ノ採掘權
者ハ衛生係員ヲ選任スベシ

礦山監督局長必要アリト認ムルトキハ前項以外ノ礦業權者ニ
對シ衛生係員ノ選任ヲ命ズルコトヲ得

第五十八條 衛生係員ハ技術管理者(技術管理者ヲ選任セザル
礦山ニ在リテハ礦業權者)ノ指揮ヲ受ケ衛生ニ關スル事項ヲ
掌ル

衛生係員ハ毎日衛生上注意ヲ要スル場所ヲ巡視シ必要アリト
認ムルトキハ適當ナル處置ヲ爲スベシ

衛生係員ハ衛生日誌ヲ作り巡視ノ都度各場所ニ於ケル狀況及前項ノ規定ニ依リ爲シタル衛生上ノ處置ヲ記入スベシ

第五十九條 衛生係員ハ三十日以内毎ニ坑内ニ於ケル炭酸瓦斯ノ停滯シ又ハ停滯スル虞アル場所ニ付其ノ分量ヲ測定シ其ノ結果ヲ衛生日誌ニ記入スベシ

第六十條 坑内作業場ニ於ケル炭酸瓦斯含有率ハ千分ノ十五以下ト爲スベシ但シ特ニ安全ナル方法ニ依リ危害豫防ニ關スル作業ヲ爲サシムル場合ニ於テハ其ノ作業場ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

炭酸瓦斯含有率千分ノ十五ヲ超ユル場所ニハ衛生係員(衛生係員ヲ選任セザル鑛山ニ在リテハ坑内保安係員)ハ一定ノ警標ヲ掲グベシ

第六十一條 衛生係員ハ三十日以内毎ニ坑内ニ於ケル氣温ノ攝氏三十度ヲ超ユ又ハ超ユル虞アル場所ニ付氣温ヲ測定シ其ノ結果ヲ衛生日誌ニ記入スベシ

第六十二條 坑内作業場ニ於ケル氣温ハ攝氏三十七度以下ト爲スベシ但シ特別ノ事由アル場合ニ於テ鑛山監督局長ノ許可ヲ受ケタルトキ又ハ危害豫防ニ關スル作業ヲ爲サシムル場合ニ於テハ其ノ作業場ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第六十三條 著シク粉塵ヲ飛散スル坑内作業ヲ爲ス場合ニ於テハ注水其ノ他粉塵防止ノ施設ヲ爲スベシ但シ已ムヲ得ザル場

合ニ於テ適當ナル防塵具ヲ備ヘ鑛夫ヲシテ之ヲ使用セシムルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第六十四條 同時ニ五十人以上ノ鑛夫ヲ就業セシムル坑内ニ於テハ便所又ハ便器ヲ適當ナル場所ニ備フベシ

第六十五條 硫酸、硝酸、鹽酸、苛性加里、苛性曹達、青化加里、水銀、亞砒酸其ノ他之ニ準ズベキ劇物若ハ毒物又ハ高熱物體ヲ多量ニ取扱フ場所ニ於テハ傷害又ハ中毒豫防ノ施設ヲ爲シ其ノ旨鑛山監督局長ニ届出ヅベシ

第六十六條 選鑛場、燒鑛場、製鑛場其ノ他ノ坑外作業場ニシテ著シク粉塵ヲ飛散スル場所ニ付テハ左ノ各號ノ規定ニ依ルベシ

一 粉塵ノ飛散ヲ防止スル爲撒水、粉塵ノ排出、機械又ハ裝置ノ密閉其ノ他適當ナル方法ヲ講ズルコト

二 飲料水ヲ備置キ且ツ粉塵ノ混入ヲ防グ施設ヲ爲スコト

三 洗面所及食事所ヲ設クルコト但シ作業場内ニ之ヲ設クル場合ニ於テハ粉塵防止ノ施設ヲ爲スベシ

有害ナル粉塵ヲ飛散シ又ハ有害ナル瓦斯若ハ蒸氣ヲ發散スル坑外作業場ニ於テハ前項ノ施設ヲ爲ス外洗面所ニハ石鹼又ハ其ノ代用品ヲ備フベシ

前項ノ場合ニ於テ鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ鑛業權者ニ對シ更衣所又ハ浴場ノ設置ヲ命ズルコトヲ得

第六十七條 鑛夫住宅ニ付テハ左ノ各號ノ規定ニ依ルベシ

一 住宅ニハ二方以上ニ出入口又ハ窓ヲ設クルコト

二 寢室及居間ノ天井高ハ二・一二メートル以上ト爲スコト

三 寢室及居間ニハ天井ヲ設ケ又ハ屋根裏ヲ板張ト爲スコト

四 寢室ノ外窓ニハ雨戸及障子ヲ設ケ又ハ硝子戸及窓掛ヲ設クルコト

五 寢室ハ疊敷ト爲スコト

六 寢室ノ面積(押入及床ノ間ヲ除ク)ハ一人ニ付二・四七平方メートル(疊一疊半)以上ト爲スコト但シ十歳未満ノ者ニ付テハ一人ニ付一・六五平方メートル(疊一疊)ト爲スコトヲ得

七 居住人員ノ數ニ應ジ適當且十分ナル便所ヲ設クルコト

十人以上ノ鑛夫ヲ合宿セシムル鑛夫住宅ニ付テハ前項ノ規定ノ外左ノ各號ノ規定ニ依ルベシ

一 就眠時間ヲ異ニスル二組以上ノ鑛夫ヲ合宿セシムル場合ニ於テハ交代ノ際睡眠ヲ妨害セザル様適當ナル施設ヲ爲スコト

二 寢具ヲ備フル場合ニ於テハ鑛夫毎ニ専用セシムルコト

三 合宿鑛夫ノ數ニ應ジ適當且十分ナル洗面裝置ヲ設クルコト

特別ノ事由アル場合ニ於テハ鑛山監督局長ノ許可ヲ受ケ前二

項ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

第六十八條 鑛夫ヲ合宿セシムル鑛夫住宅、食事所、休憩所等常時多數ノ鑛夫集合スル場屋ニハ液體ヲ容レタル唾壺ヲ備付クベシ

第六十九條 探掘權者ハ作業場内ニ於ケル傷病者ノ救護ニ必要ナル救急用具及材料ヲ適當ナル場所ニ備付ケ且坑内保安係員其ノ他ノ係員ヲシテ其ノ使用方法及救急法ヲ習得セシムベシ

第七十條 現ニ坑内ニ在ル鑛夫ノ數、氏名及就業場所ハ之ヲ坑外ニ於テ知り得ベキ方法ヲ講ズベシ

第七十一條 鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ鑛業權者ニ對シ坑ノ内外及坑内主要箇所間ニ電話其ノ他ノ通信裝置ノ設置ヲ命ズルコトヲ得

第七十二條 危害豫防ノ爲又ハ衛生上ノ必要ニ基キ就業若ハ通行ヲ禁止セラレタル場所ニ濫リニ立入り又ハ危害豫防若ハ衛生ニ關スル設備ヲ毀損又ハ變更スルコトヲ得ズ

第七十三條 瓦斯若ハ炭塵ノ爆發又ハ坑内ニ於ケル火災若ハ水害起リタル場合ニ於テハ其ノ概況ヲ鑛山監督局長ニ急報スベシ

前項以外ノ災害、事變ニ因リ死者、重傷者(症狀重篤ナル者及四週日以上休業見込ノ者)若ハ五人以上ノ負傷者(三日以上休業見込ノ者)ヲ生ジタル場合又ハ死傷者ヲ生ゼザルトキト

雖モ作業ノ全部若ハ一部ヲ休止シタル場合亦前項ニ同ジ
前二項ノ災害、事變ニ付テハ其ノ經過及之ニ對スル處置ノ詳
細ヲ様式第一號ニ依リ鑛山監督局長ニ届出ヅベシ
第七十四條 死傷病者ニ付テハ様式第二號ニ依リ鑛山監督局長
ニ届出ヅベシ

第七十五條 本則其ノ他鑛業警察ニ關スル命令中鑛夫ノ遵守ス
ベキ規定ハ其ノ要領ヲ平易ニ記シ之ヲ見易キ場所ニ揭示スル
等鑛夫ニ周知セシムル方法ヲ講ズベシ
第七十六條 鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ建設物、工
作物其ノ他設備ニ付改造、修理其ノ他適當ナル處置ヲ命ズル
コトヲ得

第七十七條 鑛山監督局長ハ鑛業法第七十二條第一項若ハ第七
十四條ニ基ク商工大臣ノ命令又ハ本則其ノ他鑛業警察ニ關ス
ル命令ノ規定ヲ執行スル爲必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第七十八條 鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ坑口ノ開鑿
坑道ノ掘進、鑛物ノ掘探若ハ捨石、鑛滓、坑水、廢水、鑛煙、
瓦斯ノ處理又ハ衛生上ノ施設ニ付必要ナル處分ヲ爲スコトヲ
得

第七十九條 本則ノ規定又ハ本則ノ規定ニ基キテ爲シタル處分
ニ違反シタル者ハ鑛業法第百三條又ハ第百四條ノ法定代理人
又ハ鑛業權者ヲ除クノ外三月以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ百圓以

下ノ罰金若ハ科料ニ處ス

本則ノ規定又ハ本則ノ規定ニ基キテ爲シタル處分ニ違反シタ
ル者鑛業法第百三條又ハ第百四條ノ法定代理人又ハ鑛業權者
ナルトキハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第八十條 本則ノ規定ニ依リ從業者ヲ罰スベキ場合ニ於テハ其
ノ直接ノ監督者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス但シ監督上
相當ノ注意ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第八十一條 鑛業法施行細則第五十四條ノ規定ニ依リ鑛業代理
人ヲ選任シタルトキハ鑛業權者又ハ其ノ法定代理人ニ適用ス
ベキ本則ノ罰則ハ之ヲ鑛業代理人ニ適用ス但シ其ノ權限ニ屬
セザル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第八十二條 技術管理者ヲ選任シタルトキハ鑛業權者又ハ其ノ
法定代理人若ハ鑛業代理人ニ適用スベキ本則ノ罰則ハ之ヲ技
術管理者ニ適用ス但シ其ノ權限ニ屬セザル事項ニ付テハ此ノ
限ニ在ラズ

第八十三條 本則ハ第七十九條乃至第八十二條ノ規定ヲ除クノ
外國ノ鑛業ニ之ヲ適用ス

附 則

本則ハ昭和五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本則施行ノ際現ニ稼行スル鑛山ニシテ第一條第二項ノ規定ニ該
當スルモノニ在リテハ鑛山監督局長ノ許可ヲ受ケ本則施行ノ日

ヨリ一年間技術管理者ヲ選任セザルコトヲ得

本則施行ノ際現ニ稼行スル鑛山ニ付テハ第十二條、第二十六條
第三十七條第三項、第五十七條乃至第五十九條、第六十一條、第
六十三條及第六十四條ノ規定並ニ第四十九條第二項中防火施設
ニ關スル規定ハ本則施行ノ日ヨリ一年間之ヲ適用セズ但シ第二
十六條ノ規定ハ石炭坑爆發取締規則ノ適用ヲ受クル鑛山ニ付テ
ハ此ノ限ニ在ラズ

本則施行ノ際現ニ存スル鑛夫住宅ニ付テハ第六十七條第一項第
二號ノ規定ハ之ヲ適用セズ、同條第一項第一號、第三號乃至第
七號及第二項ノ規定ハ本則施行ノ日ヨリ三年間之ヲ適用セズ
舊則ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本則ニ別段ノ
(様式略ス)

規定アル場合ヲ除クノ外本則ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做
ス

本則施行ノ際現ニ存スル第五十五條第一項ノ工作物ハ之ヲ本則
ノ規定ニ依リテ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

前項ノ工作物ハ舊則ノ規定ニ依リテ認可ヲ受ケ又ハ届出ヲ爲シ
タルモノヲ除クノ外本則施行ノ日ヨリ六月以内ニ第五十五條第
一項ニ掲グル事項ヲ具シ鑛山監督局長ニ届出ヅベシ

本則施行ノ際現ニ存スル第五十六條ノ工作物ニ付テハ舊則ニ依
リテ届出ヲ爲シタルモノヲ除クノ外本則施行ノ日ヨリ六月以内
ニ同條ニ掲グル事項(鑛夫住宅ニ付テハ同條第五號(九)ノ事項
ヲ除ク)ヲ具シ鑛山監督局長ニ届出ヅベシ

石炭坑爆發取締規則

昭和四年十二月十六日
商工省令第二十二號

- 第一條 可燃性瓦斯又ハ乾燥炭塵存スル石炭坑ニシテ商工大臣ノ指定スルモノニ付テハ鑛業警察規則ノ外本則ヲ適用ス
- 第二條 通氣(局部通氣ヲ除ク)ハ扇風機ニ依リテ之ヲ爲スベシ
前項ノ扇風機ハ之ヲ坑外ニ設クベシ
- 第一項ノ扇風機ニハ自記回轉計又ハ自記電流計及自記氣壓測定器又ハ自記風速測定器ヲ備付ケ其ノ示度ニ異常アルトキハ遲滞ナク適當ナル處置ヲ爲スベシ
- 第三條 入氣坑及排氣坑ハ各別ニ之ヲ設クベシ
- 第四條 入氣坑口ニ於ケル通氣量ハ坑内ニ於テ同時ニ就業スル礦夫ノ一日中ノ最大數ヲ標準トシ一人ニ付一分間三立方メートル以上ト爲スベシ
- 第五條 坑内ニ於ケル通氣速度ハ一分間四百五十メートル以下ト爲スベシ但シ堅坑及通氣専用坑道ニ於テハ一分間六百メートル迄之ヲ增加スルコトヲ得
- 第六條 排氣坑口ニ於ケル排氣中ノ可燃性瓦斯含有率ハ千分ノ五以下ト爲スベシ
- 第七條 入氣堅坑、排氣堅坑間又ハ主要入氣坑道、主要排氣坑道間ヲ連絡スル坑道ニハ遮斷用ノ壁若ハ戸ヲ設クベシ

石炭坑爆發取締規則

- 前項ノ壁若ハ戸ハ堅牢ニシテ漏風ノ虞ナキモノト爲シ且戸ハ相當ノ間隔ヲ置キ二箇以上設クベシ
- 主要風橋ハ堅牢ニシテ漏風ノ虞ナキモノト爲スベシ
- 第八條 交通頻繁ナル坑道及主要通氣坑道ニ設ケタル通氣戸ハ相當ノ間隔ヲ置キ二箇以上ト爲シ自働閉鎖裝置ヲ備ヘザルモノニ付テハ番人ヲ置クベシ
- 第九條 石炭層中ニ坑道ヲ掘進スル場合ニ於テハ張出其ノ他之ニ類スル通氣裝置ハ長サ九十メートル以下ト爲スベシ
- 第十條 可燃性瓦斯若ハ炭塵多量ニ存スル探掘跡又ハ自然發火ノ虞アル探掘跡ニハ充填、密閉、通氣其ノ他適當ナル處置ヲ爲スベシ
- 前項ノ規定ニ依リ通氣ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ排氣ハ切端又ハ交通頻繁ナル坑道ヲ通過セシムルコトヲ得ズ
- 第十一條 鑛業警察規則第二十二條第一項ノ測定ハ礦夫ノ入坑時前三時間以内ニ之ヲ爲スベシ
- 第十二條 坑内保安係員ハ總入氣量及總排氣量ヲ毎日、分流入氣量及分流排氣量ヲ七日毎ニ測定スベシ但シ通氣ニ異常アリト認ムルトキ又ハ通氣系統ヲ變更シタルトキハ其ノ都度之ヲ

爲スベシ

前項ノ測定ノ結果ハ之ヲ通氣簿ニ記入スベシ

第十三條 坑内保安係員ハ坑内ニ於ケル通氣ノ方向又ハ分配ニ異常アリト認ムルトキハ遅滞ナク適當ナル處置ヲ爲シ之ヲ保安日記ニ記入スベシ

第十四條 鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ一分流通氣區ニ於ケル切端數又ハ就業鑛夫數ヲ制限スルコトヲ得

第十五條 鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ通氣ノ獨立、分流方法ノ變更、通氣坑道ノ閉塞又ハ扇風機用豫備原動機若ハ豫備扇風機ノ設置共ノ他通氣ニ關スル必要ナル處置ヲ命ズルコトヲ得

第十六條 乾燥炭塵存スル場合ニ於テハ左ノ各號ノ規定ニ依ルベシ

一 乾燥炭塵存スル坑道ニハ撒水又ハ岩粉ノ撒布ヲ爲スコト
乾燥炭塵發生シ易キ切端ニ於テ探炭ヲ爲ストキ其ノ切端ニ付亦同ジ

二 坑道ニ存スル炭塵ハ之ヲ掃除スルコト

三 切端ヨリ車道ニ石炭ヲ搬出スル器具、裝置又ハ方法ニシテ石炭ヲ散逸セシメ又ハ著シク炭塵ヲ飛散セシムルモノニ付テハ適當ナル豫防方法ヲ講ズルコト坑内ニ於テ使用スル炭車ニ付亦同ジ

第二十三條 入坑者ニ付テハ入坑ノ都度坑口ニ於テ發火具、喫煙具又ハ煙草等ノ有無ニ付携帯品ヲ検査スベシ

第二十四條 新ニ採用シタル鑛夫ニハ可燃性瓦斯又ハ乾燥炭塵ノ爆發豫防ニ關スル事項ヲ説示スベシ
可燃性瓦斯又ハ乾燥炭塵存スル石炭坑ノ坑内作業ニ經驗ナキ鑛夫ハ其ノ作業ニ熟練シタル者ノ指導ヲ受ケ三十日以上實習ヲ爲シタル後ニ非ザレバ之ヲ單獨ニ坑内作業ニ從事セシムルコトヲ得ズ

第二十五條 坑内保安係員一人ノ監督スベキ鑛夫數ハ七十人以上ト爲スベシ但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ鑛山監督局長ノ許可ヲ受ケ百人迄之ヲ増加スルコトヲ得

第二十六條 可燃性瓦斯又ハ乾燥炭塵ノ爆發ニ備フル爲救護隊ヲ設クベシ但シ二以上ノ石炭坑ヲ通ジテ之ヲ設ケ又ハ他ノ鑛業權者ト共同シテ之ヲ設クルコトヲ妨グズ

救護隊ノ組織及練習課程並ニ主要ナル器具、機械、用品ノ種類及數量ニ付テハ鑛山監督局長ノ認可ヲ受クベシ

第二十七條 鑛山監督局長ハ實地ノ狀況ニ依リ商工大臣ノ認可ヲ受ケ本則ノ規定ノ一部ヲ適用セザルコトヲ得

第二十八條 鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ通氣量、可燃性瓦斯含有率、通氣裝置又ハ鑛夫數ニ付第四條、第六條、第九條、第二十五條、鑛業警察規則第二十三條第一項及第三

石炭坑爆發取締規則

四 屏附炭車ハ坑内ニ於テ之ヲ使用セザルコト
五 炭車ニ積載シタル石炭ニハ坑内ノ適當ナル場所ニ於テ其ノ全面ニ撒水スルコト

六 選炭場ハ入氣坑口ニ接近シテ之ヲ設ケザルコト
前項第一號及第二號ニ掲グル事項ノ施行方法ニ付テハ鑛山監督局長ノ認可ヲ受クベシ

第十七條 鑛山監督局長必要アリト認ムルトキハ爆發ノ傳播ヲ防止スル爲岩粉地帯又ハ濕潤地帯ノ設置共ノ他適當ナル施設ヲ命ズルコトヲ得

第十八條 鑛業權者ハ坑内ニ於テ使用スル爆發藥、雷管、導火線又ハ電氣點火器ノ種類ヲ豫メ鑛山監督局長ニ届出ヅベシ

第十九條 鑛業權者ハ發破係員ヲ選任スベシ
第二十條 坑内ニ於テハ携帯用燈火トシテ安全燈及携帯用安全電燈以外ノモノヲ使用スルコトヲ得ズ

第二十一條 坑内保安係員又ハ發破係員ハ坑内ニ於テハ揮發油安全燈又ハ可燃性瓦斯檢定器ヲ携帯スベシ

第二十二條 安全燈ハ一日ノ入坑鑛夫中安全燈ヲ使用スル者ヲ通算シタル數以上ノ箇數ヲ備付クベシ
鑛夫ヲ二組以上ニ分チ交替ニ就業セシムル場合ニ於テハ前番方ニ使用セシメタル安全燈ハ之ヲ次番方ニ使用セシムルコトヲ得ズ

第十五條第二項第二號ノ規定ニ拘ラズ必要ナル制限ヲ爲スコトヲ得

第二十九條 鑛山監督局長已ムヲ得ザル事由アリト認ムルトキハ實地ノ狀況ニ依リ第一條ノ指定後一年以内ニ於テ期間ヲ定メ第二條乃至第十條、第十六條、第二十一條、第二十二條、第二十五條又ハ第二十六條ノ規定ノ適用ヲ斟酌スルコトヲ得

前項ノ斟酌ヲ受ケントスル者ハ第一條ノ指定アリタル後二十日以内ニ適用斟酌ノ申請ヲ爲スベシ

第三十條 本則ノ規定又ハ本則ノ規定ニ基キテ爲シタル處分ニ違反シタル者ハ鑛業法第百三條又ハ第百四條ノ法定代理人又ハ鑛業權者ヲ除クノ外三月以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ百圓以下ノ罰金若ハ科料ニ處ス

本則ノ規定又ハ本則ノ規定ニ基キテ爲シタル處分ニ違反シタル者鑛業法第百三條又ハ第百四條ノ法定代理人又ハ鑛業權者ナルトキハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十一條 本則ノ規定ニ依リ從業者ヲ罰スベキ場合ニ於テハ其ノ直接ノ監督者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス但シ監督上相當ノ注意ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三十二條 鑛業法施行細則第五十四條ノ規定ニ依リ鑛業代理人ヲ選任シタルトキハ鑛業權者又ハ其ノ法定代理人ニ適用スベキ本則ノ罰則ハ之ヲ鑛業代理人ニ適用ス但シ其ノ權限ニ屬

セザル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第三十三條 技術管理者ヲ選任シタルトキハ續業權者又ハ其ノ
法定代理人若ハ續業代理人ニ適用スベキ本則ノ罰則ハ之ヲ技
術管理者ニ適用ス但シ其ノ權限ニ屬セザル事項ニ付テハ此ノ
限ニ在ラズ

第三十四條 本則ハ第三十條乃至第三十三條ノ規定ヲ除クノ外
國ノ續業ニ之ヲ適用ス

附 則

本則ハ昭和五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

舊則ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本則ニ別段ノ
規定アル場合ヲ除クノ外本則ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做
ス

鑛夫勞役扶助規則

大正五年八月三日
農商務省令第二十一號

(沿革)大正五年十二月二十六日農商務省令第二十九號、大正十五年六月二十四日內
務省令第十七號、昭和二年五月二十三日內務省令第三十號、昭和三年九月一
日內務省令第三十號、昭和四年六月二十六日內務省令第二十五號改正

第一條 續業法第七十五條ノ規定ニ依ル履傭勞役規則ニハ左ニ
掲グル事項ヲ記載シ續業者手前鑛山監督局長ニ其ノ許可ヲ申
請スベシ

- 一 業務ノ種類
- 二 雇入ノ手續
- 三 解雇ノ事由及手續
- 四 解雇ノ場合ニ於ケル歸郷旅費支給ニ關スル事項
- 五 賃金ノ支拂方法及支拂期日
- 六 石炭續業ニ在リテハ檢炭ニ關スル事項
- 七 鑛夫ノ貯金其ノ他ノ積立金ヲ管理スルトキハ其ノ方法、
拂戻ノ事由及手續
- 八 鑛夫ノ負擔ニ屬スル作業用品目
- 九 業務別就業時間及就業時ノ轉換方法
- 十 休日
- 十一 尋常小學校ノ教科ヲ終了セザル學齡兒童ヲ雇傭スルト
キハ就業ニ關シ必要ナル事項

鑛夫勞役扶助規則

十二 賞與及制裁ノ定アルトキハ之ニ關スル事項
履傭勞役規則ヲ變更セムトスルトキハ鑛山監督局長ノ許可ヲ
受クベシ

- 第二條 採掘權者ハ變災若ハ變災ノ虞アル爲又ハ避クベカラザ
ル事由ニ依リ臨時必要アル場合ニ於テハ就業時間、就業時ノ
轉換方法及休日ニ關スル事項ニ付履傭勞役規則ニ依ラザルコ
トヲ得
- 前項ノ規定ニ依リ就業セシメタルトキハ遲滞ナク其ノ事由ヲ
具シ鑛山監督局長ニ届出ヅベシ
- 第三條 續業權者鑛夫ヲ雇入レタルトキハ鑛夫名簿ニ左ニ掲グ
ル事項ヲ記載スベシ
 - 一 氏名
 - 二 生年月日
 - 三 本籍
 - 四 履歴ノ要領
 - 五 鑛夫十六歳未滿ナル場合ニ於テハ尋常小學校ノ教科ヲ修

礦夫勞務扶助規則

了シタル者ニ在リテハ其ノ修了シタル尋常小學校名及修了年月、尋常小學校ノ教科ヲ修了セザル者ニ在リテハ其ノ旨

六 業務ノ種類

七 雇入ノ年月日

八 雇傭期間ヲ定メタル者ニ在リテハ其ノ期間

前項ノ規定ニ依リ記載シタル事項ニ異動アリタルトキハ遅滞

ナク之ヲ訂正スベシ

第四條 礦業權者礦夫ヲ解雇シ又ハ礦夫死亡シタルトキハ礦夫

名簿ニ左ニ掲グル事項ヲ記入シ解雇又ハ死亡ノ日ヨリ五箇年

以上之ヲ保存スベシ

一 解雇又ハ死亡ノ年月日

二 解雇ノ事由又ハ死亡ノ原因

第五條 礦業權者ハ礦夫ヲシテ一日ニ付十時間ヲ超エテ坑内ニ

於テ就業セシムルコトヲ得ズ

礦業權者ハ監視ヲ主トスル業務又ハ間歇的ナル業務ニ從事ス

ル者ニ付礦山監督局長ノ許可ヲ受ケタルトキハ前項ノ規定ニ

依ラザルコトヲ得

第六條 礦業權者ハ十六歳未満ノ者及女子ヲシテ一日ニ付キ十

一時間ヲ超エテ就業セシムルコトヲ得ズ

礦業權者ハ選炭作業ニ従事スル者ニ付テハ礦山監督局長ノ許

可ヲ受ケ期間ヲ限リ前項ノ就業時間ヲ十二時間迄延長スルコ

トヲ得

第六條ノ二 礦業權者ハ溫度攝氏三十度ヲ超ユル坑内ノ場所ニ

於テ十六歳未満ノ者及女子ヲシテ就業セシムル場合ニ在リテ

ハ其ノ者ヲシテ他ノ場所ニ於ケル就業時間ト通算シテ一日ニ

付八時間ヲ超エテ就業セシムルコトヲ得ズ

礦業權者ハ溫度攝氏三十五度ヲ超ユル坑内ノ場所ニ於テ十六

歳未満ノ者及女子ヲシテ就業セシムルコトヲ得ズ

第七條 礦業權者ハ十六歳未満ノ者及女子ヲシテ午後十時ヨリ

午前五時ニ至ル間ニ於テ就業セシムルコトヲ得ズ

礦業權者ハ礦夫ヲ二組以上ニ分チ交替ニ就業セシムルトキハ

礦山監督局長ノ許可ヲ受ケ前項ノ規定ニ拘ラズ午後十一時迄

就業セシムルコトヲ得

礦業權者ハ礦夫ヲ二組ニ分チ交替ニ坑外ニ於ケル選炭作業ニ

従事セシムルトキハ礦山監督局長ノ許可ヲ受ケ第一項ノ規定

ニ拘ラズ午後十二時迄就業セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テ

午後十一時後ニ於テ就業セシムルトキハ午後十二時ヨリ午前

六時ニ至ル間ニ於テ就業セシムルコトヲ得ズ

礦業權者ハ礦夫ヲ三組以上ニ分チ交替ニ坑外ニ於ケル選炭作

業ニ従事セシムルトキハ礦山監督局長ノ許可ヲ受ケ期間ヲ限

リ第一項ノ規定ニ拘ラズ就業セシムルコトヲ得

第七條ノ二 坑内ニ就業スル礦夫ニ付テハ坑口ニ入りタル時ヨ

リ坑口ヲ出デタル時迄ノ時間ヲ其ノ就業時間ト看做ス

礦業權者一圖トシテ入坑及出坑スル礦夫ニ關シ其ノ入坑開始

ヨリ入坑終了迄ノ時間ニ付礦山監督局長ノ許可ヲ受ケタルト

キハ第五條第一項ノ規定ノ適用ニ付入坑終了ヨリ出坑終了迄

ノ時間ヲ其ノ圖ニ屬スル礦夫ノ就業時間ト看做ス

礦業權者坑口ニ近キ坑内ノ礦夫點檢場所ニ關シ礦山監督局長ノ

許可ヲ受ケタルトキハ前二項及第三十五條ノ規定ノ適用ニ付

其ノ場所ヲ坑口ト看做ス

第八條 礦業權者ハ礦夫ヲ二組以上ニ分チ交替ニ午後十時ヨリ

午前五時ニ至ル間ニ於テ就業セシムルトキハ十六歳未満ノ者

及女子ニ對シ十日ヲ超エザル期間毎ニ其ノ就業時ヲ轉換スベ

シ

第九條 礦業權者ハ十六歳未満ノ者及女子ニ對シ一日ノ就業時

間ガ六時間ヲ超ユルトキハ少クトモ三十分、十時間ヲ超ユル

トキハ少クトモ一時間ノ休憩時間ヲ就業時間中ニ設クベシ

第十條 礦業權者ハ十六歳未満ノ者及女子ニ對シ毎月少クトモ

二回ノ休日ヲ設ケ礦夫ヲ二組以上ニ分チ交替ニ午後十時ヨリ

午前五時ニ至ル間ニ於テ就業セシムル場合ニ於テハ少クトモ

四回ノ休日ヲ設クベシ

第十一條 礦業權者ハ變災若ハ變災ノ虞アル爲又ハ避クベカラ

ザル事由ニ因リ臨時必要アル場合ニ於テハ礦山監督局長ノ許

可ヲ受ケ期間ヲ限リ第五條第一項、第六條及第六條ノ二第一

項ノ規定ニ拘ラズ就業時間ヲ延長シ第七條第一項乃至第三項

及第八條乃至第十條ノ規定ニ拘ラズ就業セシムルコトヲ得但

シ緊急ノ必要ニ應ズル爲ニ就業セシムル場合ニ於テハ礦山監

督局長ノ許可ヲ受ケタルコトヲ要セズ

前項但書ノ規定ニ依リ就業セシメタルトキハ様式第四號ニ依

リ礦山監督局長ニ届出ヅベシ

第十一條ノ二 礦業權者ハ十六歳未満ノ者及女子ヲシテ坑内ニ

於テ就業セシムルコトヲ得ズ

礦業權者ハ主トシテ薄層ヲ掘採スル石炭坑ニ就業スル礦夫ニ

付礦山監督局長ノ許可ヲ受ケ前項ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

第十二條 礦業權者ハ十六歳未満ノ者及女子ヲシテ左ニ掲グル

業務ニ就カシムルコトヲ得ズ

一 原動機、電氣機械其ノ他ノ機械若ハ動力傳導裝置ノ危險

ナル部分ノ運轉中ニ於ケル掃除、注油、檢査又ハ修理

二 機械又ハ動力傳導裝置ノ運轉中ニ於ケル調帶若ハ調索ノ

危險ナル方法ニ依ル取附又ハ取外

三 汽罐ノ焚火、給水弁若ハ阻汽弁ノ開閉又ハ安全弁ノ取扱

四 發電機、電動機、發電機ノ抵抗器、變壓器又ハ「コット

レル」集塵裝置ニ屬スル整流機ノ取扱

五 高壓電線ノ接續

鑛夫勞務扶助規則

- 六 機械力ニ依リ運轉スル捲揚機ノ取扱
- 七 運轉中ノ車輛ノ連結又ハ分離
- 八 鑛物ノ掘採及岩石ノ掘鑿
- 九 爆發藥ノ裝填又ハ點火
- 十 支柱ノ取附又ハ取外
- 十一 製鍊作業ニ於テ熱灼若ハ熔解セル鑛物又ハ鑛滓ノ取扱
- 十二 有害ナル煙塵ノ堆積セル煙道又ハ煙突ノ掃除
- 十三 砒素、水銀、鉛若ハ亞鉛又ハ其ノ化合物其ノ他之ニ準ズベキ有害料品ノ粉塵、蒸汽又ハ瓦斯ヲ發散スル場所ニ於ケル業務
- 十四 電解精練ヲ爲ス場所ニ於ケル業務
- 十五 鑛石、燃料其ノ他ヲ熔鑪ニ裝入スル業務
- 第十三條 鑛業權者ハ十六歳未滿ノ者ヲシテ左ニ掲グル業務ニ就カシムルコトヲ得ズ
 - 一 砒素若ハ水銀又ハ其ノ化合物「チアンカリウム」、硫酸、硝酸、鹽酸、苛性カリ、苛性ナトロン其ノ他之ニ準ズベキ毒性又ハ劇性料品ノ取扱
 - 二 揮發油、二硫化炭素其ノ他之ニ準ズベキ發火性又ハ引火性料品ノ取扱
 - 三 土石又ハ鑛物ノ粉塵ヲ著シク飛散スル場所ニ於ケル業務
- 第十四條 鑛業權者ハ左ニ掲グル疾病ニ罹レル者ヲシテ就業セ

一一四

- シムルコトヲ得ス但シ第四號又ハ第五號ニ掲グル疾病ニ罹レル者ニ付傳染豫防ノ處置アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
 - 一 精神病
 - 二 癩、肺結核、喉頭結核
 - 三 丹毒、再歸熱、麻疹、流行性腦脊髓膜炎其ノ他之ニ準ズベキ急性熱性病
 - 四 梅毒、疥癬其ノ他傳染性皮膚病
 - 五 膿漏性結膜炎「トラホーム」(著シク傳染ノ虞アルモノ)其ノ他之ニ準ズベキ傳染性眼病
- 鑛業權者ハ肋膜炎、心臟病、脚氣、關節炎、髓鞘炎、急性泌尿生殖器病其ノ他ノ疾病ニ罹レル者ニシテ就業ノ爲病症増悪ノ虞アル場合ハ之ヲ就業セシムルコトヲ得ズ
- 鑛業權者ハ傳染病又ハ重大ナル疾病ニ罹リタル者ニシテ其ノ症候消失シタル後ト雖健康ノ回復セザルモノヲ就業セシムルコトヲ得ズ但シ醫師ノ意見ヲ徵シ支障ナシト認ムル業務ニ就カシムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 第十五條 鑛業權者ハ四週日以内ニ出産スルコトアルベキ者休業ヲ求メタルトキハ其ノ者ヲシテ就業セシムルコトヲ得ズ
- 鑛業權者ハ産後六週日ヲ經過セザル者ヲシテ就業セシムルコトヲ得ズ但シ産後四週日ヲ經過シタル者就業セムコトヲ求メタル場合ニ於テ醫師ノ支障ナシト認メタル業務ニ就カシムル

コトヲ妨グズ

- 第十六條 生後滿一年ニ達セザル生兒ヲ哺育スル女子ハ就業時間中ニ於テ一日二回各三十分ヲ限リ其ノ生兒ヲ哺育スベキ時間ヲ求ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テ鑛業權者ハ哺育時間中其ノ女子ヲシテ就業セシムルコトヲ得ズ
- 鑛業權者坑内作業ニ従事スル女子ノ生兒ノ保育ニ關シ必要ナル施設ヲ爲シ鑛山監督局長ノ許可ヲ受ケタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ坑内作業ニ従事スル女子ニ哺育時間ヲ與ヘザルコトヲ得
- 第十七條 鑛夫業務上負傷シ、疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ鑛業權者ハ本則ノ規定ニ依リ扶助ヲ爲スベシ但シ扶助ヲ受クベキ者民法ニ依リ同一ノ原因ニ付損害賠償ヲ受ケタルトキハ鑛業權者ハ扶助金額ヨリ其ノ金額ヲ控除スルコトヲ得
- 前項扶助ノ義務ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外鑛夫ノ解雇ニ因リテ變更セラルルコトナシ
- 第十八條 鑛夫負傷シ又ハ疾病ニ罹リタルトキハ鑛業權者ハ其ノ費用ヲ以テ療養ヲ施シ又ハ療養ニ必要ナル費用ヲ負擔スベシ
- 第十九條 鑛夫療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハザルニ因リ賃金ヲ受ケザルトキハ鑛業權者ハ鑛夫ノ療養中一日ニ付賃金百分ノ六十以上ノ休業扶助料ヲ支給スベシ但シ同一ノ疾病又ハ負

鑛夫勞務扶助規則

一一五

- 傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ付其ノ支給百八十日ヲ超エタルトキハ其ノ後ノ支給額ヲ一日ニ付賃金百分ノ四十迄ニ減スルコトヲ得
- 第二十條 鑛夫ノ負傷又ハ疾病治癒シタル時ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル程度ノ身體障害ヲ存スルトキハ鑛業權者ハ左ニ掲グル區別ニ依リ障害扶助料ヲ支給スベシ
 - 一 終身自用ヲ辨ズルコト能ハザルモノ 賃金五百四十日分以上
 - 二 終身勞務ニ従事スルコト能ハザルモノ 賃金三百六十日分以上
 - 三 從來ノ勞務ニ従事スルコト能ハザルモノ、健康舊ニ復スルコト能ハザルモノ又ハ女子ノ外貌ニ醜痕ヲ殘シタルモノ 賃金百八十日分以上
 - 四 身體ヲ傷害シ舊ニ復スルコト能ハズト雖引續キ從來ノ勞務ニ従事スルコトヲ得ルモノ 賃金四十日分以上
- 第二十一條 鑛夫重大ナル過失ニ因リ負傷シ又ハ疾病ニ罹リ且鑛業權者其ノ事實ニ付鑛山監督局長ノ認定ヲ受ケタル場合ニ於テハ休業扶助料又ハ障害扶助料ヲ支給セザルコトヲ得
- 第二十二條 鑛夫死亡シタルトキハ鑛業權者ハ遺族又ハ鑛夫ノ死亡當時其ノ收入ニ依リ生計ヲ維持シタル者ニ賃金三百六十日分以上ノ遺族扶助料ヲ支給スベシ

續夫勞務扶助規則

第二十二條 續夫死亡シタルトキハ續業者ハ葬祭ヲ行フ遺族又ハ續夫ノ死亡當時其ノ收入ニ依リ生計ヲ維持シタル者ニシテ葬祭ヲ行フ者ニ賃金三十日分(其ノ金額三十圓ニ滿タザルトキハ三十圓)以上ノ葬祭料ヲ支給スベシ

第二十三條 遺族扶助料ヲ受クベキ者ハ續夫ノ配偶者トス配偶者ナキ場合ニ於テ遺族扶助料ヲ受クベキ者ハ續夫死亡當時之ト同一ノ家ニ在リタル續夫ノ直系卑屬又ハ直系尊屬トシ其ノ順位ハ親等ノ近キ者ヲ先ニシ卑屬ト尊屬ト親等相同ジキトキハ卑屬ヲ先ニス

第二十四條 前條第二項ニ定メタル同順位者ノ間ニ在リテハ其ノ順位ハ左ノ規定ニ依ル

- 一 續夫ノ家督相続人又ハ戸主ハ之ヲ他ノ者ヨリ先ニス
- 二 男ハ之ヲ女ヨリ先ニス
- 三 直系卑屬ニ付テハ男又ハ女ノ間ニ在リテハ嫡出子ヲ先ニシ嫡出子、庶子及私生兒ノ間ニ在リテハ嫡出子及庶子ハ女ト雖之ヲ私生兒ヨリ先ニス
- 四 前二號ニ掲グル事項ニ付相同ジキ者ノ間ニ在リテハ年長者ヲ先ニス

第二十五條 第二十三條ノ規定ニ該當スル者ナキ場合ニ於テハ左ニ掲グル者ノ中一人ニ遺族扶助料ヲ支給スベシ但シ續夫ノ遺言又ハ續業者ニ對シテ爲シタル豫告ニ依リ左

ニ掲グル者ノ中一人ヲ特ニ指定シタルトキハ之ニ從フベシ

一 續夫ノ家督相続人又ハ戸主

二 續夫ノ兄弟姉妹ニシテ續夫死亡當時之ト同一ノ家ニ在ル者

三 續夫死亡當時其ノ收入ニ依リ生計ヲ維持スル者

續業者ニ對シテ爲シタル豫告ニ依リ指定アリタルトキハ續業者選滞ナク之ヲ續夫名簿ニ記載スベシ

第二十六條 第十八條ノ規定ニ依リ本人ニ支給スル費用及休業扶助料ハ毎月一回以上之ヲ支給スベシ

障害扶助料ハ續夫ノ負傷又ハ疾病ノ治癒後選滞ナク、遺族扶助料及葬祭料ハ續夫ノ死亡後選滞ナク之ヲ支給スベシ但シ障害扶助料及遺族扶助料ハ續山監督局長ノ許可ヲ受ケ數回ニ分割シテ之ヲ支給スルコトヲ得

第二十六條ノ二 續夫健康保險法(第四十八條第一項第二號ノ規定ヲ除ク)ニ依ル療養ノ給付又ハ療養費ノ支給ヲ受クベキトキハ其ノ期間第十八條ノ扶助ハ之ヲ爲スコトヲ要セズ健康保險法ニ依ル傷病手當金ノ支給ヲ受クベキトキ休業扶助料ノ支給ニ付亦同ジ

健康保險法第六十二條第一項第二項、第六十四條又ハ第六十五條第二項ノ規定ニ依リ保險給付ヲ受ケザル場合ニ於テハ前二項ノ例ニ依リ第十八條ノ扶助又ハ休業扶助料若ハ葬祭料ノ支給ハ之ヲ爲スコトヲ要セズ

第二十七條 第十八條ノ規定ニ依リ扶助ヲ受ケ又ハ健康保險法ニ依リ療養ノ給付若ハ療養費ノ支給ヲ受クル續夫療養開始後三箇年ヲ經過スルモ負傷又ハ疾病治癒セザルトキハ續業者ハ賃金五百四十日分以上ノ打切扶助料ヲ支給シ以後本則ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲サザルコトヲ得

第二十八條 續業者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ本則ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲サザルコトヲ得

- 一 續夫ノ解雇後一箇年ヲ經過シテ扶助ヲ請求スルトキ但シ既ニ受ケタル扶助又ハ健康保險法ニ依ル保險給付ノ原因タル負傷又ハ疾病ニ基キ請求スルトキハ此ノ限ニ在ラズ解雇前ニ又ハ解雇後一箇年內ニ請求シタル扶助又ハ健康保險法ニ依ル保險給付ノ原因タル負傷又ハ疾病ニ基キ請求スルトキ亦同ジ
- 二 扶助又ハ健康保險法ニ依ル保險給付ヲ受ケテ治癒シタル負傷又ハ疾病ガ續夫ノ解雇後ニ於テ再發スルトキ

第二十九條 扶助料及葬祭料算出ノ標準トスベキ賃金ハ左ノ各號ノ金額トス

續夫勞務扶助規則

一 續夫健康保險法ニ依ル被保險者タル場合ニ於テハ同法ニ基キ其ノ者ニ付定メタル標準報酬ノ日額

二 續夫健康保險法ニ依ル被保險者タラザル場合ニ於テハ疾病ニ在リテハ診斷ニ據ル發病ノ日ヲ除キ、發病ノ日明ナラザルトキハ診斷前七日ヲ除キ、負傷又ハ即死ニ在リテハ事故發生ノ日ヲ除キ其ノ前(賃金締切日アル場合ニ於テハ直前ノ賃金締切日以前)三箇月(雇入後三月ニ滿テザルトキハ其ノ期間)ニ於ケル賃金總額ヲ其ノ期間ノ日數ヲ以テ除シタル金額但シ其ノ金額ハ上記賃金總額ヲ該期間中ニ於テ賃金ヲ受ケタル日數ヲ以テ除シタル金額ノ百分ノ六十ヲ下ルコトヲ得ズ

前項第二號ニ規定スル期間中ニ左ノ各號ノ一ニ該當スル期間アルトキハ其ノ日數及其ノ期間ニ於ケル賃金ハ前項ノ期間及賃金總額ヨリ之ヲ控除ス

- 一 業務上負傷シ又ハ疾病ニ罹リ療養ノ爲休業シタル期間
- 二 産前又ハ産後ノ女子第十五條ノ規定ニ依リ休業シタル期間

三 試ノ雇傭期間

四 續業者ノ都合ニ依リ續夫臨時ニ休業シタル期間

第一項第二號ノ賃金總額ニハ三月ヲ超エル期間毎ニ支給スル賞與及發明賞行其ノ他特別ノ行爲ニ對スル賞與又ハ手當ヲ包

合セズ

前三項ノ規定ニ依リ扶助料及葬祭料算出ノ標準トスベキ賃金ヲ算出スルコトヲ得ザル場合ニ於テハ扶助規則ノ定ムル所ニ依ル但シ扶助規則ニ定ナキトキハ鑛山監督局長之ヲ定ム

第三十條 鑛山監督局長ハ職權ヲ以テ又ハ申請ニ因リ鑛夫ノ負傷、疾病又ハ死亡ノ原因、第二十條各號ニ掲グル身體障害ノ程度其ノ他扶助ニ關スル事項ニ付之ヲ審査シ及事件ノ調停ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ醫師ヲシテ診斷又ハ檢案セシムルコトヲ得

第三十一條 鑛業權者ハ扶助規則ヲ作成シ扶助ノ金額、手續其他扶助ニ關シ必要ナル事項ヲ定メ鑛業者手前之ヲ鑛山監督局長ニ届出ヅベシ

鑛業權者扶助規則ヲ變更シタルトキハ遲滞ナク之ヲ鑛山監督局長ニ届出ヅベシ

鑛山監督局長必要ト認ムルトキハ扶助規則ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第三十二條 扶助ニ關スル書類ハ扶助ヲ終リタル日ヨリ三箇年以上之ヲ保存スベシ

第三十三條 鑛業權者扶助ヲ爲シタルトキハ様式第一號ニ依リ鑛山監督局長ニ届出ヅベシ

第三十四條 鑛夫就業中又ハ事業場内ニ於テ負傷シ、疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ鑛業權者ハ遲滞ナク醫師ヲシテ診斷又ハ檢案ヲ爲サシムベシ

第三十四條ノ二 探掘權者ハ様式第二號ニ依リ第一條第一項第四號ノ歸郷旅費支給ノ狀況ヲ、様式第三號ニ依リ同條同項第七號ノ貯金其ノ他ノ積立金ノ狀況ヲ鑛山監督局長ニ届出ヅベシ

第三十五條 鑛業權者ハ坑外ニ於テ就業スル鑛夫ニ付始業及終業ノ時刻並休憩及休日ニ關スル事項ヲ定メ見易キ場所ニ揭示スベシ

鑛業權者ハ坑内ニ於テ就業スル鑛夫ニ付テハ入坑ノ時刻及出坑ノ時刻並休日ニ關スル事項ヲ定メ見易キ場所ニ揭示スベシ

第七條ノ二第二項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ニ於テハ前項ノ入坑時刻ハ入坑ノ開始及終了ノ時刻、出坑時刻ハ出坑ノ開始及終了ノ時刻トス

鑛業權者ハ所定ノ入坑時刻又ハ入坑開始時刻前ニ入坑シタル者及所定ノ出坑時刻又ハ出坑終了時刻後ニ出坑シタル者ニ付様式第五號ニ依リ記録スベシ

前項ノ記録ハ事由ノ發生シタル日ヨリ三年以上之ヲ保存スベシ

第三十六條 鑛業權者ハ雇傭勞役規則及扶助規則ヲ適當ナル方

法ヲ以テ鑛夫ニ周知セシムベシ

第三十七條 鑛業權者ハ鑛夫ノ雇傭、勞役又ハ扶助ニ關シ紛擾ヲ生ジタルトキハ遲滞ナク其ノ事由及狀況ヲ鑛山監督局長ニ届出ヅベシ

第三十七條ノ二 鑛山監督局長ハ鑛業權者ニ對シ本則施行上必要ナル報告ヲ命ズルコトヲ得

第三十八條 雇傭勞役規則ニ違背シタル探掘權者、第十一條第二項、第十四條、第十五條、第十六條第一項、第三十一條第一項第二項若ハ第三十二條ノ規定ニ違背シタル者、正當ノ事由ナクシテ第三十四條ノ診斷若ハ檢案ヲ爲サシメザリシ者又ハ第三十一條第三項ノ規定ニ依リ發シタル命令ニ從ハザル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十九條 鑛業權者ヲシテ不正ニ扶助義務ノ全部又ハ一部ヲ免レシメ又ハ免レシメムトスル所爲ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第四十條 第二條第二項、第三十三條若クハ第三十四條ノ二乃至第三十七條ノ規定ニ違反シタル者又ハ第三十七條ノ二ノ規定ニ依リ命ゼラレタル報告ヲ爲サザル者ハ五拾圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第四十一條 鑛業法施行細則第五十四條ノ規定ニ依リ鑛業代理人ヲ置キタルトキハ鑛業權者又ハ法定代理人ニ適用スベキ本

鑛夫勞役扶助規則

則ノ罰則ハ之ヲ鑛業代理人ニ適用ス但シ其ノ權限ニ屬セザル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第四十二條 本則ハ第十七條乃至第三十一條、第三十八條乃至第四十一條及第四十七條ノ規定ヲ除クノ外國ノ鑛業ニ之ヲ適用ス

國ノ鑛業ニ於ケル鑛夫及其ノ遺族ノ扶助ニ付テハ別ニ定ムル規定ニ依ル

附 則

第四十三條 本則ハ大正五年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

第四十四條 第五條ノ規定ハ本則施行前ヨリ十歳以上ノ者ヲ引續キ就業セシムル場合ニハ之ヲ適用セズ

前項ノ場合ニ於テハ本則施行ノ日ヨリ一箇月以内ニ其ノ鑛夫ノ氏名及生年月日ヲ鑛務署長ニ届出ヅベシ

第四十五條 第八條ノ規定ハ本則施行ノ日ヨリ一年六箇月間、第十四條、第十五條、第三十三條及第三十五條ノ規定ハ本則施行ノ日ヨリ四箇月間之ヲ適用セズ

第四十六條 鑛夫ノ雇傭及勞役ニ關スル規則並扶助規則ニシテ本則施行前ニ許可ヲ受ケタルモノニ付テハ本則施行ノ日ヨリ四箇月間ハ仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得但シ本則ノ規定ニ違背スルモノハ本則施行ノ日ヨリ二箇月以内ニ其ノ變更ノ手續ヲ爲スベシ

鑛夫勞役扶助規則

一一六

- 九 止シタル場合ニ於テ其ノ旨記載スベシ
- 事由欄ニハ前三號ニ該當スル場合ニ其ノ事由ヲ記載スベシ
- 第十一條第一項本文ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ニ於

- テ更ニ緊急ノ事由ニ依リ該許可ノ限度ヲ超エテ就業セシメタル場合ニハ其ノ旨記載スベシ
- 十 鑛業代理人ヨリ差出ス場合ニハ其ノ者ノ捺印スベシ

様式第五號

坑内鑛夫ノ所定時間外ノ出入坑ニ關スル記録

月 日	業務ノ種類	就業場所	氏 名	男女年少者別	入坑時刻	出坑時刻	延長時間	深夜就業時刻	事 由

備 考

- 一 本記録ハ各坑口別ニ之ヲ作成スベシ
- 二 就業場所欄ニハ本人ノ就業場所ヲ詳記スベシ十六歳未満ノ者及女子ナル場合ニ其ノ場所ガ第六條ノ二第一項ニ該當スルトキハ其ノ旨記載スベシ
- 三 氏名欄ニハ他ノ記載事項ノ同一ナルモノニ付テハ「何某外何名」ト記載シ各個ノ氏名ヲ省略スルコトヲ得
- 四 男女年少者別欄ニハ十六歳以上ノ男ハ「男」、十六歳未満ノ男ハ「年少」、女ハ年齢ニ拘ラズ「女」ト記載スベシ
- 五 入坑時刻欄及出坑時刻欄ニハ其ノ者ノ入坑時刻及出坑時刻ヲ記載スベシ但シ第七條ノ二第二項ノ許可アル場合ニ於テ
- 六 所定入坑時間内ニ入坑シタルモノニ付テハ入坑時刻欄ニハ所定入坑終了時刻ヲ記載スベシ
- 七 延長時間欄ニハ其ノ者ノ入坑ヨリ出坑迄ノ時間ガ第五條第一項又ハ第六條ノ二第一項ノ時間ヲ超エタル場合ニ於テ其ノ超エタル時間ヲ記載スベシ
- 八 第七條ノ二第二項ノ許可アル場合ニ於テ所定入坑時間内ニ入坑シ所定ノ出坑終了時刻後ニ出坑シタル者ニ付テハ前項ノ延長時間ノ計算ニ關シテハ所定入坑終了時刻ヲ其ノ者ノ入坑時刻トス
- 九 深夜就業時刻欄ニハ第七條ノ定ムル就業禁止時刻中ニ就業セシメタル十六歳未満ノ者若ハ女子ニ付テハ其ノ就業時刻ヲ記

載スベシ

- 八 事由欄ニハ前二號ニ該當スル場合ニ其ノ事由ヲ記載スベシ

- 九 第七條ノ二第三項ノ許可アル場合ニハ坑内ノ點檢場所ヲ以テ坑口トス

鑛夫勞役扶助規則第十一條ノ二ノ特例ニ關スル件

昭和八年六月五日
内務省令第十六號

- 鑛業権者ハ主トシテ殘炭ヲ採掘スル石炭坑ニ付鑛山監督局長ノ許可ヲ受ケタルトキハ當分ノ内鑛夫勞役扶助規則第十一條ノ二ノ規定ニ拘ラズ十六歳未満ノ者及女子ヲシテ坑内ニ於テ就業セ

シムルコトヲ得

附 則

本令ハ昭和八年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

鑛夫勞役扶助規則第十一條ノ二ノ特例ニ關スル件

一二七

砂 鑛 法

明治四十二年三月二十五日
法律第三十一號

(沿革) 大正五年三月十八日法律第三十一號改正

第一條 本法ニ於テ砂鑛ト稱スルハ砂金、砂鐵、砂錫其ノ他沖積鑛床ヲ爲シタル金屬鑛ヲ謂フ
金鑛ノ廢鑛又ハ鑛滓ニシテ主務大臣ニ於テ其ノ存在狀態砂金ト類似スト認メタルモノハ之ヲ砂金ト看做ス
第二條 本法ニ於テ砂鑛業ト稱スルハ砂鑛ノ採取及之ニ附屬スル事業ヲ謂フ
第三條 本法ニ於テ砂鑛區ト稱スルハ砂鑛權ノ登録ヲ得タル土地ノ區域ヲ謂フ
第四條 砂鑛權者ハ砂鑛區内ニ於ケル各種ノ砂鑛ヲ採取スル權利ヲ有ス但シ第六條ノ砂金ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
第五條 砂鑛區鑛區ト重複スル場合ニ於テハ砂鑛權者及鑛業權者ハ其ノ採取及探掘又ハ試掘ニ付互ニ協議ヲ爲スベシ
前項ノ協議調ハザルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ砂鑛權者又ハ鑛業權者ハ〔鑛山監督署長〕ノ裁決ヲ申請スルコトヲ得
前項ノ裁決ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得違法ニ權利ヲ侵害セラレタリトスル者ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

砂 鑛 法

第六條 金鑛ヲ目的トスル鑛業權者ハ其ノ探掘鑛區内ニ存スル砂金ヲ採取スル權利ヲ有ス但シ其ノ鑛區内ニ既ニ存スル砂鑛區ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ
前項ノ鑛業權者ハ砂金ノ採取ニ關シ之ヲ砂鑛權者ト看做ス
第七條 砂鑛權ハ相続、讓渡、抵當權、滯納處分又ハ強制執行ノ目的タル外權利ノ目的タルコトヲ得ズ
第八條 砂鑛權ヲ得ムトスル者ハ願書ニ砂鑛區圖ヲ添ヘテ主務大臣ニ出願スベシ
第九條 砂鑛出願地他人ノ所有ニ係ルトキハ所有者ノ承諾ヲ受クベシ
土地所有者ハ命令ノ定ムル期間内ニ於テ自ラ砂鑛權ノ出願ヲ爲ストキノ外前項ノ承諾ヲ拒ムコトヲ得ズ
第十條 砂鑛出願人ハ名義ノ變更ヲ爲スコトヲ得但シ主務大臣ニ届出ヲ爲スニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ
第十一條 砂鑛權者ハ砂鑛區ノ増減ヲ出願スルコトヲ得
抵當權ノ設定アル場合ニ於テ砂鑛區ノ減少ヲ出願セムトスルトキハ抵當權者ノ承諾ヲ受クベシ

第十二條 土地所有者、地上權者、永小作權者又ハ土地ニ對シ
使用ノ權利ヲ有スル者ハ其ノ土地ニ於テ砂鑛ヲ採取セムトス
ル者ニ對シ相當ノ補償金ヲ請求スルコトヲ得

第十三條 前條ノ請求權者ハ砂鑛權者ヲシテ補償金ニ付相當ノ
擔保ヲ供セシムルコトヲ得

第十四條 砂鑛權者補償金ノ拂渡ヲ爲サズ又ハ擔保ヲ供セザル
トキハ第十二條ノ請求權者ハ砂鑛ノ採取ヲ拒ムコトヲ得

第十五條 補償金又ハ其ノ擔保ニ付協議調ハザルトキ又ハ協議
ヲ爲スコト能ハザルトキハ砂鑛權者ハ〔鑛山監督署長〕ノ裁決
ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ不服アル者ハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得
第十六條 前條ノ裁決アリタルトキハ其ノ未ダ確定セザルトキ
ト雖砂鑛權者ハ裁決ニ依ル補償金ヲ供託シ又ハ擔保ヲ供託シ
テ砂鑛ヲ採取スルコトヲ得

第十七條 鑛業法第三章ハ砂鑛業ニ關シ之ヲ準用ス但シ同法第
五十六條ニ依ル土地ノ使用ハ左ノ場合ニ限ル

- 一 洗鑛
- 二 製鍊所ノ建設
- 三 洗鑛用水路及溜池ノ開設
- 四 砂鑛原料ノ置場

第十八條 當該官吏砂鑛業取締ノ爲必要アリト認ムルトキハ工

場其ノ他ノ場所ニ臨檢スルコトヲ得
當該官吏臨檢ノ際砂鑛業ニ關スル犯罪アリト認ムルトキハ搜
索ヲ爲シ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スベキ物件ノ差押ヲ爲スコト
ヲ得

臨檢、搜索及差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法ヲ準用ス
第十九條 權利ヲ有セズシテ砂鑛業ヲ爲シ又ハ詐僞ノ所爲ヲ以
テ砂鑛採取ノ許可ヲ受ケタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス
第二十條 第二十三條ニ於テ準用シタル鑛業法第十條第三項又
ハ同法第七十二條ノ命令ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ
處ス

第二十一條 砂鑛權ノ出願又ハ砂鑛業ノ爲ニ他人ノ土地ニ立入
リテ測量又ハ検査ヲ爲ス場合ニ於テ〔鑛山監督署長〕ノ許可ヲ
受ケズシテ障害物ヲ除去シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス
當該官吏ノ訊問ニ對シ虚僞ノ答辯ヲ爲シ又ハ當該官吏ノ職務
執行ヲ拒ミ之ヲ忌避シ又ハ之ニ支障ヲ加ヘタル者ハ罰前項ニ
同ジ

第二十二條 明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基
キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

第二十三條 鑛業法第五條、第六條、第七條第一項第二項、第
十條、第十二條、第十五條、第十六條、第十九條、第二十條、
第二十七條、第三十二條、第三十三條第一項第二項、第三十

五條、第三十八條乃至第四十三條、第四十九條、第七十二條
第七十四條、第八十七條乃至第八十九條、第九十一條乃至第
九十三條、第百三條及第百四條ノ規定ハ砂鑛業ニ關シテ之ヲ
準用ス

附 則

第二十四條 本法ハ明治四十二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス
砂鑛採取法ハ之ヲ廢止ス

第二十五條 砂鑛採取法ニ依ル砂鑛採取ノ許可ハ之ヲ砂鑛權ノ
登録ト看做ス

第二十六條 本法施行前ニ金鑛ヲ目的トスル鑛業ノ出願ヲ爲シ
タル者第一條第二項ノ砂金ノミヲ採取セムトスルトキハ命令
ノ定ムル期間内ニ之ヲ〔鑛山監督署長〕ニ届出ヅベシ
前項ノ届出アリタルトキハ鑛業ノ出願ハ願書發送ノ日時ニ於
テ砂鑛權ノ出願ニ代リタルモノト看做ス

第二十七條 本法施行前設定シタル鑛業權ニシテ第一條第二項
ノ砂金ノミヲ目的トスルモノニ付テハ命令ノ定ムル期間内ニ
其ノ鑛區ニ付砂鑛權設定ノ登録ヲ申請スベシ其ノ登録アリタ
ルトキハ鑛業權ノ上ニ現ニ存スル權利義務ハ砂鑛權ノ上ニ存
續ス
前項ノ鑛業權ニ關シテハ砂鑛權ノ登録アル迄仍鑛業法ヲ適用
ス

砂鑛法施行細則

明治四十二年六月二十一日
農商務省令第二十六號

(沿革) 明治四十四年三月二十七日農商務省令第十一號、大正元年十一月十六日同令第二十號、大正五年八月三日同令第二十四號、大正八年三月四日同令第六號、大正十四年十一月七日商工省令第十三號、昭和四年十一月二十九日同令第十九號、同年十二月十六日同令第二十三號改正

第一條 砂鑛出願地他人ノ所有ニ係ルトキハ出願後三十日以内ニ土地所有者ノ承諾書若ハ承諾ヲ得ルコト能ハザルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ差出スベシ
出願地ニ付前項ノ規定ニ依リ差出スベキ書面ノ提出ナキトキハ鑛山監督局長ハ相當ノ期限ヲ附シ其ノ提出又ハ減區出願ヲ命ズベシ

第二條 土地所有者ガ砂鑛權ノ出願ヲ承諾セザルトキハ鑛山監督局長ハ土地所有者ニ砂鑛願書ノ提出ヲ命ズベシ
土地所有者ガ前項ノ命令書到達ノ日ヨリ六十日以内ニ砂鑛願書ヲ差出サザルトキハ砂鑛權ノ出願ヲ承諾シタルモノト看做ス

第三條 砂鑛區ノ境界ハ直線ヲ以テ之ヲ定ム但シ河床ニ存ズル砂鑛ヲ目的トスルモノ又ハ河岸ニ沿フテ境界ヲ定ムルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第四條 直線ヲ以テ砂鑛區ノ境界ヲ定ムル場合ニ於テハ砂鑛願

砂鑛法施行細則

書ニ添附スベキ圖面ハ様式第九號ニ依リテ之ヲ調製シ左ニ掲グル事項ヲ明示スベシ

- 一 出願地ノ名稱及種目
- 二 出願地ノ面積
- 三 南北線
- 四 縮尺
- 五 二箇以上ノ不動基點並其ノ名稱及特徵
- 六 出願地ノ各隅ト爲ルベキ測點並其ノ番號
- 七 境界線並基點ト連結シタル測點間ノ方位及其ノ間數
- 八 出願地及其ノ附近ニ於ケル地形其ノ他鑛業法第十條及第十一條ニ記載シタルモノ
- 九 河床ニ存ズル砂鑛ヲ目的トスル砂鑛願書ニ添附スベキ圖面ハ様式第十號ニ依リテ之ヲ調製シ左ニ掲グル事項ヲ明示スベシ
- 一 出願河川ノ名稱及河川ニ沿ヘル土地ノ名稱種目
- 二 出願區域ノ總延長並幹流及支流ノ各延長

- 三 南北線
- 四 縮尺
- 五 出願區域ノ各端
- 六 各端ニ關スル不動基點並其ノ特徴及名稱
- 七 基點ト各端ノ測點トノ間ノ間數及其ノ方位
- 八 出願地及其ノ附近ニ於ケル地形其ノ他鑛業法第十條及第十一條ニ記載シタルモノ
- 九 河床ノ全幅ヲ出願區域ト爲サザルモノニ於テハ河床中ノ境界線
- 第五條 砂鑛法第十一條第二項ノ規定ニ依ル減區又ハ増減區ノ願書ニハ抵當權者ノ承諾書ヲ添ヘテ差出スベシ
- 第六條 砂鑛出願ニ付手数料不足ナルトキハ鑛山監督局長ハ其ノ追納ヲ命ズベシ
- 出願人ハ前項ノ命令ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ手数料ヲ納付スベシ
- 第六條ノ二 砂鑛出願地ガ實地調査ニ因リテ他人ノ所有地ニ係ルコトヲ發見シタルトキハ鑛山監督局長ハ相當ノ期限ヲ附シ第一條ノ規定ニ依リ差出スベキ書面ヲ提出ヲ命ズルコトヲ得
- 第七條 砂鑛ノ出願許可スベキモノト決定シタルトキハ鑛山監督局長ハ其ノ旨ヲ出願人ニ通知スベシ
- 出願人ハ前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ登録稅ヲ

- 納付スベシ此ノ期間内ニ登録稅納付書ヲ差出シタルモノ不受理ノ處分ヲ受ケタルモノハ其ノ處分ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ在リテハ期間後ト雖モ更ニ登録稅ヲ納付スルコトヲ得
- 登録稅ハ第一項ノ通知書ヲ受ケタル者若ハ其ノ代理人出願シ又ハ書留郵便ヲ以テ之ヲ納付スベシ郵便ヲ以テ納付スル場合ニ關シテハ鑛業法施行細則第七條ノ規定ヲ準用ス
- 前項ノ登録稅ハ第一項ノ通知書ト共ニ納付書ニ收入印紙ヲ貼用シテ之ヲ納付スベシ
- 第八條 左ノ場合ニ於テハ鑛山監督局長ハ願書、申請書又ハ屆書ヲ受理セズ
 - 一 砂鑛出願地ノ全部ガ所轄鑛山監督局ノ管轄區域内ニ在ラザルトキ
 - 二 出願ノ砂鑛ガ砂鑛法第一條ノ規定ニ該當セザルトキ
 - 三 圖面ヲ添附スベキ砂鑛業ノ願書ニ圖面ヲ添附セザルトキ又ハ添附圖面ニ依リ區域分明ナラザルトキ
 - 四 手数料ヲ納付セザルトキ
 - 五 鑛業法施行細則第十四條ノ規定ヲ準用スル場合ニ之ニ違背シ決議書又ハ之ニ相當スル書面ヲ添附セザルトキ
 - 六 鑛業法施行細則第二十一條ノ規定ヲ準用スル場合ニ之ニ違背シ書留郵便ヲ以テ差出サザルトキ
 - 七 鑛業法施行細則第二十五條ノ規定ヲ準用スル場合ニ之ニ

- 違背シ新舊出願人連署セザルトキ
- 八 鑛業法施行細則第三十一條第二項ノ規定ヲ準用スル場合ニ之ニ違背シ承諾書及協定書ヲ添附セザルトキ
- 九 (削除)
- 第十條 第五條ノ規定ニ違背シ承諾書ヲ添附セザルトキ
- 第九條 左ノ場合ニ於テハ鑛山監督局長ハ登録稅納付書ヲ受理セズ
 - 一 第七條第四項又ハ鑛業法施行細則第三十七條ノ規定ヲ準用スル場合ニ於テ其ノ規定ニ違背シ通知書ヲ差出サザルトキ
 - 二 鑛業法施行細則第三十六條ノ二ノ規定ヲ準用スル場合ニ於テ其ノ規定ニ違背シ第三者ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ベキ裁判ノ際本ヲ添附セザルトキ
- 第十條 左ノ場合ニ於テハ鑛山監督局長ハ願書又ハ屆書ヲ却下ス
 - 一 實地調査ノ際出願人ガ出願區域ヲ明示スルコト能ハザルカ又ハ鑛業法施行細則第二十四條第一項ノ規定ニ準ジテ指定シタル調査事項ノ説明ヲ爲スコト能ハザルトキ
 - 二 願書ニ添附シタル圖面ガ實地ノ區域ト著シク相違スルトキ
 - 三 鑛業法施行細則第六條ノ規定ニ準ジテ發スル命令ノ期限

- 内ニ修正又ハ補充ヲ爲サザルトキ
- 四 鑛業法施行細則第十六條若ハ第十六條ノ二ノ規定ヲ準用スル場合ニ期限内ニ許可書又ハ證明書ヲ差出サザルトキ又ハ第六條ノ二ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ承諾書又ハ承諾ヲ得ルコト能ハザル事由ヲ記載シタル書面ヲ差出サザルトキ
- 五 鑛業法施行細則第十七條ノ規定ニ準ジテ發スル命令ノ期限内ニ區域増減ノ願書ヲ差出サザルトキ
- 六 鑛業法施行細則第二十二條ノ規定ニ準ジテ發スル命令ノ期限内ニ設計書ヲ差出サザルトキ
- 七 (削除)
- 八 鑛業法施行細則第二十四條ノ規定ニ準ジテ指定シタル期日ニ出願人立會ヲ爲サザルトキ
- 九 第六條ニ規定シタル期限内ニ手数料ヲ納付セザルトキ
- 十 第七條ニ規定シタル期限内ニ登録稅納付書ヲ提出シ又ハ郵便ニ附セザルトキ
- 十一 第一條第二項ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ書面ヲ提出又ハ減區出願ヲ爲サザルトキ
- 第十一條 砂鑛權者其ノ砂鑛區内ニ於テ許可ヲ得タル砂鑛以外ノ砂鑛ヲ採取セムトスルトキハ豫メ砂鑛權ノ表示變更ノ登録ヲ申請スベシ

第十二條 (削除)

第十三條 砂鑛權者ハ砂鑛區圖ヲ砂鑛業事務所ニ備置クベシ

第十四條 砂鑛權者ハ毎年一月末日迄ニ其ノ前年ニ於ケル鑛產

物ノ數量、其ノ販賣高販賣代價、行業日數及工數ヲ記載シタ

ル砂鑛業明細表ヲ鑛山監督局長ニ差出スベシ砂鑛權ノ消滅又

ハ移轉ノ場合ニ於テハ砂鑛權ヲ有セシ者ニ於テ其ノ登録ノ日

ヨリ三十日以内ニ砂鑛業明細表ヲ差出スベシ

前二項ノ規定ニ依リテ砂鑛業明細表ヲ差出スベキ場合ニ於テ

之ニ記載スベキ事項ナキトキハ其ノ旨ヲ届出ヅベシ

第十五條 二箇以上ノ砂鑛區ニ付合併施業ヲ爲ス場合ニ於テハ

砂鑛業明細表ハ合併シテ之ヲ調製スルコトヲ得

第十六條 砂鑛法第五條第二項ノ規定ニ依ル裁決申請書ニハ左

ニ掲グル事項ヲ記載シ請求地ニ於ケル鑛床ノ關係圖及鑛業權

者又ハ砂鑛權者ト交渉シタル始末書ヲ添附スベシ但シ交渉ヲ

爲スコト能ハザルトキハ其ノ事由書ヲ以テ始末書ニ代フルコ

トヲ得

一 申請人ノ氏名又ハ名稱及住所

二 鑛業權者又ハ砂鑛權者ノ氏名又ハ名稱及住所

三 砂鑛權及鑛業權ノ登録番號

四 申請ノ目的及理由

鑛山監督局長前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ之ヲ鑛業權者

又ハ砂鑛權者ニ交付スベシ

鑛業權者又ハ砂鑛權者ハ申請書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十四

日以内ニ答辯書ヲ差出スベシ

鑛業權者又ハ砂鑛權者前項ノ期間内ニ答辯書ヲ差出サザルト

キハ鑛山監督局長ハ申請書ノミニ依リテ裁決スルコトヲ得申

請書ヲ交付スルコト能ハザルトキ亦同ジ

申請人鑛業法施行細則第六條ノ規定ニ準ジテ發スル命令ノ期

間内ニ修正又ハ補充ヲ爲サザルトキハ申請書ヲ却下ス

裁決書ニハ理由ヲ附シテ鑛山監督局長之ヲ當事者雙方ニ交付

スベシ

第十七條 砂鑛法第五條第三項ノ規定ニ依ル訴願ニハ鑛山監督

局長ノ與ヘタル裁決書ノ謄本ヲ添ヘテ差出スベシ

前條ノ規定ハ前項ノ訴願ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十八條 砂鑛法第十五條ノ規定ニ依ル裁決ノ申請ニ付テハ第

十六條ノ規定ヲ準用ス

第十九條 鑛業法第九十三條第二項ノ規定ニ準シテ爲ス處分又

ハ裁決ノ公示ハ官報ヲ以テ之ヲ爲ス但シ第十條ノ規定ニ依ル

却下ニ付テハ鑛山監督局長ノ揭示場ニ揭示スルコトニ依リテ之

ヲ爲ス

第二十條 第十一條、第十三條、第十四條ノ規定ニ違背シタル

者、鑛業法施行細則第二十六條、第四十條、第四十一條、第四

十三條、第六十一條、第六十三條、第七十條第八十一條ノ規定

ヲ準用スル場合ニ之ニ違背シタル者、鑛業法施行細則第三十

七條ノ規定ヲ準用スル場合ニ於テ第一項ノ規定ニ依ル命令ノ

期間内ニ砂鑛區圖ヲ差出サザルトキ又ハ第三項ノ規定ニ違背

シ期間内ニ登録稅ヲ納メザル者、鑛業法施行細則第二十二條

及第二十二條ノ二ヲ準用スル場合ニ於テ其ノ規定ニ依ル命令

ニ基キ提出シタル設計書ニ反シテ作業シタル者又ハ第二十二

條ノ二第二項ノ規定ニ依ル命令ノ期間内ニ設計書ヲ提出セザ

ル者又ハ鑛業警察規則第五十五條、第五十六條、第七十三條

第七十七條、第七十八條ノ規定ヲ準用スル場合ニ之ニ違背シ

タル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第二十一條 鑛業法施行細則第一條乃至第八條、第十一條乃至

第十四條、第十六條、第十六條ノ二、第十七條、第二十一條

乃至第二十五條、第二十六條、第二十九條乃至第三十一條、

第三十四條、第三十六條ノ二、第三十七條、第四十條、第四

十一條、第四十三條、第五十四條、第五十七條乃至第六十三

條、第六十八條乃至第七十條、第七十三條、鑛業警察規則第

五十五條、第五十六條、第七十三條、第七十七條、第七十八條

ノ規定ハ砂鑛業ニ關シ之ヲ準用ス

附 則

第二十二條 本則ハ明治四十二年七月一ヨリ之ヲ施行ス

砂鑛法施行細則

砂鑛採取法施行細則ハ之ヲ廢止ス

第二十三條 本則施行前砂鑛採取法施行細則ニ依リテ爲シタル

處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本則中ニ相當ス規定アル場合ニ

於テハ本則ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第二十四條 本則施行前ニ二人以上共同シテ砂鑛採取ノ出願ヲ

爲シタルトキ又ハ本則施行前ヨリ二人以上共同シテ砂鑛採取

業ヲ爲ストキハ本則施行ノ日ヨリ三十日以内ニ連署シタル代

表者選定ノ届出ヲ爲スベシ

第二十五條 砂鑛採取法ニ依リ差出シタル砂鑛採取地ノ合併、

分割、減區又ハ増減區ノ出願ニ付許可決定ノ通知ヲ受ケタル

トキハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ合併、分割又

ハ減少前ノ砂鑛權ニ付登録上利害關係ヲ有スル三者ノ承

書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ベキ裁判ノ謄本ヲ差出スベシ

前項ノ期限内ニ第三者ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ベ

キ裁判ノ謄本ヲ差出サザルトキハ出願ハ之ヲ却下ス

第二十六條 本則施行前砂鑛採取ノ許可ヲ得タル者ニ付鑛業法

施行細則第四十三條ノ規定ヲ準用スル場合ニ於テハ該條ノ期

間ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第二十七條 砂鑛法第二十六條ノ規定ニ依ル届書ニハ鑛業願書

ヲ發送シタル年月日出願人ノ氏名又ハ名稱及住所、出願地ノ

名稱及届出ノ目的ヲ記載シテ届出人之ニ署名捺印スベシ

前項ノ届書ハ本法施行後六十日以内ニ差出サザルトキハ之ヲ受理セズ

鑛業法施行細則第十四條ノ規定ハ第一項ノ届書ニ付之ヲ準用ス

第二十八條 砂鑛法第二十七條ノ規定ニ依ル砂鑛權設定ノ登録申請ハ本法施行後九十日以内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

(様式略ス)

第二十九條 鑛業法施行細則第八十一條ノ規定ハ砂鑛業ニ關シ之ヲ準用ス

附則(昭和四年十二月商工省令第二十三號)

本令ハ昭和五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

鑛業警察規則附則第六項乃至第八項ハ砂鑛業ニ關シ之ヲ準用ス

第四類 健康保險之部

第四類 健康保險之部 目次

○健康保險法……………	大一一一年法律七〇號……………	一
○健康保險法施行令……………	大一一五年勅令二四三號……………	一一
○健康保險法施行規則……………	大一一五年內務省令三六號……………	二九
○健康保險法第十三條第三號(ホ)ノ規定ニ依ル運送事業ノ指定ニ關スル件……………	昭九年内務省令四〇一號……………	八八
○健康保險法第十四條第一項第四號ノ事業……………	大一二年内務省告示一五六號……………	八八
○健康保險法第十四條第一項第六號ノ事業……………	大一二年内務省告示一五七號……………	八八
○健康保險法第十四條第一項第四號ノ事業……………	昭元年内務省告示九號……………	八八
○健康保險法第十四條第一項第四號ノ事業……………	昭四年內務省告示二七六號……………	八八
○健康保險ノ被保險者タラザル臨時使用人ニ關スル件……………	大一一五年內務省令第四七號……………	八九
○官吏及待遇官吏ハ健康保險ノ被保險者タラザル件……………	大一一五年內務省令四八號……………	八九
○政府ノ管掌スル健康保險ノ被保險者ガ療養ノ給付ヲ受クルコトヲ得ベキ醫師及齒科醫師並藥劑師ニ關スル件……………	昭元年内務省令一號……………	八九
○健康保險ノ療養ノ給付ヲ爲ス大學附屬醫院等ニ關スル件……………	昭二年内勅令二六八號……………	九〇
○健康保險ノ療養ノ給付ヲ爲ス大學附屬醫院等ニ關スル勅令施行ニ關スル件……………	昭二年内務省令……………	九一
○政府ノ管掌スル健康保險ノ保險料率……………	大一二年内務省告示一五九號……………	九三
○健康保險法施行細則……………	昭八年内務省令一一號……………	九四
○健康保險助產手當規則……………	昭八年内務省令一二號……………	一〇三

テ保險官署ニ委任スルコトヲ得

第十一條 保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ヲ滯納スル者
アルトキハ保險者ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スベシ
前項ノ規定ニ依リ督促ヲ爲シタル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル
所ニ依リ督促手費料及延滞金ヲ徵收ス

第十一條ノ二 前條ノ規定ニ依ル督促ヲ受ケタル者其ノ指定ノ
期限迄ニ保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ヲ納付セザル
トキハ保險者ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分シ又ハ滯納
者若ハ其ノ者ノ財産ノ在ル市町村ニ對シ之ガ處分ヲ請求スル
コトヲ得但シ保險者ガ國稅滯納處分ノ例ニ依リ處分スルコト
ヲ得ルハ政府ガ保險者ナル場合ニ限ル

保險者ガ前項ノ規定ニ依リ市町村ニ對シ處分ノ請求ヲ爲シタ
ルトキハ市町村ハ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ
於テハ保險者ハ徵收金額ノ百分ノ四ヲ當該市町村ニ交付スベ
シ

前二項ノ規定ニ於テ町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在
リテハ之ニ準ズベキモノトス

第十一條ノ三 保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特
權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ徵收金ニ次ギ他
ノ公課ニ先ツモノトス

第十一條ノ四 保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ニ關スル

一ニ該當スル事業ノ事業主ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ事業
及之ニ附屬スル事業ニ使用セラルル者ヲ包括シテ健康保險ノ
被保險者ト爲スコトヲ得前條ノ工場、事業場又ハ事業ニ附屬
スル事業ニ付亦同ジ

一 前條第三號ノ事業ニシテ常時五人未満ノ労働者ヲ使用ス
ルモノ

二 土木工事又ハ工作物ノ建設、保存、修理若ハ破壊ノ工事
ニシテ主務大臣ノ指定スルモノ

三 貨物積卸ノ事業

四 前各號ニ掲グルモノノ外勅令ヲ以テ指定スル事業
前項ノ認可ヲ申請スルニハ被保險者ト爲ルベキ者ノ二分ノ一
以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

一事業ニ於テ作業ノ場所二以上アル場合ニ於テハ第一項ノ規
定ノ適用ニ付テハ主務大臣ハ其ノ一又ハ二以上ノ場所ニ於ケ
ル作業ヲ一事業ト看做スコトヲ得

第十五條 前條ノ認可アリタルトキハ其ノ事業ニ使用セラルル
者ハ健康保險ノ被保險者トス

第十三條但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十六條 第十三條ノ工場又ハ事業ガ同條ノ規定ニ該當セザル
ニ至リタルトキハ其ノ工場又ハ事業ニ付第十四條ノ認可アリ
タルモノト看做ス

書類ノ送達ニ付テハ國稅徵收法第四條ノ七及第四條ノ八ノ規
定ヲ準用ス

第十二條 政府ノ事業ニ使用セラルル者ニ關シテハ本法ノ適用
ニ付勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得

第二章 被保險者

第十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル工場、事業場又ハ事業ニ使
用セラルル者ハ健康保險ノ被保險者トス但シ臨時ニ使用セラ
ルル者ニシテ勅令ヲ以テ指定スルモノ及一年ノ報酬千二百圓
ヲ超ユル職員ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 工場法第一條ノ規定ニ依リ同法ノ適用ヲ受クル工場
- 二 礦業法ノ適用ヲ受クル事業場又ハ工場
- 三 左ニ掲グル事業ニシテ常時五人以上ノ労働者ヲ使用スル
モノ

(イ) 物ノ製造、加工、選別、包裝、修理又ハ解體ノ事業

(ロ) 礦物ノ採掘又ハ採取ノ事業

(ハ) 電氣ノ傳導又ハ動力ノ發生若ハ傳導ノ事業

(ニ) 地方鐵道法又ハ軌道法ノ適用ヲ受クル事業

(ホ) (ニ)ニ掲グルモノヲ除クノ外陸上ニ於テ爲ス貨物又

ハ旅客ノ運送ノ事業ニシテ勅令ヲ以テ指定スルモノ

第十四條 前條ノ工場、事業場又ハ事業ヲ除クノ外左ノ各號ノ

第十七條 第十三條及第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ業
務ニ使用セラルルニ至リタル日又ハ第十三條但書若ハ第十五
條第二項ノ規定ニ該當セザルニ至リタル日ヨリ其ノ資格ヲ取
得ス

第十八條 第十三條及第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ハ死亡シ
タル日、其ノ業務ニ使用セラレザルニ至リタル日又ハ第十三
條但書若ハ第十五條第二項ノ規定ニ該當スルニ至リタル日ノ
翌日ヨリ其ノ資格ヲ喪失ス但シ其ノ事實アリタル日ニ更ニ前
條ノ規定ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ日ヨリ其ノ資格ヲ
喪失ス

第十九條 第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ヲ使用スル事業主ハ
主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ被保險者ノ全部ヲシテ其ノ資格ヲ
喪失セシムルコトヲ得

前項ノ認可ヲ申請スルニハ被保險者ノ四分ノ三以上ノ同意ヲ
得ルコトヲ要ス

第一項ノ認可アリタルトキハ被保險者ハ認可アリタル日ノ翌
日ヨリ其ノ資格ヲ喪失ス

第二十條 第十八條ノ規定ニ依リ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル
者ニシテ喪失ノ際引續キ六十日以上被保險者タリシモノハ勅
令ノ定ムル期間内ニ申請ヲ爲ストキハ繼續シテ被保險者ト爲
ルコトヲ得

健康保險法

第二十一條 前條ノ規定ニ依ル被保險者ハ前條ノ規定ニ依リ被保險者ト爲リタル日ヨリ百八十日ヲ經過シタルトキ、保險料ヲ納付セズシテ命令ヲ以テ定ムル猶豫期間ヲ經過シタルトキ又ハ第十三條若ハ第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲リタルトキハ其ノ資格ヲ喪失ス
前條ノ規定ニ依ル被保險者死亡シタル場合ニハ第十八條ノ規定ヲ準用ス

第三章 保險者

第二十二條 健康保險ノ保險者ハ政府及健康保險組合トス
第二十三條 保險者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ被保險者ノ健康ヲ保持スル爲必要ナル施設ヲ爲スコトヲ得
第二十四條 政府ハ健康保險組合ノ組合員ニ非ザル被保險者ノ保險ヲ管掌ス
第二十五條 健康保險組合ハ其ノ組合員タル被保險者ノ保險ヲ管掌ス
第二十六條 健康保險組合ハ法人トス
第二十七條 健康保險組合ハ事業主及其ノ事業ニ使用セラルル被保險者ヲ以テ之ヲ組織ス
第二十八條 一又ハ二以上ノ事業ニ付被保險者常時三百人以上ヲ使用スル事業主ハ健康保險組合ヲ設立スルコトヲ得

四

被保險者ヲ使用スル二以上ノ事業主ハ共同シテ健康保險組合ヲ設立スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ被保險者ノ員數ハ合算シテ常時三百人以上タルコトヲ要ス
第二十九條 健康保險組合ヲ設立セムトスルトキハ組合員タル資格ヲ有スル被保險者ノ二分ノ一以上ノ同意ヲ得規約ヲ作り主務大臣ノ認可ヲ受クベシ
二以上ノ事業ニ付健康保險組合ヲ設立セムトスル場合ニ於テハ前項ノ同意ハ各事業ニ付之ヲ得ルコトヲ要ス
第三十條 前二條ノ規定ニ於テ被保險者トアルハ第十四條第一項ノ規定ニ依ル認可ノ申請ト同時ニ健康保險組合ノ設立認可ノ申請ヲ爲ス場合ニ在リテハ被保險者ト爲ルベキ者トス
第三十一條 主務大臣ハ一事業ニ付第十三條ノ規定ニ依ル被保險者常時五百人以上ヲ使用スル事業主ニ對シ健康保險組合ノ設立ヲ命ズルコトヲ得
第三十二條 前條ノ規定ニ依リ健康保險組合ノ設立ヲ命ゼラレタル事業主ハ規約ヲ作り設立ニ付主務大臣ノ認可ヲ受クベシ
第三十三條 第十四條第三項ノ規定ハ第二十八條、第二十九條及第三十一條ノ規定ノ適用ニ付之ヲ準用ス
第三十四條 健康保險組合ハ設立ノ認可ヲ受ケタル時ニ成立ス
第三十五條 健康保險組合成立シタルトキハ事業主及其ノ事業ニ使用セラルル被保險者ハ總テ之ヲ組合員トス

第三十六條 健康保險組合ノ規約ノ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第三十七條 主務大臣ハ健康保險組合ニ對シ事實ニ關スル報告ヲ爲サシメ、事業及財産ノ狀況ヲ検査シ、規約ノ變更ヲ命ジ其ノ他監督上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三十八條 健康保險組合ノ役員ニ欠缺若ハ故障アルトキ又ハ組合ノ役員保險給付其ノ他其ノ執行スベキ職務ヲ執行セザルトキハ主務大臣ハ官吏又ハ其ノ他ノ者ヲ指定シテ其ノ職務ヲ執行セシムルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ其ノ職務ノ執行ニ要スル費用ハ健康保險組合ノ負擔トス

第三十九條 主務大臣ハ健康保險組合ノ決議若ハ役員ノ行爲ガ法令、主務大臣ノ處分若ハ規約ニ違反シ、組合員ノ利益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキ又ハ組合ノ事業若ハ財産ノ狀況ニ依リ其ノ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキハ決議ヲ取消シ、役員ヲ解職シ又ハ組合ノ解散ヲ命ズルコトヲ得
第四十條 解散ニ因リテ消滅シタル健康保險組合ノ權利義務ハ政府之ヲ承継ス

第四十一條 本法ニ規定スルモノノ外健康保險組合ノ管理、財産ノ保管及利用方法、分合、解散其ノ他健康保險組合ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

健康保險法

第四十二條 同時ニ二以上ノ業務ニ使用セラルル被保險者ノ保險者ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第四章 保險給付

第四十三條 被保險者ノ疾病又ハ負傷ニ關シテハ療養ノ給付ヲ爲ス
前項ノ療養ノ給付ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一項ノ場合ニ於テ療養上必要アリト認ムルトキハ保險者ハ被保險者ヲ病院ニ收容スルコトヲ得
第四十四條 療養ノ給付ヲ爲スコト困難ナル場合又ハ被保險者ノ申請アリタル場合ニ於テハ保險者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ療養ノ給付ニ代ヘテ療養費ヲ支給スルコトヲ得

第四十五條 被保險者療養ノ爲務ニ服スルコト能ハザルトキハ其ノ期間傷病手當金トシテ一日ニ付報酬日額ノ百分ノ六十ニ相當スル金額ヲ支給ス但シ業務上ノ事由ニ因リ疾病ニ罹リ又ハ負傷シタル場合以外ノ場合ニ於テハ勞務ニ服スルコト能ハザルニ至リタル日ヨリ起算シ第四日ヨリ之ヲ支給ス

第四十六條 病院ニ收容シタル被保險者ニ對シテ支給スベキ傷病手當金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ減額スルコトヲ得

第四十七條 療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ハ同一ノ病疾又ハ負傷及ビ之ニ因リ發シタル疾病ニ付其ノ保險給付ヲ始メタル

五

日ヨリ起算シ百八十日ヲ経過シタルトキハ之ヲ爲サズ

第四十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ保險者ハ前條ニ規定スル期間ヲ超エテ療養ヲ必要トスル者ニ對シ繼續シテ療養ノ給付ヲ爲スコトヲ得

一 他ノ法令ノ規定ニ依リ事業主ヨリ扶助ヲ受クベキ者ニ付其ノ事業主ヨリ申請アリタルトキ

二 前號以外ノ場合ニ於テ療養ノ給付ニ要スル費用ノ償還ニ付擔保ヲ提供シ其ノ他確實ナル方法ヲ定メ本人又ハ第三者ヨリ申請アリタルトキ

前項第一號ノ場合ニ於テハ療養ノ給付ニ要シタル費用ニ相當スル金額ハ事業主ヨリ之ヲ徴收ス

第四十九條 被保險者死亡シタルトキハ被保險者ニ依リ生計ヲ維持シタル者ニシテ埋葬ヲ行フモノニ對シ埋葬料トシテ被保險者ノ報酬日額ノ三十日分ニ相當スル金額ヲ支給ス但シ其ノ金額ガ三十圓ニ滿タザルトキハ之ヲ三十圓トス

被保險者死亡シタル場合ニ於テ前項ノ規定ニ依リ埋葬料ノ支給ヲ受クベキ者ナキトキハ埋葬ヲ行ヒタル者ニ對シ前項ノ金額ノ範圍内ニ於テ其ノ埋葬ニ要シタル費用ニ相當スル金額ヲ支給ス

第五十條 被保險者分焼シタルトキハ分焼費トシテ二十圓ヲ、出產手當金トシテ分娩ノ前後勅令ヲ以テ定ムル期間一日ニ付

他ノ被保險者タリシ者被保險者ノ資格ヲ喪失シタル日後九十日以内ニ死亡シタルトキハ被保險者タリシ者ニ依リ生計ヲ維持シタル者ニシテ埋葬ヲ行フモノハ最後ノ保險者ヨリ埋葬料ノ支給ヲ受クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ埋葬料ノ支給ヲ受クル者ナキ場合及前項ノ埋葬料ノ金額ニ付テハ第四十九條ノ規定ヲ準用ス

第五十七條 被保險者タリシ者被保險者ノ資格ヲ喪失シタル日後勅令ヲ以テ定ムル期間内ニ分焼シタルトキハ分焼ニ關シ被保險者トシテ受クルコトヲ得ベカリシ保險給付ヲ最後ノ保險者ヨリ受クルコトヲ得

第五十八條 疾病ニ罹リ、負傷シ又ハ分焼シタル場合ニ於テ繼續シテ報酬ノ全部又ハ一部ヲ受クルコトヲ得ベキ者ニ對シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ受クルコトヲ得ベキ期間傷病手當金又ハ出產手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セズ

第五十九條 前條ニ掲グル者疾病ニ罹リ、負傷シ又ハ分焼シタル場合ニ於テ其ノ受クルコトヲ得ベカリシ報酬ノ全部又ハ一部ヲ受クルコト能ハザリシトキハ保險者ハ之ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ傷病手當金又ハ出產手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給ス

前項ノ規定ニ依リ保險者ノ支給シタル金額ハ事業主ヨリ之ヲ徴收ス

報酬日額ノ百分ノ六十ニ相當スル金額ヲ支給ス

第五十一條 保險者ハ被保險者ヲ産院ニ收容シ又ハ助産ノ手當ヲ爲スコトヲ得

産院ニ收容シ又ハ助産ノ手當ヲ爲シタル被保險者ニ對シテ支給スベキ分焼費及出產手當金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ減額スルコトヲ得

第五十二條 分焼ニ關スル保險給付ニ付テハ勅令ヲ以テ分焼前一定ノ期間被保險者タリシ者ニ非ザレバ之ヲ爲サザルコトヲ定ムルコトヲ得

第五十三條 分焼ノ前後ニ保險者ニ變更アリタル場合ニ於テハ分焼ニ關スル保險給付ニ要スル費用ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ關係アル保險者之ヲ分擔ス

第五十四條 出產手當金ノ支給ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ期間傷病手當金ハ之ヲ支給セズ

第五十五條 被保險者ノ資格ヲ喪失シタル際疾病、負傷又ハ分焼ニ關シ保險給付ヲ受クル者ハ被保險者トシテ保險給付ヲ受クルコトヲ得ベカリシ期間繼續シテ同一保險者ヨリ其ノ給付ヲ受クルコトヲ得

第五十六條 前條ノ規定ニ依リ保險給付ヲ受クル者死亡シタルトキ、前條ノ規定ニ依リ保險給付ヲ受ケタル者其ノ給付ヲ受ケザルニ至リタル日後九十日以内ニ死亡シタルトキ又ハ其ノ

第六十條 被保險者又ハ被保險者タリシ者自己ノ故意ノ犯罪行爲ニ因リ又ハ故意ニ事故ヲ生ゼシメタルトキハ保險給付ヲ爲サズ

第六十一條 被保險者間爭、泥酔若ハ著シキ不行跡ニ因リ又ハ故意ニ危害豫防ニ關スル業務上ノ監督者ノ指揮ニ從ハザルニ因リ事故ヲ生ゼシメタルトキハ傷病手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セザルコトヲ得

第六十二條 保險給付ヲ受クベキ者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ期間保險給付ヲ爲サズ

一 陸海軍ニ徵集又ハ召集セラレタルトキ

二 本法施行區域外ニ在ルトキ

三 感化院其ノ他之ニ準スベキモノニ入院セシメラレタルトキ

四 監獄、留置場又ハ勞務場ニ拘禁又ハ留置セラレタルトキ

他ノ法令ノ規定ニ依リ國又ハ公共團體ノ負擔ニ於テ病院、病舎又ハ療養所ニ收容セラレタル者ニ對シテハ療養ノ給付ヲ爲サズ

前項ニ掲グル者ニ付テハ第四十六條ノ規定ヲ準用ス

第六十四條 保險者ハ詐欺其ノ他不正ノ行為ニ依リ保險給付ヲ受ケ又ハ受ケムトシタル者ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ期間ヲ定メ保險給付ノ全部又ハ一部ヲ爲サザルコトヲ得

第六十五條 保險者ハ必要アリト認ムルトキハ保險給付ヲ受ケル者ノ診斷ヲ行フコトヲ得

保險者ハ正當ノ理由ナクシテ前項ノ診斷ヲ拒ミタル者ニ對シ保險給付ノ全部又ハ一部ヲ爲サザルコトヲ得

第六十六條 保險給付ノ支給期日ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十七條 保險者ハ事故ガ第三者ノ行為ニ因リテ生ジタル場合ニ於テ保險給付ヲ爲シタルトキハ其ノ給付ノ價額ノ限度ニ於テ被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ第三者ニ對シテ有スル損害賠償請求ノ權利ヲ取得ス

第六十八條 保險給付ヲ受ケル權利ハ之ヲ讓渡シ又ハ差押フルコトヲ得ズ

第六十九條 保險給付トシテ支給ヲ受ケタル金品ヲ標準トシテ租稅其ノ他ノ公課ヲセズ

第五章 費用ノ負擔

第七十條 國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ各健康保險組合ノ保險給付ニ要スル費用ノ十分ノ一ヲ負擔ス

前項ノ規定ニ依リ國庫負擔金ノ總額ガ被保險者一人ニ付一年平均二圓ノ割合ヲ超ユル場合ニ於テハ各健康保險組合ニ對スル國庫負擔金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ限度ニ至ル迄之ヲ減額スルモノトス

前項ニ規定スル被保險者ノ員數ノ計算ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十一條 保險者ハ健康保險事業ニ要スル費用ニ充ツ爲保險料ヲ徵收ス

第七十二條 被保險者及被保險者ヲ使用スル事業主ハ各保險料額ノ二分ノ一ヲ負擔ス但シ第二十條ノ規定ニ依リ被保險者ハ其ノ全額ヲ負擔ス

第七十三條 業務ノ性質上事故多キ事業ニ使用セラルル被保險者又ハ少額ノ報酬ヲ受ケル被保險者ニ關スル保險料ニ付テハ勅令ヲ以テ事業主ノ負擔スベキ割合ヲ増加スルコトヲ得

第七十四條 被保險者ノ負擔スベキ保險料額ハ一日ニ付報酬日額ノ百分ノ三ヲ超ユルコトヲ得ズ但シ第二十條ノ規定ニ依リ被保險者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ニ規定スル制限ヲ超エテ保險料ヲ徵收スルコトヲ要スル場合ニ於テハ其ノ超過部分ハ事業主ノ負擔トス

第七十五條 健康保險組合ハ第七十二條若ハ前條ノ規定又ハ第八十二條ノ規定ニ依リ訴訟ノ提起アリタルトキハ主務大臣ハ第三次健康保險審査會ノ審査ヲ經テ裁決ヲ爲スベシ

第八十三條 健康保險審査會ノ組織及審査ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十四條 第十一條ノ二ノ規定ニ依リ處分ニ不服アル者ハ主務大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第八十五條 健康保險審査會ハ審査ノ爲必要アリト認ムルトキハ證人又ハ鑑定人ノ訊問其ノ他ノ證據ヲ爲スコトヲ得

證據調ハ所要ノ事務ヲ取扱フベキ地ノ區裁判所ニ之ヲ囑託スルコトヲ得

證據調ニ關シテハ民事訴訟法ノ證據調ニ關スル規定及民事訴訟費用法第九條及第十一條乃至第十三條ノ規定ヲ準用ス但シ健康保險審査會ノ爲證據調ニ關シテハ罰金ノ首渡ヲ爲シ又ハ拘引ヲ命ズルコトヲ得ズ

第八十六條 審査ノ請求、訴ノ提起又ハ訴願若ハ行政訴訟ノ提起ハ處分ノ通知又ハ決定書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スベシ此ノ場合ニ於テ審査ノ請求ニ付テハ訴訟法第八條第三項ノ規定ヲ、訴ノ提起ニ付テハ民事訴訟法第百五十八條第二項及第百五十九條ノ規定ヲ準用ス

第七十三條ニ基キテ發スル勅令ノ規定ニ拘ラズ其ノ規約ヲ以テ事業主ノ負擔スベキ保險料額ノ負擔ノ割合ヲ増加スルコトヲ得

第七十六條 被保險者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ期間保險料ヲ徵收セズ

一 傷病手當金又ハ出產手當金ノ支給ヲ受ケタルトキ

二 第六十二條第一項各號ノ一ニ該當スルトキ

第七十七條 事業主ハ其ノ使用スル被保險者ノ負擔スベキ保險料ヲ納付スル義務ヲ負フ但シ第二十條ノ規定ニ依リ被保險者ノ負擔スル保險料ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第七十八條 事業主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依リ納付スベキ保險料ヲ被保險者ニ支拂フベキ報酬ヨリ控除スルコトヲ得

第七十九條 保險料ノ納付期日ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六章 審査ノ請求、訴願及訴訟

第八十條 保險給付ニ關スル決定ニ不服アル者ハ第一次健康保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アル者ハ第二次健康保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アル者ハ通常裁判所ニ訴ヲ提起スルコトヲ得

第八十一條 保險料其ノ他本法ノ規定ニ依リ徵收金ノ賦課又ハ

第八十七條 正當ノ理由ナクシテ第九條ノ規定ニ依ル當該官吏又ハ吏員ノ職務ヲ拒ミ若ハ妨ケ又ハ其ノ訊問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虚偽ノ答辯ヲ爲シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十八條 第八條ノ規定ニ依ル保險者ノ請求アリタル場合ニ於テ正當ノ理由ナクシテ報告ヲ爲サズ、虚偽ノ報告ヲ爲シ又ハ文書ノ提示ヲ拒ミタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十九條 健康保險組合ノ設立ヲ命ゼラレタル事業主正當ノ理由ナクシテ主務大臣ノ指定スル期日迄ニ設立ノ認可ヲ申請セザルトキハ其ノ手續ヲ遅延シタル期間其ノ負擔スベキ保險料額ノ二倍ニ相當スル金額以下ノ科料ニ處ス

第九十條 健康保險組合ガ第三十七條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ又ハ處分ヲ拒ミ若ハ妨ゲタルトキハ其ノ役員ヲ百圓以下ノ科料ニ處ス

第九十一條 前二條ノ科料ニ付テハ非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

第九十二條 事業主營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有セザル

未成年者若ハ禁治産者ナル場合又ハ法人ナル場合ニ於テハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令中事業主ニ適用スベキ罰則ハ其ノ法定代理人又ハ法令ノ規定ニ依リ法人ヲ代表スル者ニ之ヲ適用ス

第九十三條 事業主ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自己ノ指彈ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

附則 (大正十五年三月二十七日) 法律第三十四號ヲ以テ改正

本法ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定ハ大正十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭和四年三月二十八日法律第二十號) 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム但シ第八十六條ノ改正規定中民事訴訟法ノ規定ノ準用ニ關スル部分ハ大正十五年法律第六十一號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和四年法律第二十號ハ昭和四年六月一日ヨリ之ヲ施行ス(昭和四年五月二十八日勅令第四百二十二號)

附則 (昭和九年三月二十六日法律第十三號) 本法ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ本法實施ノ爲ニ必要ナル事項ニ關シテハ昭和十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

健康保險法施行令

大正十五年六月三十日勅令第二百四十三號
 改正昭和二年三月十二日勅令第二百三十一號
 昭和四年七月二十九日勅令第四百三十三號
 昭和四年七月三十一日勅令第四百五十五號
 昭和九年十二月二十八日勅令第四百號

第一章 總則

第一條 健康保險法第二條第一項ノ賃金、給料又ハ俸給ニ準スベキモノノ範圍ハ常時又ハ定期ニ受クル給與其ノ他ノ利益トス但シ左ニ掲グルモノヲ除ク

一 三月ヲ超ユル期間毎ニ支給スル賞與又ハ手當

二 通勤手當

三 住居ニ關スル利益又ハ住宅料ニシテ賃金、給料又ハ俸給ノ額ノ決定ニ影響ナキモノ

四 其ノ他内務大臣ノ指定スルモノ

第二條 賃金、給料又ハ俸給ニ準スベキモノノ全部又ハ一部ガ金錢以外ノ給與其ノ他ノ利益ナル場合ニ於テハ其ノ價額ハ保險官署ノ定ムル標準價額ニ依リ之ヲ算定ス

前項ノ標準價額ハ其ノ地方ノ時價ニ依リ之ヲ定ム

健康保險組合ハ第一項ノ規定ニ拘ラズ規約ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第三條 健康保險法第三條第一項ノ標準報酬ハ被保險者ノ報酬日額ニ基キ左ノ區別ニ依リ之ヲ定ム

標準報酬ノ等級	標準報酬日額	報	調	日	額
第一級	三十錢	三十五錢未滿			
第二級	四十錢	三十五錢以上四十五錢未滿			
第三級	五十錢	四十五錢以上五十五錢未滿			
第四級	六十錢	五十五錢以上六十五錢未滿			

第五級	七十錢	六十五錢以上七十五錢未滿
第六級	八十錢	七十五錢以上八十五錢未滿
第七級	一圓	八十五錢以上一圓十五錢未滿
第八級	一圓三十錢	一圓十五錢以上一圓四十五錢未滿
第九級	一圓六十錢	一圓四十五錢以上一圓七十五錢未滿
第十級	一圓九十錢	一圓七十五錢以上二圓五錢未滿
第十一級	二圓二十錢	二圓五錢以上二圓三十五錢未滿
第十二級	二圓五十錢	二圓三十五錢以上二圓六十五錢未滿
第十三級	二圓八十錢	二圓六十五錢以上二圓九十五錢未滿
第十四級	三圓十錢	二圓九十五錢以上三圓二十五錢未滿
第十五級	三圓五十錢	三圓二十五錢以上三圓七十五錢未滿
第十六級	四圓	三圓七十五錢以上

第四條 標準報酬ハ毎年六月一日ノ現在ニ依リ之ヲ定メ七月一日ヨリ翌年六月三十日迄其ノ效力ヲ有ス但シ被保險者ノ資格ヲ取得シタル際ニ於ケル標準報酬ハ其ノ資格ヲ取得シタル日ノ現在ニ依リ之ヲ定メ其ノ日ヨリ六月三十日迄其ノ效力ヲ有ス

被保險者ノ報酬ニ著シキ増減アリタルトキハ保險者ハ前項ノ規定ニ拘ラズ標準報酬ノ變更ヲ爲スベシ
健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ニ付テハ第一項ノ規定ニ拘ラズ引續キ従前ノ標準報酬ニ依ル
健康保險組合ハ第一項ノ規定ニ拘ラズ標準報酬ノ決定ニ關シ

規約ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第五條 第三條ニ規定スル被保險者ノ報酬日額ハ左ノ各號ノ規定ニ依リ之ヲ算定ス

- 一 一年ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ標準報酬決定ノ日ノ現在ニ於ケル年額ノ三百六十分ノ一
- 二 月ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ標準報酬決定ノ日ノ現在ニ於ケル月額ノ三十分ノ一
- 三 前二號ノ外一定ノ期間ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ標準報酬決定ノ日ノ現在ニ於ケル其ノ報酬ノ額ヲ其ノ期間ノ日數ヲ以テ除シテ得タル額
- 四 日、時間、線高又ハ請負ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ標準報酬決定ノ日前三月間ニ受ケタル額ノ九十分ノ一但シ現ニ使用セラルル事業ニ於テ報酬ヲ受ケタル期間三月ニ滿チザルトキハ其ノ地方ニ於テ同様ノ作業ニ従事シ同様ノ報酬ヲ受ケタル被保險者ノ報酬ニ付本號ノ規定ニ依リテ算定シタル額
- 五 前四號ノ規定ニ依リ算定シ難キモノニ付テハ標準報酬決定ノ日前一年間ニ於テ受ケタル額ノ三百六十分ノ一但シ現ニ使用セラルル事業ニ於テ報酬ヲ受ケタル期間三百六十日ニ滿チザルトキハ其ノ受ケタル報酬ノ額ヲ其ノ期間ノ日數ヲ以テ除シテ得タル額

健康保險法施行令

- 六 前各號ノ二以上ニ該當スル報酬ヲ受ケル場合ニ於テハ其ノ各ニ付前各號ノ規定ニ依リ算定シタル額ノ合算額
 - 七 同時ニ二以上ノ業務ニ於テ報酬ヲ受ケル場合ニ於テハ各業務ニ付前各號ノ規定ニ依リ算定シタル額ノ合算額
- 被保險者ノ報酬日額ガ前項ノ規定ニ依リ算定シ難キトキ又ハ前項ノ規定ニ依リテ算定シタル額ガ著シク不當ナルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ保險者ニ於テ適當ノ方法ニ依リ之ヲ算定スベシ
- 保險者ガ健康保險組合ナル場合ニ於テハ前項ノ算定方法ハ規約ヲ以テ之ヲ定ムベシ

第五條ノ二 健康保險法第十一條第一項ノ規定ニ依リ保險料其ノ他同法ノ規定ニ依ル徵收金納付ノ督促ヲ爲サントスルトキハ保險者ハ納付義務者ニ對シ督促狀ヲ發スベシ
督促狀ヲ發シタルトキハ督促手数料トシテ十錢ヲ徵收ス

第五條ノ三 前條ノ規定ニ依リ督促ヲ爲シタル場合ニ於テハ徵收金額百圓ニ付一日三錢ノ割合ヲ以テ納期限ノ翌日ヨリ徵收金完納又ハ財産差押ノ日ノ前日迄ノ日數ニ依リ計算シタル延滞金ヲ徵收ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合又ハ滞納ニ付酌量スベキ情狀アリト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 納入ノ告知書一通ノ徵收金額五圓未滿ナルトキ
- 二 納期ヲ繰上ゲ徵收ヲ爲ストキ

健康保險法施行令

三 納付義務者ノ住所及居所ガ帝國内ニ在ラザル爲又ハ其ノ住所及居所共ニ不明ナル爲公示送達ノ方法ニ依リ納入ノ告知又ハ督促ヲ爲シタルトキ

督促狀ニ指定シタル期限迄ニ徵收金及督促手数料ヲ完納シタルトキハ延滞金ヲ徵收セズ

第六條 健康保險法又ハ本令ノ規定ニ依リ事業主ガ内務大臣ノ認可ヲ受クベキ場合ニ於テ政府ガ事業主ナルトキハ内務大臣ノ承認ヲ受クベシ

第七條 政府ノ事業ニ使用セララルル被保險者ガ共済組合ノ組合員ナル場合ニ於テ其ノ組合ノ給付ノ種類及程度ヲ内務大臣ニ於テ適當ナリト認め其ノ組合ヲ指定シタルトキハ其ノ被保險者ニ對シテハ健康保險法ノ規定ニ依ル保險給付ヲ爲サズ

第八條 前條ノ規定ニ依リ保險給付ヲ受ケザル者ニ付テハ保險料ハ之ヲ徵收セズ

第二章 被保險者

第九條 臨時ニ使用セララルル者ノ中左ニ掲グル者ハ健康保險法第十三條但書又ハ第十五條第二項ノ規定ニ依リ被保險者トラザルモノトス但シ第一號ニ該當スル者所定ノ期間ヲ超エテ引續キ使用セララルルニ至リタルトキ又ハ第二號若ハ第三號ニ該當スル者三十日ヲ超エテ引續キ使用セララルルニ至リタルトキ

ハ此ノ限ニ在ラズ

一 六十日以内ノ期間ヲ定メテ使用セララルル者

二 使用期間ノ定ナク勞務供給契約ニ基キ又ハ試ニ使用セララルル者

三 日日雇入レラルル者

四 前各號ニ掲グルモノノ外内務大臣ノ定ムル者

第十條 健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タラムトスル申請ハ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル日(繼續シテ保險給付ヲ受クル者ニ在リテハ其ノ給付ヲ受ケザルニ至リタル日)ヨリ十日以内ニ之ヲ爲スベシ但シ保險者ニ於テ正當ノ理由アリト認めタルトキハ期限經過後ノ申請ト雖之ヲ受理スルコトヲ得

第三章 健康保險組合

第一節 組合ノ設立

第十一條 事業主健康保險組合ヲ設立スル爲健康保險法第二十九條ノ同意ヲ求ムル 場合ニ於テハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ同條ノ被保險者(健康保險法第三十條ノ場合ニ在リテハ被保險者ト爲ルベキ者)全部ニ送付スベシ

一 組合員タルベキ者ノ範圍

二 組合ノ組織ノ概要

三 保險料ノ概要

大臣ハ其ノ事項ヲ告示スベシ

第十六條 組合設立ノ認可アリタルトキハ事業主ハ遲滞ナク規約ヲ公示スベシ規約ノ變更アリタルトキ亦同ジ

第十七條 組合設立ノ認可アリタルトキハ事業主ハ遲滞ナク組合員ヲ招集シ組合設立ノ經過、保險料率及初年度ノ收入支出ノ豫算其ノ他重要ナル事項ヲ報告スベシ

第十八條 組合設立後理事就職ニ至ル迄ハ事業主理事ノ職務ヲ行フ

第二節 組合ノ會議

第十九條 組合ニ組合會ヲ置ク

組合會ハ組合會議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第二十條 議員ノ定數ハ十二人以上ノ偶數トシ其ノ半數ハ事業主ニ於テ事業主(若ハ其ノ代理人)及其ノ事業ニ使用セララルル者ノ中ニ就キ之ヲ確定シ他ノ半數ハ被保險者タル組合員ニ於テ之ヲ互選ス

第二十一條 議員就職シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ公示スベシ議員退職又ハ死亡シタルトキ亦同ジ

第二十二條 議員ノ選舉ハ無記名投票ニ依リ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

第二十三條 選舉人タル組合員議員ノ選舉又ハ當選ノ效力ニ關

四 保險給付ノ概要

五 其ノ他事業計畫ノ概要

第十二條 規約ニハ左ノ事項ヲ規定スベシ

一 組合ノ名稱

二 事務所ノ所在地

三 組合ノ設立アル事業ノ名稱及所在地

四 公示ノ方法

五 其ノ他組合ニ關シ重要ナル事項

第十三條 組合ハ其ノ名稱中ニ健康保險組合ナル文字ヲ用フベシ

健康保險組合ニ非ザルモノハ其ノ名稱中ニ健康保險組合ナル文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第十四條 組合設立ノ際ニ於テ定ムベキ保險料率及初年度ノ收入支出ノ豫算ハ事業主之ヲ定メ内務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第十五條 組合設立ノ認可ヲ爲シタルトキハ内務大臣ハ左ノ事項ヲ告示スベシ

一 組合ノ名稱

二 事務所ノ所在地

三 組合ノ設立アル事業ノ名稱及所在地

四 認可ノ年月日

前項各號ノ事項ニ關スル規約ノ變更ヲ認可シタルトキハ内務

健康保險法施行令

シ異議アルトキハ第二十一條ノ公示ノ日ヨリ七以內ニ之ヲ理事ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ申立アリタルトキハ理事ハ二十日以内ニ之ヲ組合會ノ決定ニ付シ其ノ決定アリタルトキハ遅滞ナク之ヲ公示スベシ前項ノ決定ニ不服アル者ハ決定アリタル日ヨリ三十日以内ニ監督官廳ニ訴願スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ健康保險組合ヲ訴願法ノ規定ニ依ル行政廳ト看做ス

議員ハ第二項ノ決定又ハ前項ノ訴ノ裁決アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハズ

第二十四條 本令ニ規定スルモノノ外議員ノ定數、資格、任期選定及選舉ニ關スル事項ハ規約ノ定ムル所ニ依ル

第二十五條 組合會ノ議決スベキ事項左ノ如シ

- 一 收入支出ノ豫算
- 二 事業報告及決算
- 三 收入支出豫算ヲ以テ定ムルモノノ外新ナル義務ノ負擔又ハ權利ノ拋棄
- 四 準備金ノ管理方法
- 五 準備金其ノ他重要ナル財産ノ處分
- 六 組合債
- 七 規約ノ變更
- 八 保険料率

九 訴願訴訟ノ提起和解

十 其ノ他重要ナル事項

第二十六條 組合會ハ組合ノ事務ニ關スル書類ヲ檢閲シ、理事ノ報告ヲ請求シ又ハ事務ノ管理、議決ノ執行及出納ヲ檢査スルコトヲ得

組合會ハ議員中ヨリ委員ヲ選舉シ前項ノ組合會ノ權限ニ屬スル事項ヲ行ハシムルコトヲ得

第二十七條 組合會ハ理事之ヲ招集ス

議員定數ノ三分ノ一以上ヨリ會議ノ目的タル事項ヲ示シテ組合會招集ノ請求ヲ爲シタルトキハ理事ハ七日以内ニ之ヲ招集スベシ

組合會ノ招集ハ會議ノ目的タル事項ヲ示シ急施ヲ要スル場合ヲ除クノ外開會ノ日ヨリ少クトモ三日前ニ之ヲ爲スベシ

前二項ノ期間ニ付テハ規約ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

組合會開會中急施ヲ要スル事項アルトキハ理事ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得

組合會ハ理事之ヲ閉閉ス

第二十八條 組合會ノ議長ハ理事長ヲ以テ之ニ充ツ

理事長故障アルトキハ其ノ代理者議長ノ職務ヲ行フ

決算ノ認定ニ關スル會議ノ議長ハ前二項ノ規定ニ拘ラズ理事以外ノ出席議員中ヨリ互選セラレタル者ヲ以テ之ニ充ツ

議長ハ會議ヲ總理シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第二十九條 組合會ハ議員定數ノ半数以上出席スルニ非ザレバ會議ヲ開クコトヲ得ズ但シ第三十二條ノ除外ノ爲半数ニ滿チザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 組合會ノ議事ハ出席議員ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第三十一條 規約變更ノ議事ハ議員定數ノ四分ノ三以上ノ多数ヲ以テ之ヲ決ス

第三十二條 議長及議員ハ其ノ一身上ニ關スル事項ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ズ但シ組合會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第三十三條 議員ハ自ら會議ニ出席シ表決ヲ爲スベシ但シ病氣其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ因リ會議ニ出席スルコト能ハザル議員ハ規約ノ定ムル所ニ依リ豫メ書面ヲ以テ出席議員ニ委任シテ表決ヲ爲スコトヲ妨グズ此ノ場合ニ於テハ之ヲ會議ニ出席シタルモノト看做ス

第三十四條 組合員ハ規約ニ定ムル特別ノ場合ヲ除クノ外組合會ノ會議ヲ傍聴スルコトヲ得

第三十五條 議員ハ其ノ職務ノ爲要スル旅費ノ支給ヲ組合ヨリ受クルコトヲ得

被保險者タル議員其ノ職務ヲ行フニ因リ平常ノ業務ニ對スル

健康保險法施行令

報關ヲ受クルコトヲ得ザル場合ニ於テハ其ノ補償ヲ組合ヨリ受クルコトヲ得

第一項ノ旅費及前項ノ補償ノ額及支給方法ハ規約ノ定ムル所ニ依ル

第三節 組合ノ役員

第三十六條 組合ニ理事ヲ置ク

理事ノ定數ハ四人以上ノ偶數トシ其ノ半数ハ事業主ノ選定シタル議員ニ於テ、他ノ半数ハ被保險者タル組合員ノ互選シタル議員ニ於テ之ヲ互選ス

理事ノ中一人ヲ理事長トシ事業主ノ選定シタル議員タル理事中ニ就キ理事之ヲ選舉ス

第三十七條 理事長ハ組合ヲ代表ス

理事長故障アルトキハ規約ノ定ムル所ニ依リ他ノ理事其ノ職務ヲ代理ス

第三十八條 組合ノ事務ハ理事ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ理事長ノ決スル所ニ依ル

第三十九條 組合會成立セズ又ハ其ノ議決スベキ事項ヲ議決セザルトキハ理事ハ監督官廳ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スベキ事項ヲ處置スルコトヲ得

第四十條 組合會ニ於テ議決スベキ事項ニ關シ臨時急施ヲ要ス

ル場合ニ於テ組合會成立セザルトキ又ハ之ヲ招集スルノ暇ナ
キトキハ理事之ヲ專決スルコトヲ得

第四十一條 前二條ノ規定ニ依リ處置ヲ爲シタルトキハ理事ハ
次回ノ會議ニ於テ之ヲ組合會ニ報告スベシ

第四十二條 理事ハ規約、財産目録、事業報告書、組合原簿及
組合會ノ會議録ヲ事務所ニ備フベシ

組合員前項ノ書類ノ閲覧ヲ求メタルトキハ理事ハ正當ノ事由
アルニ非ザレバ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第四十三條 第二十一條、第二十四條及第三十五條ノ規定ハ理
事及理事長ニ之ヲ準用ス

第四節 組合ノ財務

第四十四條 組合ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル

第四十五條 組合ハ毎會計年度收入支出ノ豫算ヲ調製シ監督官
廳ノ認可ヲ受クベシ豫算ヲ更正又ハ追加シタルトキ亦同ジ
豫算ニ定メタル各款ノ金額ハ彼此流用スルコトヲ得ズ
豫算ニ定メタル各項ノ金額ハ組合會ノ議決ヲ經テ之ヲ流用ス
ルコトヲ得

第四十六條 組合ハ組合會ノ議決ヲ經テ繼續費ヲ設クルコトヲ
得

第四十七條 組合ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲メ豫備費ヲ設クベ
シ

豫備費ハ規約ヲ以テ定メタル用途以外ノ用途ニ之ヲ充ツルコ
トヲ得ズ

第四十八條 組合ニ於テ其ノ收入金ヲ收納スルハ翌年度五月三
十一日、其ノ支出金ヲ支拂フハ翌年度四月十五日限リトシ其
ノ出納ヲ閉鎖ス

第四十九條 組合ハ保険料率ヲ變更セムトスルトキハ監督官廳
ノ認可ヲ受クベシ

第五十條 組合ハ少クとも保險給付ニ要シタル費用ノ前三年度
ノ平均年額ニ相當スル額ニ達スル迄毎年度ノ剩餘金中ヨリ該
平均年額ノ百分ノ五以上ニ相當スル額(剩餘金ガ該平均年額
ノ百分ノ五ニ達セザルトキハ其ノ全額)ヲ準備金トシテ積立
ツベシ

前項ノ限度内ノ準備金ハ保險給付ニ要スル費用ニ不足ヲ生ジ
タルトキニ非ザレバ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

第五十一條 組合ハ準備金ノ管理方法ヲ定メ監督官廳ノ認可ヲ
受クベシ

第五十二條 準備金以外ノ財産ノ管理方法ハ規約ヲ以テ之ヲ定
ムベシ

第五十三條 組合ハ支拂上現金ニ不足ヲ生ジタルトキハ準備金
ニ屬スル現金ヲ繰替使用スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ仍現金ニ不足アルトキハ一時借入金ヲ爲ス
コトヲ得

前二項ノ規定ニ依リ繰替使用シタル金額及一時借入金ハ當該
會計年度内ニ之ヲ返還スベシ

第二項ノ一時借入金ヲ爲シ得ベキ限度ハ毎年度監督官廳ノ認
可ヲ受クベシ

第五十四條 組合ハ組合債ヲ起シ、起債ノ方法、利息ノ定率若
ハ償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更セムトスルトキハ監督官廳
ノ認可ヲ受クベシ

第五十五條 組合ハ重要ナル財産ノ處分ヲ爲サムトスルトキハ
監督官廳ノ認可ヲ受クベシ

第五節 組合ノ分合解散

第五十六條 組合合併又ハ分割ヲ爲サムトスルトキハ關係アル
組合ノ組合會ニ於テ議員定數ノ四分ノ三以上ノ多數ヲ以テ之
ヲ議決シ内務大臣ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ場合ニ於テ規約ノ變更ヲ要スルトキハ前項ノ議決ト共
ニ之ヲ議決スベシ

第五十七條 組合ノ分割ハ組合ノ設立アル事業ノ一部ニ付之ヲ
爲スコトヲ得ズ

一事業ニ於テ作業ノ場所二以上アル場合ニ於テハ前項ノ規定

ノ適用ニ付テハ内務大臣ハ其ノ一又ハ二以上ノ場所ニ於ケル
作業ヲ一事業ト看做スコトヲ得

第五十八條 分割ヲ爲ス場合ニ於テハ分割後存続スル組合又ハ
分割ニ因リテ成立スル組合ノ被保險者タル組合員ノ員數ハ常
時三百人以上タルベキコトヲ要ス

第五十九條 合併ニ因リテ成立スル組合ノ規約、保険料率及初
年度ノ收入支出ノ豫算ハ各組合ニ於テ選任シタル者共同シテ
之ヲ定メ内務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第六十條 分割ニ依リテ成立スル組合ノ規約、保険料率及初年
度ノ收入支出ノ豫算ハ其ノ組合ノ組合員タルベキ事業主之ヲ
定メ内務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第六十一條 合併後存続スル組合又ハ合併ニ因リテ成立シタル
組合ハ合併ニ因リテ消滅シタル組合ノ權利義務ヲ承繼ス

分割ニ因リテ成立シタル組合ハ分割ニ因リテ消滅シタル組合
又ハ分割後存続スル組合ノ權利義務ノ一部ヲ承繼ス

前項ノ規定ニ依リ承繼スル權利義務ノ限度ハ分割ノ議決ト共
ニ之ヲ議決シ内務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第六十二條 組合ノ合併又ハ分割ノ認可ヲ爲シタルトキハ内務
大臣ハ合併又ハ分割ニ因リテ成立又ハ消滅シタル組合及合併
又ハ分割後存続スル組合ニ付左ノ事項ヲ告示スベシ

一 組合ノ名稱

二 事務所ノ所在地

三 組合ノ設立アル事業ノ名稱及所在地

四 認可ノ年月日

第六十三條 第十六條乃至第十八條ノ規定ハ合併又ハ分割ニ因リテ成立シタル組合ニ付之ヲ準用ス

合併又ハ分割ノ際其ノ合併又ハ分割シタル組合ノ理事タリシ者ガ合併又ハ分割ニ因リテ成立シタル組合ノ組合員タル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ依リ事業主ノ行フベキ職務ハ其ノ理事タリシ者之ヲ行フ

第六十四條 組合解散ヲ爲サムトスルトキハ組合會ニ於テ議員定數ノ四分ノ三以上ノ多數ヲ以テ之ヲ議決シ内務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第六十五條 組合ハ被保險者タル組合員ナキニ至ルモ其ノ欠缺ガ一時的ナル場合ニ於テハ解散スルコトナシ

第六十六條 組合解散シタルトキハ内務大臣ハ第六十二條ノ例ニ依リ之ヲ告示スベシ

第六十七條 組合ノ設立アル事業ヲ増減セムトスルトキハ編入又ハ削除セラルベキ事業ノ事業主ノ全部及其ノ事業ニ使用セラルル被保險者ノ二分ノ一以上ノ同意アルコトヲ要ス
編入又ハ削除セラルベキ事業ニ以上アル場合ニ於テハ前項ノ被保險者ノ同意ハ各事業ニ付之ヲ得ルコトヲ要ス

前二項ノ規定ニ於テ被保險者トアルハ健康保險法第十四條第一項ノ規定ニ依リ認可ノ申請ト同時ニ事業編入ニ關スル規約變更ノ認可ノ申請ヲ爲ス場合ニ在リテハ被保險者ト爲ルベキ者トス

第六十八條 第五十七條ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス
第六十九條 事業ノ削除ヲ爲ス場合ニ於テハ削除後ニ於テモ組合ノ被保險者タル組合員ノ員數ハ常時三百人以上タルベキコトヲ要ス

第七十條 組合ガ第六十七條ノ同意ヲ求メムトスルトキハ事業ノ編入ノ場合ニ在リテハ第十一條各號ニ掲グル事項ヲ記載シタル書面ヲ、事業ノ削除ノ場合ニ在リテハ削除ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ編入又ハ削除ニ因リ組合員タル資格ヲ取得又ハ喪失スベキ者ノ全部ニ送付スベシ

第六節 組合ノ監督

第七十一條 内務大臣ハ組合會ノ解散ヲ命ズルコトヲ得
組合會解散ノ場合ニ於テハ一月以内ニ議員ノ選定及選舉ヲ爲スベシ

第七十二條 健康保險法第三十九條ノ規定ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間組合ノ役員タルコトヲ得ズ

第七十三條 第二十三條第三項、第三十九條、第四十五條第一

項、第四十九條、第五十一條、第五十三條第四項、第五十四條及第五十五條ニ於テ監督官廳トアルハ社會局長官トス

第四章 保險給付

第七十四條 健康保險法第四十三條第一項ノ療養ノ給付ノ範圍左ノ如シ

一 診療

二 藥劑又ハ治療材料ノ支給

三 處置、手術其ノ他ノ治療

四 看護

五 被保險者ノ移送

前項第三號ノ給付ハ緊急ノ場合其ノ他被保險者必要アリト認ムル場合ヲ除クノ外之ニ要スル費用一回二十圓ヲ以テ限度トス
第一項第四號及第五號ノ給付ハ被保險者必要アリト認ムル場合ニ於テ爲スモノニ限ル

第七十五條 前條第一項第一號乃至第三號ノ給付ニ付テハ被保險者ハ被保險者ノ指定シタル醫師又ハ齒科醫師中自己ノ選定シタルモノニ就キ之ヲ受クルコトヲ得但シ健康保險法第四十三條第三項ノ規定ニ依リ病院ニ收容セラレタルトキハ此ノ限りニ在ラズ
被保險者前項ノ規定ニ依リ醫師又ハ齒科醫師ヲ選定シタルト

健康保險法施行令

キハ被保險者ノ承認アリタル場合ヲ除クノ外同一ノ疾病又ハ負傷ノ療養ニ付テハ之ヲ變更スルコトヲ得ズ
被保險者ハ正當ノ事由アルニ非ザレバ前項ノ承認ヲ拒ムコトヲ得ズ

第七十六條 前條ニ規定スル醫師又ハ齒科醫師處方箋ヲ交付シタルトキハ被保險者ハ被保險者ノ指定シタル者ニ就キ藥劑ヲ受クルコトヲ得

第七十七條 左ノ場合ニ於テハ健康保險法第四十四條ノ規定ニ依リ療養ノ給付ニ代ヘテ療養費ヲ支給スルコトヲ得

一 被保險者ニ於テ療養ノ給付ヲ爲スコト困難ナリト認ムタルトキ

二 被保險者ガ被保險者ノ承認ヲ受ケ其ノ指定セザル醫師又ハ齒科醫師ノ診療ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ被保險者ノ申請アリタルトキ

三 被保險者ガ緊急ノ場合ニ於テ被保險者ノ指定セザル醫師、齒科醫師其ノ他ノ者ノ手當ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ被保險者ノ申請アリタルトキ

健康保險組合ハ前項各號ノ外規約ヲ以テ療養ノ給付ニ代ヘテ療養費ヲ支給スルコトヲ得ル場合ヲ定ムルコトヲ得
第七十八條 前條ノ規定ニ依リ支給スル療養費ノ額ハ療養ノ給付ヲ爲ス場合ニ要スル額ヲ標準トシテ被保險者之ヲ定ム

第七十九條 病院ニ收容シタル被保險者ニ對シ支給スベキ傷病手當金ハ左ノ額トス

一 主トシテ被保險者ニ依リ生計ヲ維持スル者ナキ場合

標準報酬日額ノ百分ノ二十

二 前號ニ掲グル者二人以内ナル場合

標準報酬日額ノ百分ノ四十

三 第一號ニ掲グル者三人以上ナル場合

標準報酬日額ノ百分ノ六十

第八十條 出産手當金ハ被保險者ガ分娩ノ日前二十八日、分娩ノ日以後四十二日以内ニ於テ勞務ニ服セザリシ期間之ヲ支給ス

分娩ノ日ガ其ノ豫定日ヨリ後レタルトキハ保險者ハ前項ノ分娩ノ日前ノ期間ヲ七日以内延長スルコトヲ得

第八十一條 産院ニ收容シ又ハ助産ノ手當ヲ爲シタル被保險者ニ對シ支給スベキ分娩費ノ額ハ四十トス

産院ニ收容シタル被保險者ニ對シ支給スル出産手當金ニ付テハ第七十九條ノ規定ヲ準用ス

第八十二條 分娩ニ關スル保險給付ハ分娩前一年內ニ於テ百八十日以上被保險者タリシ者ニ非ザレバ之ヲ爲サズ但シ九十日以上被保險者タリシ者ニ對シテハ分娩費ヲ支給シ又ハ助産ノ手當ヲ爲ス

給スベキ傷病手當金ニ付テハ第七十九條ノ規定ヲ準用ス

第八十八條 詐欺其ノ他不正ノ行爲ニ依リ保險給付ヲ受ケ又ハ受ケムトシタル者ニ對シテハ保險者ハ百八十日以内ノ期間ヲ定メ其ノ者ニ支給スベキ傷病手當金又ハ出産手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セザル旨ノ決定ヲ爲スコトヲ得但シ詐欺其ノ他不正ノ行爲アリタル日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ此ノ限りニ在ラズ

前項ノ決定ハ保險者ニ於テ其ノ事實ヲ知リタルトキ遅滞ナク之ヲ爲シ本人ニ通知スベシ

被保險者業務上ノ事由ニ因リ疾病ニ罹リ又ハ負傷シタル場合ニ於テハ第一項ノ規定ニ拘ラズ傷病手當金ヲ支給ス

前項ノ給付ヲ爲シタル期間ハ第一項ノ百八十日ノ期間ノ計算ニ付テハ之ヲ算入セズ

第八十九條 傷病手當金及出産手當金ハ少クトモ毎月二回一定ノ期日ニ之ヲ支給スベシ但シ毎月一回報酬ノ支拂ヲ受クル被保險者ニ付テハ毎月一回其ノ報酬支拂ノ日ニ於テ之ヲ支給スルコトヲ得

療養費、埋葬料及分娩費ハ其ノ都度之ヲ支給スベシ健康保險法第四十九條第二項又ハ第五十六條第二項ノ埋葬費ニ付亦同

ジ

健康保險法施行令

健康保險法施行令

健康保險法施行令

健康保險法施行令

健康保險法施行令

健康保險法施行令

健康保險法施行令

健康保險法施行令

第八十三條 分娩ノ前後ニ保險者ニ變更アリタル場合ニ於テ各保險者ノ分娩ニ關スル保險給付ニ要スル費用ノ分擔額ハ其ノ給付ヲ受クル者ガ分娩ノ豫定日前二百八十日目ヨリ分娩ノ日以後四十二日迄ノ期間ニ於テ被保險者タリシ期間ノ割合ニ應ジテ之ヲ算定ス

第八十四條 被保險者タリシ者分娩ニ關スル保險給付ヲ受クルニハ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル日後百八十日以内ニ分娩シタルコトヲ要ス

第八十五條 疾病ニ罹リ、負傷シ又ハ分娩シタル場合ニ於テ繼續シテ報酬ノ全部又ハ一部ヲ受クルコトヲ得ベキ者ニ對シテハ之ヲ受クルコトヲ得ベキ期間傷病手當金又ハ出産手當金ヲ支給セズ但シ其ノ受クルコトヲ得ベキ報酬ノ額ガ傷病手當金又ハ出産手當金ノ額ヨリ小ナルトキハ其ノ差額ヲ支給ス

第八十六條 前條ニ掲グル者其ノ受クルコトヲ得ベカリシ報酬ノ全部又ハ一部ニ付テ其ノ全額ヲ受クルコト能ハザリシトキハ傷病手當金又ハ出産手當金ノ全額、其ノ一部ヲ受クルコト能ハザリシ場合ニ於テ受ケタル額ガ傷病手當金又ハ出産手當金ノ額ヨリ小ナルトキハ其ノ額ト傷病手當金又ハ出産手當金トノ差額ヲ支給ス但シ前條但書ノ規定ニ依リ傷病手當金又ハ出産手當金ノ一部ヲ受ケタルトキハ其ノ額ヲ支給額ヨリ控除ス

第八十七條 健康保險法第六十二條第二項ニ掲グル者ニ對シテ

第五節 費用ノ負擔

第九十條 健康保險組合ニ對シ交付スル國庫負擔金ニ付テハ概算ヲ爲スコトヲ得

前項ノ概算ヲ必要ナル事項ハ内務大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ムベシ

第九十一條 健康保險法第七十條第一項ノ規定ニ依ル國庫負擔金算定ノ基礎タル保險給付ニ要スル費用ノ額ハ療養ノ給付、産院收容及助産ノ手當ニ直接要シタル金額並傷病手當金、出産手當金、分娩費、埋葬料、療養費及健康保險法第四十九條第二項又ハ第五十六條第二項ノ埋葬費ノ支給額ノ合算額トシ

毎年度之ヲ計算ス但シ同法第四十八條ノ規定ニ依ル療養ノ給付ニ直接要シタル金額及同法第五十九條第一項ノ規定ニ依ル傷病手當金又ハ出産手當金ノ支給額ハ之ヲ算入セズ

前項ノ療養ノ給付、産院收容又ハ助産ノ手當ニ要シタル器具機械、建築物其ノ他ノ施設ニシテ其ノ效用二年以上ニ亘ルモノニ付テハ之ニ要シタル費用ヲ其ノ施設ノ豫定使用年數ニ應ジ各年均等ニ分割シテ之ヲ計算ス

第九十二條 健康保險法第七十條第二項ニ規定スル被保險者ノ員數ハ其ノ年度内ノ各月末ニ於ケル被保險者ノ總數ノ平均數トス

健康保險法施行令

第九十三條

健康保險組合ニ對スル國庫負擔金ノ總額ガ被保險者一人ニ付一年平均二圓ノ割合ヲ超ユル場合ニ於テ各健康保險組合ニ對スル國庫負擔金ノ額ハ健康保險法第七十條第二項ノ國庫負擔金ノ總額ノ限度ニ於テ各健康保險組合ノ保險給付ニ要スル費用ノ額ニ應ジ内務大臣之ヲ定ム

第九十四條 保險料額ハ一日ニ付各被保險者ノ標準報酬日額ニ保險料率ヲ乘ジテ得タル額トス

第九十五條 保險料率ハ保險者之ヲ定ム

保險料率ハ各被保險者ニ付同一ナルコトヲ要ス但シ性質上事故多キ業務ニ使用セララル被保險者ニ付テハ其ノ業務ノ種類ニ從ヒ異ナル保險料率ヲ定ムルコトヲ得

第九十六條 性質上事故多キ業務ニ使用セララル被保險者ニ關スル保險料ニ付テハ内務大臣ハ事業主ノ負擔スベキ割合ヲ保險料額ノ三分ノ二迄增加スルコトヲ得

第九十七條 第五條ノ規定ニ依リ算定シタル報酬日額五十五錢未滿ノ報酬ヲ受タル被保險者ニ關スル保險料ニ付テハ事業主ノ負擔額ハ報酬日額五十五錢以上六十五錢未滿ノ報酬ヲ受タル被保險者ニ關スル保險料ニ付テハ事業主ノ負擔スベキ額ト同額トス但シ其ノ額ガ保險料ノ全額ヲ超過スル場合ニ於テハ事業主ノ負擔額ハ保險料ノ全額トス

第九十八條 事業主ハ被保險者ニ對シ金錢ヲ以テ報酬ヲ支持フ

二四

場合ニ於テハ被保險者ノ負擔スベキ前月分ノ保險料ヲ報酬ヨリ控除スルコトヲ得

事業主ハ被保險者ガ其ノ事業ニ使用セラレザルニ至リタルトキニ限リ前項ノ規定ニ拘ラズ報酬支拂ノ際ニ於テ被保險者ノ負擔スベキ前月分及其ノ月分ノ保險料ヲ控除スルコトヲ得

第九十九條 事業主ハ保險料ノ控除ニ關スル計算書ヲ作製シ被保險者ノ請求ニ應ジテ閲覧セシムベシ

第一百條 毎月ノ保險料ハ翌月末日迄ニ之ヲ納付スベシ

保險者保險料納入ノ告知ヲ爲シタル後ニ於テ告知シタル保險料額ガ當該納付義務者ノ納付スベキ保險料額ヲ超過スルコトヲ知リタルトキハ其ノ超過部分ニ對スル納入ノ告知ハ其ノ告知ヲ爲シタル後六月以内ノ期日ニ於テ納入セラルベキ保險料ニ對シ之ヲ爲シタルモノト看做スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ納入ノ告知ヲ爲シタルモノト看做シタルトキハ保險者ハ其ノ旨ヲ當該納付義務者ニ通知スベシ

第一百一條 健康保險組合ハ第九十八條又ハ前條ノ規定ニ拘ラズ規約ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第一百二條 保險料納付義務者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ納期前ト雖モ保險料ノ總額之ヲ徵收スルコトヲ得
一 國稅、府縣稅其ノ他ノ公課ノ滯納ニ因リ滯納處分ヲ受クルトキ

二 被保險者ノ使用セララル工場又ハ事業場ヲ廢止シタルトキ

三 強制執行ヲ受タルトキ

四 破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ

五 購買ノ開始アリタルトキ

六 法人ガ解散ヲ爲シタルトキ

第六章 審査ノ請求及訴願

第一節 健康保險審査會ノ組織

第一百二條 健康保險審査會ハ内務大臣ノ監督ニ屬シ健康保險法

第八十條及第八十二條ノ審査ヲ爲ス

第一百三條 健康保險審査會ハ第一次健康保險審査會、第二次健康保險審査會及第三次健康保險審査會トス

健康保險審査會ノ名稱、位置及管轄區域ハ内務大臣之ヲ定ム

第一百四條 健康保險審査會ハ會長及委員ヲ以テ之ヲ組織ス

第一百五條 第一次健康保險審査會ノ會長ハ内務大臣ノ奏請ニ依リ第六條第一項第一號ノ委員中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

第二次健康保險審査會ノ會長ハ内務大臣ノ奏請ニ依リ内務部

内ノ高等官中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

第三次健康保險審査會ノ會長ハ社會局長官ヲ以テ之ニ充ツ

第一百六條 第一次健康保險審査會ノ委員ハ左ニ掲グル者ヲ以テ

健康保險法施行令

之ニ充ツ

一 官吏、公吏又ハ學識經驗アル者 二人又ハ三人

二 被保險者ヲ使用スル事業主 二人又ハ三人

三 被保險者 二人又ハ三人

第二次健康保險審査會ノ委員ハ左ニ掲グル者ヲ以テ之ニ充ツ

一 官吏、公吏又ハ學識經驗アル者 三人

二 被保險者ヲ使用スル事業主 三人

三 被保險者 三人

第三次健康保險審査會ノ委員ハ左ニ掲グル者ヲ以テ之ニ充ツ

一 官吏、公吏又ハ學識經驗アル者 五人

二 被保險者ヲ使用スル事業主 五人

三 被保險者 五人

前三項ニ於テ被保險者ヲ使用スル事業主トアルハ事業主ガ國

又ハ公共團體ナル場合ニ於テハ關係官吏又ハ公吏、其ノ他ノ

法人ナル場合ニ於テハ業務ヲ執行スル社員若ハ役員又ハ支配

人トス 第一項ノ委員ニ付テハ同項各號ニ該當スル者各同數

タルコトヲ要ス

第一百七條 道廳又ハ府縣(東京府ニ在リテハ警視廳以下之ニ同

シ)ノ官吏ニシテ主トシ健康保險ノ事務ニ從事スル者ハ健康

保險審査會ノ委員タルコトヲ得ズ

健康保險審査會ノ委員ハ他ノ健康保險審査會ノ委員ヲ兼ヌル

コトヲ得ズ

第八條 第一次健康保險審査會ノ委員ハ内務大臣之ヲ命ジ第
二次健康保險審査會及第三次健康審査會ノ委員ハ内務大臣ノ
奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

第九條 委員ノ任期ハ官吏又ハ公吏トシテ委員タル者ヲ除ク
ノ外三年トス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ任期中之ヲ解
スルコトヲ妨グズ

第十條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
會長事故アルトキハ會長ノ指名シタル委員其ノ職務ヲ代理ス

第十一條 健康保險審査會ニ幹事ヲ置ク
第一次健康保險審査會ノ幹事ハ道廳又ハ府縣ノ官吏中ヨリ内
務大臣之ヲ命ジ第二次健康保險審査會及第三次健康保險審査
會ノ幹事ハ内務大臣ノ奏請ニ依リ内務部内ノ高等官中ヨリ内
閣ニ於テ之ヲ命ズ

第十二條 健康保險審査會ニ書記ヲ置ク
第一次健康保險審査會ノ書記ハ道廳又ハ府縣ノ判任官中ヨリ
地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)之ヲ命ジ第二次健康
保險審査會及第三次健康保險審査會ノ書記ハ社會局ノ判任官
中ヨリ内務大臣之ヲ命ズ

第十三條 會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第十四條 請求ヲ爲スベカラザルモノナルトキハ又ハ審査ノ請求ガ適法
ノ手續ニ違反シタルモノナルトキハ健康保險審査會ハ決定ヲ
以テ之ヲ却下スベシ

第十五條 審査ノ請求アリタル場合ニ於テ其ノ事件ガ管轄違ナルトキハ
之ヲ所轄健康保險審査會ニ移送スベシ

第十六條 審査ノ請求ニシテ手續ノ方式ニ欠缺アルモノハ健康保險審査
會之ヲ補正セシムベシ

第十七條 審査ハ之ヲ公開セズ但シ口頭審問ハ之ヲ公開ス
口頭審問ヲ爲ス場合ニ於テ議長必要アリト認ムルトキハ前項
但書ノ規定ニ拘ラズ傍聴ヲ制限及ハ禁止スルコトヲ得

第十八條 保險官署ノ職員其ノ他關係官吏ハ健康保險審査會
ノ請求ニ依リ又ハ其ノ承認ヲ受ケ會議ニ出席シ意見ヲ述ブル
コトヲ得

第十九條 事件ノ一部分ガ審査ノ決定ヲ爲スニ熟スルトキハ其
ノ部分ニ付先テ決定ヲ爲スコトヲ得

第二十條 審査ノ決定ハ理由ヲ附シ文書ヲ以テ之ヲ爲スベ
シ

第二十一條 審査請求人審査ノ決定前ニ死亡シタルトキハ其
ノ承継人ニ於テ審査請求手續ヲ受継グモノトス

第二十二條 本節ニ規定スルモノノ外審査ニ關シ必要ナル事
項ハ内務大臣之ヲ定ム

健康保險法施行令

第二節 健康保險審査會ノ審査手續

第十三條 審査ハ保險給付ニ關スル決定又ハ保險料其ノ他健
康保險法ノ規定ニ依ル徵收金ノ賦課若ハ徵收ノ處分ヲ爲シタ
ル保險官署又ハ健康保險組合ノ事務所ノ所在地ヲ管轄スル健
康保險審査會ニ於テ之ヲ爲ス

第十四條 審査ハ委員定數ノ半數以上出席シ且第百六條第一
項乃至第三項各號ノ委員各一人以上出席スルニ非ザレバ之ヲ
爲スコトヲ得ズ但シ同一ノ事件ニ付招集再回ニ及ブ場合ハ此
ノ限ニ在ラズ

第十五條 審査ハ出席委員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數
ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第十六條 審査ハ文書ニ就キ之ヲ爲ス但シ必要アリト認ムル
トキハ口頭審問ヲ爲スコトヲ妨グズ

第十七條 前項但書ノ規定ニ依リ口頭審問ヲ爲ス爲出頭ヲ命ゼラレタ場
合ニ於テ已ムコトヲ得ザル事故ノ爲出頭スルコトヲ得ザルト
キハ當事者ハ其ノ法定代理人、親族又ハ同居者ヲシテ代リテ
出頭セシムルコトヲ得

第十八條 口頭審問ノ爲出頭シタル當事者及之ニ代リテ出頭シタル者ニ
對シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅費ヲ給スルコトヲ得

第十九條 第百十七條 審査ノ請求アリタル場合ニ於テ其ノ事件ガ審査ノ
手續ニ關スルコトヲ得

第二十條 請求ヲ爲スベカラザルモノナルトキハ又ハ審査ノ請求ガ適法
ノ手續ニ違反シタルモノナルトキハ健康保險審査會ハ決定ヲ
以テ之ヲ却下スベシ

第二十一條 審査ノ請求アリタル場合ニ於テ其ノ事件ガ管轄違ナルトキハ
之ヲ所轄健康保險審査會ニ移送スベシ

第二十二條 審査ノ請求ニシテ手續ノ方式ニ欠缺アルモノハ健康保險審査
會之ヲ補正セシムベシ

第二十三條 審査ハ之ヲ公開セズ但シ口頭審問ハ之ヲ公開ス
口頭審問ヲ爲ス場合ニ於テ議長必要アリト認ムルトキハ前項
但書ノ規定ニ拘ラズ傍聴ヲ制限及ハ禁止スルコトヲ得

第二十四條 保險官署ノ職員其ノ他關係官吏ハ健康保險審査會
ノ請求ニ依リ又ハ其ノ承認ヲ受ケ會議ニ出席シ意見ヲ述ブル
コトヲ得

第二十五條 事件ノ一部分ガ審査ノ決定ヲ爲スニ熟スルトキハ其
ノ部分ニ付先テ決定ヲ爲スコトヲ得

第二十六條 審査ノ決定ハ理由ヲ附シ文書ヲ以テ之ヲ爲スベ
シ

第二十七條 審査請求人審査ノ決定前ニ死亡シタルトキハ其
ノ承継人ニ於テ審査請求手續ヲ受継グモノトス

第二十八條 本節ニ規定スルモノノ外審査ニ關シ必要ナル事
項ハ内務大臣之ヲ定ム

第三節 罰則

第二十四條 罰則
第百二十五條 健康保險法第八十一條ノ規定ニ依リ訴願ニ關シ
テハ健康保險組合ヲ訴願法ノ規定ニ依リ行政廳ト看做ス

附則
本令ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ保險給付及費用
ノ負擔ニ關スル規定ハ大正十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際ニ限リ第四條第一項但書中資格ヲ取得シタル日ノ
現在トアルハ大正十五年十一月一日ノ現在トス但シ大正十五年
十一月二日以後ニ於テ被保險者ノ資格ヲ取得シタル者ニ付テハ
此ノ限ニ在ラズ

政府ノ事業ニ使用セラルル官吏又ハ待遇官吏ニ付テハ當分ノ内
務大臣ハ之ヲ健康保險ノ被保險者ト爲サザルコトヲ得

附則(昭和二年三月十二日勅令第三十號)
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則(昭和二年七月一日勅令第二百二十號)
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則(昭和四年五月二十九日勅令第四百十三號)
本令ハ昭和四年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則(昭和四年七月三十一日勅令第二百五十號)
本令ハ昭和四年七月三十一日ヨリ之ヲ施行ス

附則(昭和四年七月三十一日勅令第二百五十號)
本令ハ昭和四年七月三十一日ヨリ之ヲ施行ス

附則(昭和四年七月三十一日勅令第二百五十號)
本令ハ昭和四年七月三十一日ヨリ之ヲ施行ス

附則(昭和四年七月三十一日勅令第二百五十號)
本令ハ昭和四年七月三十一日ヨリ之ヲ施行ス

附則(昭和四年七月三十一日勅令第二百五十號)
本令ハ昭和四年七月三十一日ヨリ之ヲ施行ス

附則(昭和四年七月三十一日勅令第二百五十號)
本令ハ昭和四年七月三十一日ヨリ之ヲ施行ス

附則(昭和四年七月三十一日勅令第二百五十號)
本令ハ昭和四年七月三十一日ヨリ之ヲ施行ス

附則(昭和四年七月三十一日勅令第二百五十號)
本令ハ昭和四年七月三十一日ヨリ之ヲ施行ス

健康保險法施行令

本令ハ昭和四年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

附 則(昭和九年十二月二十八日勅令第四百號)

本令ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

健康保險法施行規則

第一章 總 則

第一條 政府ノ管掌スル保險ハ健康保險法第十三條又ハ同法第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ニ付テハ其ノ被保險者ノ使用セラレル工場、事業場又ハ工場若ハ事業場ナキ事業ニ在リテハ事務所ノ所在地ヲ管轄スル地方長官(東京府ニ在リテハ警視廳總監以下之ニ同ジ)ニ於テ、同法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ニ付テハ其ノ被保險者ノ住所地ヲ管轄スル長官ニ於テ之ヲ掌ル

第二條 被保險者同時ニ二以上ノ業務ニ使用セラレル場合ニ於テ被保險者二以上アルトキ又ハ其ノ使用セラレル工場、事業場又ハ工場若ハ事業場ナキ事業ニ在リテハ事務所ガ異リタル道府縣ニ在ルトキハ被保險者ハ其ノ保險ヲ掌ルベキ地方長官又ハ健康保險組合ヲ定メ其ノ旨ヲ其ノ地方長官又ハ健康保險組合ニ届出ヅベシ
地方長官又ハ健康保險組合前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ關係

健康保險法施行規則

改正十五年七月一日 日內務省令第三十六號

昭和二年七月三十一日 日內務省令第四十二號
昭和三年六月三十一日 日內務省令第四十八號
昭和四年七月三十一日 日內務省令第五十八號
昭和九年十二月二十九日 日內務省令第三十九號
昭和十年五月二十九日 日內務省令第二十九號

アル地方長官又ハ健康保險組合ニ之ヲ通知スベシ
第三條 事業主ハ毎年六月一日現在ニ依リ被保險者ノ報酬日額算定ノ基礎ヲ様式第一號ニ依リ同月十日迄ニ地方長官又ハ健康保險組合ニ届出ヅベシ

第四條 被保險者ノ報酬ニ著シキ増減アリタルトキハ事業主ハ様式第一號ニ準ジ遅滞ナク其ノ旨ヲ地方長官又ハ健康保險組合ニ届出ツベシ

第五條 前二條、第十條第一項又ハ第十一條ノ規定ニ依ル届出アリタルトキハ地方長官又ハ健康保險組合ハ被保險者ノ標準報酬ヲ決定シ遅滞ナク之ヲ事業主ニ通知スベシ標準報酬ヲ變更シタルトキ亦同ジ
事業主前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ遅滞ナク之ヲ被保險者ニ告知スベシ

第六條 保險官署ノ官吏又ハ吏員保險事故ノ生ジタル作業ノ場所ニ臨檢スル場合ニ於テハ様式第二號ニ依ル臨檢證ヲ携帯スベシ

健康保險法施行規則

第六條之二 健康保險法施行令第五條ノニノ規定ニ依リ發スル書状ハ様式第二號ノニニ依ル

第六條ノ三 廳府縣ノ官吏滯納處分ノ爲財産ノ差押ヲ爲ス場合ニ於テ示スベキ其ノ命令ヲ受ケタル官吏タルノ證據ハ様式第二號ノ三ニ依ル

第六條ノ四 健康保險法第十一條ノ四ノ規定ニ依ル公告ハ道府縣廳(東京府ニ在リテハ警視廳以下之ニ同ジ)、廳府縣健康保險出張所又ハ健康保險組合ノ事務所ニ之ヲ爲スベシ

第七條 健康保險法施行令第九十九條ノ規定ニ依ル保險料ノ控除ニ關スル計算書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ、工場、事業場又ハ工場若ハ事業場ナキ事業ニ在リテハ事務所毎ニ之ヲ備フベシ

一 被保險者ノ氏名
二 控除シタル保險料ノ金額
三 控除シタル年月日

第八條 事業主ハ保險ニ關スル書類ヲ其ノ完結ノ日ヨリ二年間保存スベシ

第八條ノ二 第三條、第四條、第五條第二項、第十條、第十一條、第十七條、第十九條、第二十條、第二十三條第三項及第五項、第二十三條ノ二第一項及第二項、第四十五條第四項、第五十三條第二項、第五十四條第二項、第五十六條第二項、

第五十七條第二項、第六十二條第二項及第六十四條ノ規定ニ依リ事業主ノ爲スベキ事項ニ付テハ事業主ハ總メ代理人ヲ選任シ之ヲ處理セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ事業主代理人ヲ選任シタルトキハ地方長官又ハ健康保險組合ニ其ノ旨ヲ届出スベシ

第八條ノ三 事業主又ハ被保險者ガ地方長官又ハ健康保險組合ニ對シ届出、申請又ハ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ様式ノ定アルモノヲ除キ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ同書、申請書又ハ請求書ニ添附スベキ書類ハ届出、申請又ハ請求ノ際之ヲ提出スベシ但シ保險者ニ於テ其ノ必要ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ

口頭ヲ以テ届出、申請又ハ請求シタル者アル場合ニ於テ地方長官又ハ健康保險組合必要アリト認ムルトキハ其ノ届出、申請又ハ請求ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ複製シ讀取カセタル上之ニ記名調印セシムベシ

第九條 保險者ニ於テ被保險者ノ健康ヲ保持スル爲ニ爲スコトヲ得ル施設左ノ如シ
一 保健ニ關スル宣傳
二 傷病ノ豫防ニ關スル施設
三 健康診断ニ關スル施設
四 保養ニ關スル施設

五 前各號ニ掲グルモノノ外保險者ニ必要アリト認ムル施設

第二章 被保險者

第十條 被保險者ノ資格ヲ取得シタル者アルトキハ事業主ハ様式第四號ニ依リ五日以内ニ之ヲ地方長官又ハ健康保險組合ニ届出スベシ

被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者アルトキハ事業主ハ様式第五號ニ依リ五日以内ニ之ヲ地方長官又ハ健康保險組合ニ届出スベシ

第十一條 健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ガ同法第十三條若ハ同法第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲リタルトキハ事業主ハ様式第四號ニ準ジ五日以内ニ之ヲ地方長官又ハ健康保險組合ニ届出スベシ

第十二條 被保險者同時ニ二以上ノ業務ニ使用セララルトキハ其ノ各業務ニ付左ニ掲グル事項ヲ地方長官又ハ健康保險組合ニ届出スベシ

一 事業主ノ氏名及住所
二 工場、事業場又ハ工場若ハ事業場ナキ事業ニ在リテハ事務所ノ名稱及所在地

第十三條 健康保險法第十四條第一項ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ同條第二項ノ規定ニ依ル同意アリタルコト

健康保險法施行規則

ヲ認ムルニ足ル書類ヲ添附スベシ

一 事業ノ名稱及種類
二 工場、事業場又ハ工場若ハ事業場ナキ事業ニ在リテハ事務所ノ名稱及所在地
三 被保險者ト爲ルベキ者ノ員數

健康保險法第十四條第一項ノ認可ノ申請ト同時ニ其ノ事業ニ付健康保險組合ノ設立又ハ事業ノ編入ニ關スル規約變更ノ認可申請アル場合ニ於テハ前項ノ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スベシ

第十四條 健康保險法第十九條第一項ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ同條第二項ノ規定ニ依ル同意アリタルコトヲ認ムルニ足ル書類ヲ添附スベシ

一 事業ノ名稱及種類
二 工場、事業場又ハ工場若ハ事業場ナキ事業ニ在リテハ事務所ノ名稱、所在地及被保險者ノ記載

三 被保險者ノ員數
四 組合ノ設立アル場合ニ於テハ其ノ組合ノ名稱及所在地

其ノ組合ガ解散スベキモノナルトキハ其ノ旨
第十五條 健康保險法第二十條ノ規定ニ依リ繼續シテ被保險者ト爲ルコトノ申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一 住所
二 資格喪失ノ年月日

健康保險法施行規則

- 三 資格喪失ノ際使用セラレタル工場、事業場又ハ事業ノ名稱及被保險者證ノ記載
- 四 資格喪失後繼續シテ保險給付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ給付ヲ受ケサルニ至リタル年月日
- 五 健康保險法施行令第十條ノ期限經過後申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ事由
- 六 資格喪失ノ際ニ屬シタル廳府縣(廳府縣健康保險出張所ノ分掌ニ屬シタルトキハ其ノ出張所)又ハ健康保險組合ノ名稱
- 第十六條 健康保險法第二十一條ノ規定スル猶豫期間ハ健康保險法施行令第百條ニ規定スル納付期日經過後十日トス
- 第十七條 被保險者健康保險法第六十二條第一項各號ノ一ニ該當シ又ハ該當セザルニ至リタルトキハ事業主ハ左ニ掲グル事項ヲ五日以内ニ地方長官又ハ健康保險組合ニ届出ヅベシ
 - 一 被保險者ノ氏名
 - 二 被保險者證ノ記載及番號
 - 三 該當ノ事實及該當シ又ハ該當セザルニ至リタル年月日

- 第十八條 事業主ニ變更アリタルトキハ事業主及事業主タリシ者連署ヲ以テ左ニ掲グル事項ヲ五日以内ニ地方長官又ハ健康保險組合ニ届出ヅベシ
 - 一 事業ノ種類及新舊名稱
 - 二 工場、事業場又ハ工場若ハ事業場ナキ事業ニ在リテハ事務所ノ所在地及被保險者證ノ記載
 - 三 變更ノ年月日及事由
 - 四 事業主及事業主タリシ者ノ氏名及住所
- 第十九條 健康保險法第十三條ノ工場又ハ事業ガ同條ノ規定ニ該當セザルニ至リタルトキハ事業主ハ左ニ掲グル事項ヲ五日以内ニ地方長官又ハ健康保險組合ニ届出ヅベシ
 - 一 工場又ハ事業ノ名稱
 - 二 被保險者證ノ記載
 - 三 該當セザルニ至リタル年月日及事由
- 第二十條 左ニ掲グル事項ニ變更アリタルトキハ事業主ハ變更ノ事項及年月日ヲ五日以内ニ地方長官又ハ健康保險組合ニ届出ヅベシ
 - 一 事業ノ名稱又ハ種類
 - 二 事業主ノ氏名又ハ住所

三 工場、事業場又ハ工場若ハ事業場ナキ事業ニ在リテハ事務所ノ名稱、所在地又ハ種類

第二十條ノ二 事業主被保險者ノ勤務スル工場、事業場又ハ事務所ヲ變更シタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ五日以内ニ變更後ノ工場、事業場又ハ事務所ノ所在地ヲ管轄スル地方長官又ハ健康保險組合ニ届出ヅベシ

- 一 被保險者證ノ記載及番號
- 二 變更前ノ工場、事業場又ハ事務所ノ名稱及所在地
- 三 變更後ノ工場、事業場又ハ事務所ノ名稱及所在地
- 四 變更シタル年月日
- 五 報酬ニ異動アリタルトキハ其ノ内容(様式第四號「報酬日額算定基礎」欄ノ記載ニ準ズ)

第二十三條ノ二ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第一項ノ場合ニ於テ被保險者ノ變更アリタルトキハ届出ヲ受ケタル被保險者ハ從前ノ被保險者ニ對シ被保險者ノ勤務ノ場所ニ變更アリタル旨及變更ノ年月日ヲ通知スベシ此ノ場合ニハ返納アリタル被保險者證ヲ添付スベシ

第二十一條 健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者其ノ氏名又ハ住所ヲ變更シタルトキハ變更ノ事項及年月日ヲ五日以内ニ地方長官又ハ健康保險組合ニ届出ヅベシ

健康保險法施行規則

被保險者道府縣ニ涉リ住所ヲ變更シタルトキハ前項ノ届出ハ各地方長官ニ對シ之ヲ爲スベシ

第二十二條 第十條第一項又ハ第十一條ノ規定ニ依ル届出アリタルトキハ地方長官又ハ健康保險組合ハ其ノ被保險者ノ被保險者證ノ記載及番號ヲ遅滞ナク事業主ニ通知スベシ其ノ記載及番號ヲ變更シタルトキ亦同ジ

第二十三條 地方長官又ハ健康保險組合ハ様式第六號ニ依ル被保險者證ヲ被保險者ニ交付スベシ地方長官又ハ健康保險組合被保險者證ヲ交付セントスルトキハ之ヲ被保險者ヲ使用スル事業主ニ送付スベシ但シ被保險者健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ナル場合ニ於テハ之ヲ被保險者ニ送付スベシ前項ノ規定ニ依ル被保險者證ノ送付アリタルトキハ事業主ハ遅滞ナク之ヲ被保險者ニ交付スベシ

被保險者證ノ第一面ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ其ノ改訂ヲ受クル爲被保險者ハ遅滞ナク之ヲ事業主ニ提出スベシ前項ノ規定ニ依ル被保險者證ノ提出アリタルトキハ事業主ハ遅滞ナク其ノ改訂ヲ爲シ被保險者ニ返付スベシ

健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者(健康保險組合ニ屬スル者ヲ除ク)道府縣ニ涉リ住所ヲ變更シタルトキハ遅滞ナク被保險者證ヲ地方長官ニ提出シテ其ノ改訂ヲ受クベシ被保險者證ヲ滅失若ハ毀損シタルトキ又ハ被保險者證ニ餘白

ナキニ至ラタルトキハ被保險者ハ遲滞ナク被保險者證ヲ添ヘ
(減失ノ場合ヲ除ク)其ノ旨ヲ地方長官又ハ健康保險組合ニ
届出スベシ

第二十三條ノ二 被保險者其ノ資格ヲ喪失シタルトキ又ハ其ノ
保險者ニ變更アリタルトキハ事業主ハ遲滞ナク被保險者證ヲ
回收シ之ヲ地方長官又ハ健康保險組合ニ返納スベシ但シ被保
險者健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タル場合ニ於
テハ其ノ者ニ於テ五日以内ニ之ヲ地方長官又ハ健康保險組合
ニ返納スベシ

被保險者ノ資格喪失ニ因リ事業主ノ返納スベキ被保險者證ハ
之ヲ資格喪失届ニ添附スベシ但シ已ムヲ得ザル事由アル場合
ハ此ノ限ニ在ラズ此ノ場合ニ於テハ其ノ事由ヲ資格喪失届ニ
附記スベシ

被保險者(健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ヲ除ク)
其ノ資格ヲ喪失シタルトキ又ハ其ノ保險者ニ變更アリタルト
キハ其ノ被保險者證ヲ五日以内ニ事業主ニ提出スベシ但シ資
格喪失後引續キ保險給付ヲ受クル者ニ在リテハ此ノ限ニ在ラ
ズ

被保險者ノ資格喪失後引續キ保險給付ヲ受クル者ハ第一項ノ
規定ニ拘ラズ其ノ給付ヲ受ケザルニ至リタル日ヨリ五日以内
ニ之ヲ地方長官又ハ健康保險組合ニ返納スベシ

第一項ノ資格喪失ノ原因死亡ナルトキ又ハ第三項ノ規定ニ依
リ被保險者證ヲ提出スベキ者若ハ前項ノ規定ニ依リ被保險者
證ヲ返納スベキ者死亡シタルトキハ埋葬料又ハ健康保險法第
四十九條第二項若ハ同法第五十六條第二項ノ埋葬費ノ支給ヲ
受クベキ者ニ於テ其ノ請求ノ際被保險者證ヲ地方長官又ハ健
康保險組合ニ返納スベシ

第三章 健康保險組合

第二十四條 健康保險組合設立ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書
類ヲ添附スベシ但シ健康保險法第三十二條ノ規定ニ依リ組合
設立ノ認可申請ヲ爲ス場合ニ於テハ第五號及第六號ノ書類ハ
之ヲ添附スルコトヲ要セズ

- 一 規約
- 二 事業計畫書
- 三 保險料率及其ノ計算ノ基礎ヲ示シタル書面
- 四 初年度ノ収入支出ノ豫算
- 五 健康保險法施行令第十一條ノ書面ノ寫(被保險者ニ送付
ノ年月日ヲ記載スルコト)
- 六 組合ノ設立ニ付健康保險法第二十九條第一項ノ同意アリ
タルコトヲ認ムルニ足ル書類

第二十五條 健康保險法又ハ之ニ基ク命令ノ規定ニ依リ組合ニ

於テ監督官廳ノ認可ヲ受クベキ事項ガ組合ノ議決ヲ經タル

モノナルトキハ申請書ニ其ノ會議録ノ寫ヲ添附スベシ

認可申請ヲ爲スベキ事項ガ健康保險法施行令第四十條ノ規定

ニ依リ理事專決シタルモノナルトキハ申請書ニ專決ノ理由ヲ

記載シタル書面ヲ添附スベシ

第二十六條 組合合併ノ認可申請書ニハ合併スル各組合ノ名稱

及被保險者ノ員數並合併後存続スル組合又ハ合併ニ因リテ成

立スル組合ノ名稱ヲ記載シ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一 合併後ニ於ケル事業計畫書

二 認可申請前一月以内ノ現在ニ於テ調製シタル各組合ノ財

産目錄

三 合併ニ因リテ成立スル組合アル場合ニ於テハ其ノ組合ノ

規約、保險料率及其ノ計算ノ基礎ヲ示シタル書面並初年度

ノ収入支出ノ豫算

合併後存続スル組合アル場合ニ於テハ合併ニ伴フ規約變更ノ

認可申請ハ合併ノ認可申請ト同時ニ之ヲ爲スベシ

第二十七條 組合分割ノ認可申請書ニハ分割スル組合、分割後

存続スル組合及分割ニ因リテ成立スル組合ノ名稱及被保險者

ノ員數ヲ記載シ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一 分割後ニ於ケル各組合ノ事業計畫書

二 認可申請前一月以内ノ現在ニ於テ調製シタル分割スル組

合ノ財産目錄

三 分割ニ因リテ成立スル組合ノ承繼スル權利義務ノ限度ヲ

示シタル書面

四 分割ニ因リテ成立スル組合ノ規約、保險料率及其ノ計算

ノ基礎ヲ示シタル書面並初年度ノ収入支出ノ豫算

前條第二項ノ規定ハ分割後存続スル組合ノ分割ニ伴フ規約

變更ノ認可申請ニ之ヲ準用ス

第二十八條 組合解散ノ認可申請書ニハ解散スル組合ノ名稱及

被保險者ノ員數ヲ記載シ認可申請前一月以内ノ現在ニ於テ調

製シタル財産目錄ヲ添附スベシ

第二十九條 被保險者タル組合員當時ナキニ至リタル爲組合解

散シタルトキハ其ノ事由、組合ノ名稱及解散ノ年月日ヲ理事

タリシ者ニ於テ遲滞ナク内務大臣ニ届出スベシ

前項ノ届書ニハ解散ノ日ノ現在ニ依リ調製シタル財産目錄ヲ

添附スベシ

第三十條 組合ノ設立アル事業ノ編入又ハ削除ニ關スル規約變

更ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一 規約變更後ニ於ケル事業計畫書

二 健康保險法施行令第七十條ノ書面ノ寫(被保險者ニ送付
ノ年月日ヲ記載スルコト)

三 事業ノ編入又ハ削除ニ付健康保險法施行令第六十七條第

一項ノ同意アリタルコトヲ認ムルニ足ル書類

第三十一條 組合合併又ハ分割シタル場合ニ於テハ理事又ハ理事タリシ者ハ其ノ組合員タリシ被保險者ノ保險ヲ管掌スル組合ノ理事ニ對シ遲滞ナク其ノ事務ヲ引繼ガ爲スベシ

事務引繼完了シタルトキハ引繼ヲ爲シタル者及引繼ヲ受ケタル者連署ノ上完了ノ日ヨリ五日以内ニ其ノ旨ヲ地方長官ニ届出スベシ

第三十二條 前條ノ規定ハ組合解散シタル場合及組合其ノ組合ノ設立アル事業ヲ削除シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十三條 組合會ノ會議録ニハ議長及出席議員二人以上之ニ署名スベシ

第三十四條 收入支出ノ豫算ハ様式第七號ニ依リ之ヲ調製シ毎年二月末日迄ニ認可申請ヲ爲スベシ

第三十五條 保險料率ノ認可申請書ニハ計算ノ基礎ヲ示シタル書面ヲ添附スベシ

第三十六條 決算ハ様式第七號ニ依リ、事業報告ハ様式第八號ニ依リ之ヲ調製シ年度經過後四月以内ニ組合會ノ認定ニ付スベシ

決算及事業報告ハ組合會ノ認定ヲ經タル後遲滞ナク之ヲ地方長官ニ届出スベシ

前二項ノ規定ニ依リ事業報告ヲ組合會ノ認定ニ付シ又ハ地方

長官ニ届出ツル場合ニ於テハ之ニ年度末現在ニ依リ調製シタル財産目録ヲ添附スベシ

第三十七條 財産目録ハ様式第九號ニ依リ之ヲ調製スベシ

第三十八條 組合ハ事業報告ニ付組合會ノ認定ヲ經タルトキハ年度末現在ニ依リ調製シタル財産目録ト共ニ之ヲ公示スベシ

第三十九條 削除

第四十條 組合ハ様式第十號ニ依リ毎月ノ事業狀況ヲ翌月十五日迄ニ地方長官ニ報告スベシ

第四十一條 組合原簿ハ様式第十一號ニ依リ之ヲ調製スベシ

第四十二條 組合ハ被保險者臺帳、歳入簿、歳出簿及現金出納簿ヲ備フベシ

前項ノ帳簿ノ様式ハ別ニ之ヲ定ム

第四十三條 組合ニ於テ組合員ノ權利義務ニ關スル規定ヲ定メ又ハ改廢シタルトキハ遲滞ナク之ヲ地方長官ニ報告シ且組合員ニ周知セシムベシ

第四十四條 理事長就職、退職又ハ死亡シタルトキハ組合ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ地方長官ニ届出スベシ

第四章 保險給付

第四十五條 被保險者療養ノ給付ヲ受ケムトスルトキハ被保險者ノ指定シタル醫師又ハ齒科醫師(以下保險醫ト稱ス)ニ之ヲ申

出スベシ

前項ノ申出ヲ爲ス場合ニ於テハ被保險者ハ被保險者證ヲ其ノ保險醫ニ提出スベシ但シ已ムヲ得ザル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ此ノ場合ニ於テハ其ノ事由止ミタル後遲滞ナク被保險者證ヲ其ノ保險醫ニ提出スベシ

第一項ノ申出ヲ爲ス場合ニ於テ疾病又ハ負傷カ業務上ノ事由ニ因ルモノナルトキハ被保險者ハ之ニ關スル事業主ノ證明書ヲ提出スベシ

健康保險法第四十八條第一項ノ規定ニ依リ繼續シテ療養ノ給付ヲ受ケルコトヲ得ル者療養ノ給付ヲ受ケムトスルトキハ其ノ給付ヲ受ケルコトヲ得ルモノナルコトヲ被保險者ニ於テ承認シタル書面ヲ提出シテ之ヲ保險醫ニ申出スベシ

第四十六條 保險醫被保險者ニ對シ療養ヲ爲サザルニ至リタルトキハ遲滞ナク被保險者證ヲ被保險者ニ返還スベシ但シ其ノ被保險者死亡シタルトキハ埋葬料又ハ健康保險法第四十九條

第二項若ハ同法第五十六條第二項ノ埋葬費ノ支給ヲ受クベキ者ニ之ヲ返還スベシ

保險醫前項ノ規定ニ依リ被保險者證ヲ返還スルトキハ被保險者證ノ第二面ニ掲グル事項ヲ之ニ記載スベシ

第一項ノ場合ニ於テ保險醫第四十七條第一項ノ規定ニ依リ療養證明書ヲ交付シタルモノナルトキハ第一項ノ規定ニ拘ラズ

健康保險法施行規則

其ノ療養證明書ノ全部返納アリタルトキ被保險者證ヲ返還スベシ但シ保險醫變更ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第四十七條 保險醫ノ療養ヲ受ケル被保險者同時ニ他ノ保險醫ニ就キ療養ヲ受ケルノ必要アルトキハ被保險者證ヲ保管スル保險醫ニ就キ様式第十三號ニ依リ療養證明書ノ交付ヲ受クベシ

前項ノ療養證明書ハ之ヲ被保險者證ト看做シ前二條ノ規定ヲ適用ス

被保險者保險醫ヨリ療養證明書ノ返還ヲ受ケタルトキハ之ヲ交付シタル保險醫(保險醫變更ノ場合ニ於テハ變更後ノ保險醫)ニ遲滞ナク返納スベシ

第四十八條 被保險者保險醫變更ノ爲被保險者證又ハ療養證明書ノ返還ヲ受ケムトスルトキハ保險醫變更ニ付地方長官又ハ健康保險組合ノ承認アリタルコトヲ證スル書面ヲ當該保險醫ニ提示スベシ

第四十九條 被保險者ノ療養ノ爲必要アリト認ムルトキハ保險醫ハ地方長官又ハ健康保險組合ノ承認ヲ受ケ他ノ保險醫ノ診療ヲ求ムルコトヲ得

緊急ノ必要アリト認ムルトキハ保險醫ハ前項ノ規定ニ拘ラズ直ニ他ノ保險醫ノ診療ヲ求ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ診療後遲滞ナク其ノ事由ヲ地方長官又ハ健康保險組合ニ報

告スベシ

第五十條 保險醫被保險者ヨリ處方箋ヲ求メラレタルトキハ正當ノ事由アルニ非ザレバ之ヲ拒ムコトヲ得ズ
被保險者ニ對シ處方箋ヲ交付スル場合ニ於テハ保險醫ハ様式第十四號ニ依リ之ヲ作製スベシ

第五十一條 被保險者前條ノ規定ニ依ル處方箋ニ依リ藥劑ノ支給ヲ受ケントスルトキハ保險者ノ指定シタル藥劑師（以下保險藥劑師ト稱ス）ニ之ヲ提出スベシ

第五十二條 療養ノ給付ヲ受ケタル疾病又ハ負傷ガ第三者ノ行爲ニ因ルモノナルトキハ被保險者ハ其ノ事實、第三者ノ氏名及住所（氏名又ハ住所不詳ナルトキハ其ノ旨）並疾病又ハ負傷ノ狀況ヲ遲滞ナク地方長官又ハ健康保險組合ニ届出ズベシ

第五十三條 被保險者健康保險法施行令第七十七條第一項第一號ノ規定ニ依リ療養費ノ支給ヲ受ケムトスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ届出ズベシ

- 一 被保險者證ノ記號及番號
- 二 發病又ハ負傷ノ年月日及原因
- 三 疾病又ハ負傷ガ業務上ノ事由ニル因モノナリヤ否ヤノ別
- 四 疾病又ハ負傷ノ經過
- 五 療養ノ給付ヲ受ケタルコト困難ナル事由
- 五ノ二 被保險者醫師又ハ齒科醫師ニ就キ診療ヲ受ケタル場合ニ於テハ其ノ醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及住所並診療ノ内容、期間、給付ノ内容及之ニ要スベキ費用ノ見積額

合ニ於テハ其ノ醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及住所並診療ノ内容、期間之ニ要シタル費用ノ額

六 疾病又ハ負傷ガ第三者ノ行爲ニ因ルモノナルトキハ其ノ事實並第三者ノ氏名及住所（氏名又ハ住所不詳ナルトキハ其ノ旨）

疾病又ハ負傷ガ業務上ノ事由ニ因ルモノナルトキハ之ニ關スル事業主ノ證明書ヲ前項ノ届書ニ添附スベシ
被保險者特別ノ事情ニ因リ前項ノ證明書ヲ受ケタルコトヲ得ザルトキハ届書ニ其ノ旨ヲ記載スベシ
被保險者醫師又ハ齒科醫師ニ就キ診療ヲ受ケタル場合ニ於テハ其ノ診療ニ要シタル費用ノ額ニ關スル證憑書類ヲ第一項ノ届書ニ添附スベシ

第五十四條 健康保險法施行令第七十七條第一項第二號ノ承認ノ申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

- 一 前條第一項第一號乃至第四號及第六號ニ掲グル事項
- 二 診療ヲ受ケムトスル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及住所並其ノ診療ヲ受ケムトスル事由

第五十五條 健康保險法施行令第七十七條第一項第二號ノ療養費支給ノ申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

- 一 被保險者證ノ記號及番號
 - 二 診療ノ内容及期間
 - 三 診療ニ要シタル費用ノ額
 - 四 診療ヲ受ケザルニ至リタルトキハ其ノ事由
- 前項ノ申請書ニハ診療ニ要シタル費用ノ額ニ關スル證憑書類ヲ添附スベシ

第五十三條第五項及第六項ノ規定ハ第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五十六條 健康保險法施行令第七十七條第一項第三號ノ療養費支給ノ申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

- 一 第五十三條第一項第一號乃至第四號及第六號ニ掲グル事項
 - 二 手當ヲ受ケタル醫師、齒科醫師其ノ他ノ者ノ氏名及住所
 - 三 手當ノ内容及期間
 - 四 手當ニ要シタル費用ノ額
 - 五 緊急ナリシコトノ事由
- 第五十三條第二項、第五項及第六項並前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
- 第五十六條ノ二 被保險者健康保險法施行令第七十四條第一項

健康保險法施行規則

第三號（一回ノ費用二十四ヲ超ユル場合ニ限ル）乃至第五號ノ給付ヲ受ケ又ハ病院ニ入院セムトスルトキハ第五十三條第一項第一號乃至第三號ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ提出スベシ但シ已ムヲ得ザル事由アルトモハ此ノ限ニ在ラズ此ノ場合ニ於テハ其ノ事由止ミタル後遲滞ナク申請書記載事項及已ムヲ得ザル事由ヲ記載シタル届書ヲ提出スベシ

- 一 健康保險法施行令第七十四條第一項第三號乃至第五號ノ給付又ハ入院ヲ必要ト認ムル事由
- 二 給付ノ内容及之ニ要スベキ費用ノ見積額
- 三 病院ニ入院セムトスル場合ニ在リテハ入院ノ期間

第五十七條 傷病手當金支給ノ請求書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

- 一 被保險者證ノ記號及番號
- 二 發病又ハ負傷ノ年月日及原因
- 三 疾病又ハ負傷ガ業務上ノ事由ニ因ルモノナリヤ否ヤノ別
- 四 勞務ニ服スルコト能ハザリシ期間
- 五 傷病手當金ガ健康保險法施行令第七十九條又ハ同令第八十七條ノ規定ニ依ルモノナルトキハ主トシテ被保險者ニ依リ生計ヲ維持スル者ノ氏名、生年月及被保險者トノ續柄

健康保險法施行規則

收容セラレタル病院、病舎又ハ療養所ノ名稱及所在地並ニ
容セラレタル年月日及期間

六 傷病手當金ガ健康保險法施行令第八十五條但書ノ規定ニ
依ルモノナルトキハ其ノ報酬ノ額及期間

七 傷病手當金ガ健康保險法施行令第八十六條ノ規定ニ依ル
モノナルトキハ受クルコトヲ得ベカリシ報酬ノ額及期間、
受クルコト能ハザリシ報酬ノ額及期間並ニ健康保險法施行令
第八十五條但書ノ規定ニ依リ受ケタル傷病手當金ノ額及報
酬ヲ受クルコト能ハザリシ事由

前項ノ請求書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添付スベシ

一 前項第四號ノ期間ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書及
事業主ノ證明書

二 疾病又ハ負傷ガ業務上ノ事由ニ因ルモノナルトキハ之ニ
關スル事業主ノ證明書

療養ノ給付ヲ受クルコト困難ナル爲療養費ノ支給ヲ受クル場
合ニ於テハ傷病手當金支給ノ請求書ニハ前項各號ノ書類ハ之
ヲ添付スルコトヲ要セズ此ノ場合ニ於テハ請求書ニ其ノ旨ヲ
記載スベシ

同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ付引續キ傷病
手當金ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ請求書ニ第二項第二號
ノ證明書ヲ添付スルコトヲ要セズ

二項ノ埋葬費支給ノ請求書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ市町
村長ノ埋火葬認許證ノ寫、死亡診斷書ノ寫又ハ被保險者ノ死
亡ニ關スル事業主若ハ第八條ノ二ノ規定ニ依ル代理人ノ證明
書及埋葬ニ要シタル費用ノ額ニ關スル證據書類ヲ添付スベシ

一 前條第一號乃至第三號ニ掲グル事項

二 埋葬ヲ行ヒタル年月日

三 埋葬ニ要シタル費用ノ額

四 死亡ガ業務上ノ事由ニ因ルモノナリヤ否ヤノ別

第六十一條 分焼費支給ノ請求書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ
市町村長、醫師又ハ產婆ニ於テ出産又ハ死産ノ事實ヲ證明シ
タル書類ヲ添付スベシ

一 被保險者證ノ記載及番號

二 分焼ノ年月日

三 死産ナルトキハ其ノ旨

四 分焼費ガ健康保險法施行令第八十一條第一項ノ規定ニ依
ルモノナルトキハ收容セラレタル産院ノ名稱及所在地又ハ
助産ノ手當ヲ爲シタル醫師若ハ產婆ノ氏名及住所

第六十二條 出產手當金支給ノ請求書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記
載スベシ

一 被保險者證ノ記載及番號

二 分焼前ノ場合ニ於テハ分焼ノ豫定年月日、分焼後ノ場合

健康保險法施行規則

第五十八條 健康保險法第四十八條第一項ノ規定ニ依ル療養ノ
給付ノ申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一 被保險者ノ氏名並ニ被保險者證ノ記載及番號

二 療養ノ給付ヲ受ケムトスル期間

三 療養ニ要スル費用ノ見積額

四 現ニ療養ヲ受クル保險者ノ氏名及住所

五 健康保險法第四十八條第一項第一號ノ場合ニ於テハ事業
主ニ於テ扶助ヲ爲スベキ義務ノ基ク法令ノ條項

六 健康保險法第四十八條第一項第二號ノ場合ニ於テハ擔保
ノ種類、數量及價格又ハ費用ノ償還ニ付定メタル方法

第五十九條 埋葬料支給ノ請求書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ
市町村長ノ埋火葬認許證ノ寫、死亡診斷書ノ寫又ハ被保險者
ノ死亡ニ關スル事業主若ハ第八條ノ二ノ規定ニ依ル代理人ノ
證明書ヲ添付スベシ

四〇

一 死亡シタル被保險者ノ氏名並ニ被保險者證ノ記載及番號

二 死亡ノ年月日及原因

三 死亡ガ第三者ノ行爲ニ因ルモノナルトキハ其ノ事實並ニ第
三者ノ氏名及住所(氏名又ハ住所不詳ナルトキハ其ノ旨)

四 被保險者ト請求者トノ續柄

五 死亡ガ業務上ノ事由ニ因ルモノナリヤ否ヤノ別

第六十條 健康保險法第四十九條第二項又ハ同法第五十六條第
ニ於テハ分焼アリタル年月日

三 勞務ニ關セザリシ期間

四 出產手當金ガ健康保險法施行令第八十一條第二項ノ規定
ニ依ルモノナルトキハ主トシテ被保險者ニ依リ生計ヲ維持
スル者ノ氏名、生年月及被保險者トノ續柄、收容セラレタ
ル産院ノ名稱及所在地並ニ收容セラレタル年月日及期間

五 出產手當金ガ健康保險法施行令第八十五條但書ノ規定ニ
依ルモノナルトキハ其ノ報酬ノ額及期間

六 出產手當金ガ健康保險法施行令第八十六條ノ規定ニ依ル
モノナルトキハ受クルコトヲ得ベカリシ報酬ノ額及期間、
受クルコト能ハザリシ報酬ノ額及期間並ニ健康保險法施行令
第八十五條但書ノ規定ニ依リ受ケタル出產手當金ノ額及報
酬ヲ受クルコト能ハザリシ事由

前項ノ請求書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添付スベシ

一 前項第三號ノ期間ニ關スル事業主ノ證明書

二 分焼ノ豫定年月日ニ關スル醫師又ハ產婆ノ意見書

前項第二號ノ意見書ニ付テハ第五十七條第四項ノ規定ヲ準用
ス

第六十三條 削除

第六十四條 第五十三條第二項、第五十四條第二項、第五十六
條第二項、第五十七條第二項、第五十九條乃至第六十一條及

健康保險法施行規則

四一

健康保險法施行規則

第六十二條第二項ノ規定ニ依リ醫師、齒科醫師若ハ産婆ノ意見書若ハ證明書又ハ事業主若ハ市町村長ノ證明書ヲ添付スベキ場合ニ於テ保險給付ノ請求書ニ相當ノ記載ヲ受ケタルトキハ意見書又ハ證明書ノ添付ヲ省略スルコトヲ得

第六十五條 削除

第六十六條 保險給付ヲ受ケムトスル者ヨリ第四十五條第四項第五十三條第二項、第五十四條第二項、第五十六條第二項、第五十七條第二項及第六十二條第二項ノ規定ニ依リ證明書ヲ求メラレタルトキハ事業主ハ正當ノ事由アルニ非ザレバ之ヲ拒ムコトヲ得第六十四條ノ規定ニ依リ證明ノ記載ヲ求メラレタルトキ亦同ジ

第六十六條ノ二 保險給付ヲ受ケムトスル者ヨリ第四十七條第一項ノ規定ニ依リ療養證明書、第五十六條ノ二第二項、第五十七條第二項若ハ第六十二條第二項ノ規定ニ依リ意見書又ハ第六十一條ノ規定ニ依リ證明書ヲ求メラレタルトキハ保險醫ハ正當ノ事由アルニ非ザレバ之ヲ拒ムコトヲ得第六十四條ノ規定ニ依リ意見又ハ證明ノ記載ヲ求メラレタルトキ亦同ジ第六十六條ノ三 地方長官又ハ健康保險組合ハ保險醫及保險藥劑師ニ就キ療養ノ給付ニ關シ帳簿書類ヲ檢閲シ、説明ヲ求メ又ハ報告ヲ徴スルコトヲ得
第六十七條 健康保險組合ハ其ノ管掌スル保險ノ給付ニ關スル

四二

手續ニ付第四十五條乃至第六十二條ノ規定ニ拘ラズ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第六十八條 削除

第六十九條 削除

第七十條 削除

第七十一條 本章ニ於テ被保險者トアルハ被保險者ノ資格喪失後保險給付ヲ受クル者ヲ含ムモノトス

第五節 健康保險法第八十條ノ審査手續

第七十二條 審査ノ請求ハ文書ヲ以テ之ヲ爲スベシ但シ第一次健康保險審査會ニ對スル審査ノ請求ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第七十三條

文書ヲ以テ審査ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ審査請求書ニ記名調印シ證據書類アルトキハ之ヲ添付シ當該健康保險審査會ニ提出スベシ
第一次健康審査會ニ對スル審査請求書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 審査請求人ノ氏名、住所及生年月日並審査請求人被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ非ザルトキハ其ノ職業及被保險者又ハ被保險者タリシ者トノ關係
- 二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ氏名並被保險事故發生ノ

際其ノ使用セラレタル工場、事業場又ハ事務所ノ名稱及所在地

三 保險給付ニ關スル處分ヲ爲シタル地方長官又ハ健康保險組合ノ名稱

四 保險給付ニ關スル處分ノ通知ヲ受ケタル年月日

五 請求ノ事件及一定ノ申立

六 請求ノ理由

七 立證

八 年月日

第二次健康保險審査會ニ對スル審査請求書ニハ前項第一號、第二號及第六號乃至第八號ノ事項ノ外左ノ事項ヲ記載シ第一次健康保險審査會ノ決定書又ハ其ノ原本ヲ添付スベシ

一 第一次健康保險審査會ノ決定書ノ交付ヲ受ケタル年月日
二 第一次健康保險審査會ノ決定ニ對スル不服ノ程度及變更ノ申立

第七十四條 口頭ヲ以テ審査ヲ請求シタル者アルトキハ書記ハ前條第二項各號ノ事項ヲ記載シタル審査請求調書ヲ作製シ讀開カセタル上之ニ記名調印セシメ證據書類アルトキハ之ヲ提出セシムベシ

前項ノ審査請求調書ニハ之ヲ作製シタル書記署名捺印スベシ
第七十五條 健康保險審査會審査ノ請求ヲ受ケタルトキハ健康

健康保險法施行規則

給付ニ關スル處分ヲ爲シタル地方長官又ハ健康保險組合ニ對シ審査請求書又ハ審査請求調書ノ寫ヲ送付スベシ

地方長官又ハ健康保險組合前項ノ審査請求書又ハ審査請求調書ノ寫ノ送付ヲ受ケタルトキハ十日以内ニ特辦書及證據書類ヲ當該健康保險審査會ニ提出スベシ

第七十六條 健康保險審査會必要アリト認ムルトキハ期限ヲ指定シテ當事者交互ニ辯駁書及答辯書ヲ提出セシムルコトヲ得

第七十七條 審査ノ決定書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ
一 審査請求人ノ氏名、住所及年月日

二 保險給付ニ關スル處分ヲ爲シタル地方長官又ハ健康保險組合ノ名稱

三 決定主文

四 決定ノ理由

五 年月日

前項ノ決定書ノ原本ニハ會長署名捺印スベシ

第七十八條 健康保險審査會ハ前條ノ決定書ノ原本ニ基キ正本副本各一通ヲ作製シ健康保險審査會ノ印ヲ捺印シテ運滯ナク正本ハ之ヲ審査請求人ニ交付シ副本ハ之ヲ關係アル地方長官又ハ健康保險組合ニ送付スベシ

審査請求人ニ對シ決定書ヲ交付スルコトヲ得ザルトキハ健康保險審査會ハ其ノ決定書ヲ揭示板ニ揭示スベシ

四三

健康保險法施行規則

前項ノ揭示アリタル後七日ヲ経過シタルトキハ決定書ノ交付
アリタルモノト看做ス

第七十九條 審査請求人ハ健康保險審査會ニ對シ決定書ノ原本
ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第六章 罰 則

第八十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科
料ニ處ス

- 一 第三條、第四條、第十條、第十一條、第十七條第一項及
第十八條乃至第二十條ノ二ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ其
ノ届出ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者
 - 二 第五條第二項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ告知ヲ怠リタル者
 - 三 正當ノ事由ナクシテ第六十六條ノ規定ニ依ル請求ニ應ゼ
ズ又ハ虚偽ノ證明ヲ爲シタル者
 - 四 第七條ノ規定ニ依ル保険料ノ控除ニ關スル計算書ノ備付
若ハ記載ヲ怠リ、虚偽ノ記載ヲ爲シ又ハ故ナク被保險者ニ
對シ閱覽ヲ拒ミタル者
 - 五 第八條ノ規定ニ依ル書類ノ保存ヲ怠リタル者
- 第八十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金又
ハ科料ニ處ス
- 一 第十七條第二項、第二十一條第一項及第五十二條ノ規定

四四

ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ其ノ届書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

二 事業主以外ノ者ニシテ第二十條ノ二ノ第二項ノ規定ニ依
ル被保險者證ノ返納又ハ提出ヲ怠リタル者

三 第二十三條ノ二第一項但書、第四項若ハ第五項ノ規定ニ
依ル被保險者證ノ返納又ハ同條第三項ノ規定ニ依ル被保險
者證ノ提出ヲ怠リタル者

附 則

第八條、第九條、第十三條乃至第十六條、第十九條、第二十
一條、第二十四條乃至第四十四條、第六十七條、第八十條及第
八十一條ノ規定ハ大正十五年七月一日ヨリ、第一條ノ規定ハ大
正十五年十月一日ヨリ、第二條乃至第五條、第十條乃至第十二
條、第十八條、第二十條、第二十二條及第二十三條ノ規定ハ大
正十五年十一月一日ヨリ、第六條、第七條、第十七條、第四十
五條乃至第六十六條及第六十八條乃至第七十九條ノ規定ハ大正
十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十條第一項ノ規定ニ依ル届出ノ期間ハ第十條ノ規定施行ノ日
以前ニ於テ被保險者ノ資格ヲ取得シタル者ニ關シテハ第十條ノ
規定施行ノ日ヨリ五日以内トス

附 則(昭和二年十月三日内務省令第四十號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則(昭和三年四月七日内務省令第十二號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則(昭和四年六月一日内務省令第十八號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ交付シタル被保險者證及療養證明書ハ本令施行後
ト雖モ之ヲ使用スルコトヲ妨グズ

附 則(昭和四年七月三十一日内務省令第二十九號)

本令ハ昭和四年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

様式第二號ノ二

第何號	何府(縣)何市(郡)何町(村)大字何番地 某(何會社)
昭和何年度	何々(款) 何々(項)
一金何	昭何年何月分保險料
一金拾	督促手数料
一納期限ノ翌日ヨリ保險料額百圓 ニ付一日參錢ノ割合ニ依ル金額	延滞金
右昭和何年何月何日限リ日本銀行本店(日本銀行何支店)(日本銀行何代理店)(何道府縣廳又ハ廳府縣何出張所)(何健康保險組合事務所)ヘ納付スベシ	地方長官ノ官 氏 名 何健康保險組合 理事長 氏 名
指定期限迄ニ保險料及督促手数料ヲ完納シタルトキハ延滞金ヲ徵收セズ 指定期限ヲ過ギ完納セザルトキハ直ニ其ノ財產差押ノ處分ヲ爲スベシ 昭和何年何月何日	名

備考
一 延滞金ヲ徵收セザルモノニ在リテハ「一納期限ノ翌日ヨリ保險料額百圓ニ付一日參錢ノ割合ニ依ル金額「延滞金」及「指定期限迄ニ保險料及督促手数料ヲ完納シタルトキハ延滞金ヲ徵收セズ」ノ文字ヲ記載セザルモノトス
二 日本銀行ニ納付ヲ指定シタルトキハ本文ノ「納付スベシ」ノ下ニ左ノ但書ヲ加フルモノトス
「但シ同日ヲ經過シタルトキハ何道府縣廳又ハ廳府縣何出張所ヘ納付スルヲ要ス」
三 保險料以外ノ徵收金ノ督促狀ハ本様式ニ準ズベシ

様式第二號ノ三
(表面)

第何號

健康保險徵收金簿

納者財產差押證券

縣 府
印 府

(裏面)

何道府縣廳又ハ廳府縣何出張所

官 職 氏 名

備考 本證ハ條約八種、橫約五種トシ厚キ紙ヲ用フベシ

様式第三號 削除

健康保險法施行規則

様式第四號

被保險者資格取得肩

昭和 年 月 日現在

被保險者 姓名	被保險者 性別	被保險者 生年月日	被保險者 職業	被保險者 資格取得日	被保險者 資格取得前被保險者 姓名	被保險者 資格取得前被保險者 性別	被保險者 資格取得前被保險者 生年月日	被保險者 資格取得前被保險者 職業	被保險者 資格取得前被保險者 資格取得日
------------	------------	--------------	------------	---------------	-------------------------	-------------------------	---------------------------	-------------------------	----------------------------

被保險者 姓名	被保險者 性別	被保險者 生年月日	被保險者 職業	被保險者 資格取得日	被保險者 資格取得前被保險者 姓名	被保險者 資格取得前被保險者 性別	被保險者 資格取得前被保險者 生年月日	被保險者 資格取得前被保險者 職業	被保險者 資格取得前被保險者 資格取得日	第五條第一項各號該當日額					備考	
										第一號	第二號	第三號	第四號	第五號		計
賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	
賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	
賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	
賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	
賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	
賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	
賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	
賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	賃金、給料又ハ俸給	

昭和 年 月 日

住所又ハ所在地
事業主

氏名又ハ名稱 固

備考

- 一 本様式ノ用紙ハ美濃紙半切大トス
- 二 被保險者證ノ記載「欄」ニハ新ニ健康保険法ノ適用アリタル工場、事業場又ハ事業ニ在リテハ「新規」ト記載スベシ
- 三 「工場、事業場又ハ事務所」欄ノ記載ニ付テハ様式第一號備考六ニ準ズベシ
- 四 「男女別」欄ノ「男女」欄ハ被保險者男子ナルトキハ「女」ノ文字ヲ、女子ナルトキハ「男」ノ文字ヲ抹消スベシ
- 五 「業務ノ種別」欄ニハ被保險者ガ工場、事業場又ハ事業ニ於テ從事スル業務ノ種別ヲ記載スベシ例ヘバ紡績工場ニ於テハ「搦綿」ハ「精紡」、織物工場ニ於テハ「整理」、縫製又ハ製機、石炭鑛山ニ於テハ「探炭」又ハ支柱、運輸事業ニ於テハ「運轉手」又ハ「車掌」ト記載スルガ如シ
- 六 「標準報酬」欄ハ地方長官又ハ健康保険組合ニ於テ記載スベキモノトス故ニ届出者ニ於テ空欄ノ儘ト爲シ置クベシ
- 七 被保險者健康保険法第六十二條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ該當事項ヲ「備考」欄ニ記載スベシ
- 八 資格取得前被保險者ガリシ者ニ付テハ最後ノ被保險者タル地方長官又ハ健康保険組合ノ名稱、事業主ノ氏名及住所又ハ名稱及所在地ヲ「備考」欄ニ記載スベシ但シ健康保険法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ガリシ者ナルトキハ同欄ニ「法第二十條ノ被保險者」ト記載スベシ
- 九 被保險者ガリシ者ニシテ資格喪失後繼續シテ被保險付ヲ受クル者被保險者ノ資格ヲ取得シタル場合ニ於テハ其ノ旨及給付ノ種類並ニ其ノ給付ガ療養ノ給付又ハ傷病手当金ノ支給ナルトキハ其ノ傷病名ヲ「備考」欄ニ記載スベシ
- 十 資格取得前被保險者ガリシ者ニシテ被保險付ヲ受ケタル日ヨリ百八十日ヲ経過シタルモ仍未治療ノ傷病アリシ者ニ在リテハ其ノ傷病名ヲ「備考」欄ニ記載スベシ
- 十一 第十一條ノ規定ニ依リ届出ラ爲ス場合ニ於テハ標題ヲ「被保險者資格變更届」トシ其ノ原因ガ健康保険法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ガ同法第十三條又ハ同法第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲リタルモノナルトキハ「法第二十條ヨリ法第十三條へ」又ハ「法第二十條ヨリ法第十五條へ」ト「備考」欄ニ記載スベシ
- 十二 本様式ニ定ムル事項ノ外健康保険組合ニ於テ必要アリト認ムル事項ハ別ニ欄ヲ設ケテ之ヲ記載セシムルコトヲ得

被保険者資格喪失届

氏名	工場、事業場 又ハ事務所	被保険者番号		資格喪失年月日	資格喪失原因	備考
		被 保 險 者 番 号	及 香 号			

様式第五號

備考

二一 本様式ノ用紙ハ美濃紙半切大トス
 「資格喪失原因」ニハ其ノ原因ガ事業ノ停止又ハ休止ニ因
 ル州屋ナルトキハ「解雇」、「停止」又ハ「休止」、事業ノ繼續中ニ於ケ
 ル州屋ナルトキハ「解雇」、「停止」又ハ「休止」ノ一項ノ認
 可ナルトキハ「包括喪失」、常勤ガ臨時雇ト爲リタルモノナ
 ルトキハ「臨時雇」、「死亡」トキハ「死亡」ト記載シ其ノ他
 之ニ準ズベシ
 三 資格喪失ノ際職權シテ保險給付ヲ受クル爲又ハ其ノ他ノ事
 由ニ因リ被保險者ニ付テハ「補償」ニ記載スベシ
 四 「工場、事業場又ハ事務所」欄ノ記載ニ付テハ様式第一號備
 考六ニ準ズベシ

昭和 年 月 日 住所又ハ所在地 事業主 氏名又ハ名称

様式第六號 (第一面)

何第何號

被保險者證

何 某

何年何月生 (男女)

昭和何年何月何日資格取得

業務ノ種別 何々

工場、事業場又ハ事務所ノ名稱 何々

工場、事業場又ハ事務所ノ所在地 何々

昭和何年何月何日交付

何 府 縣 團 (何健康保險組合同)

名	氏	所	住
自	署		

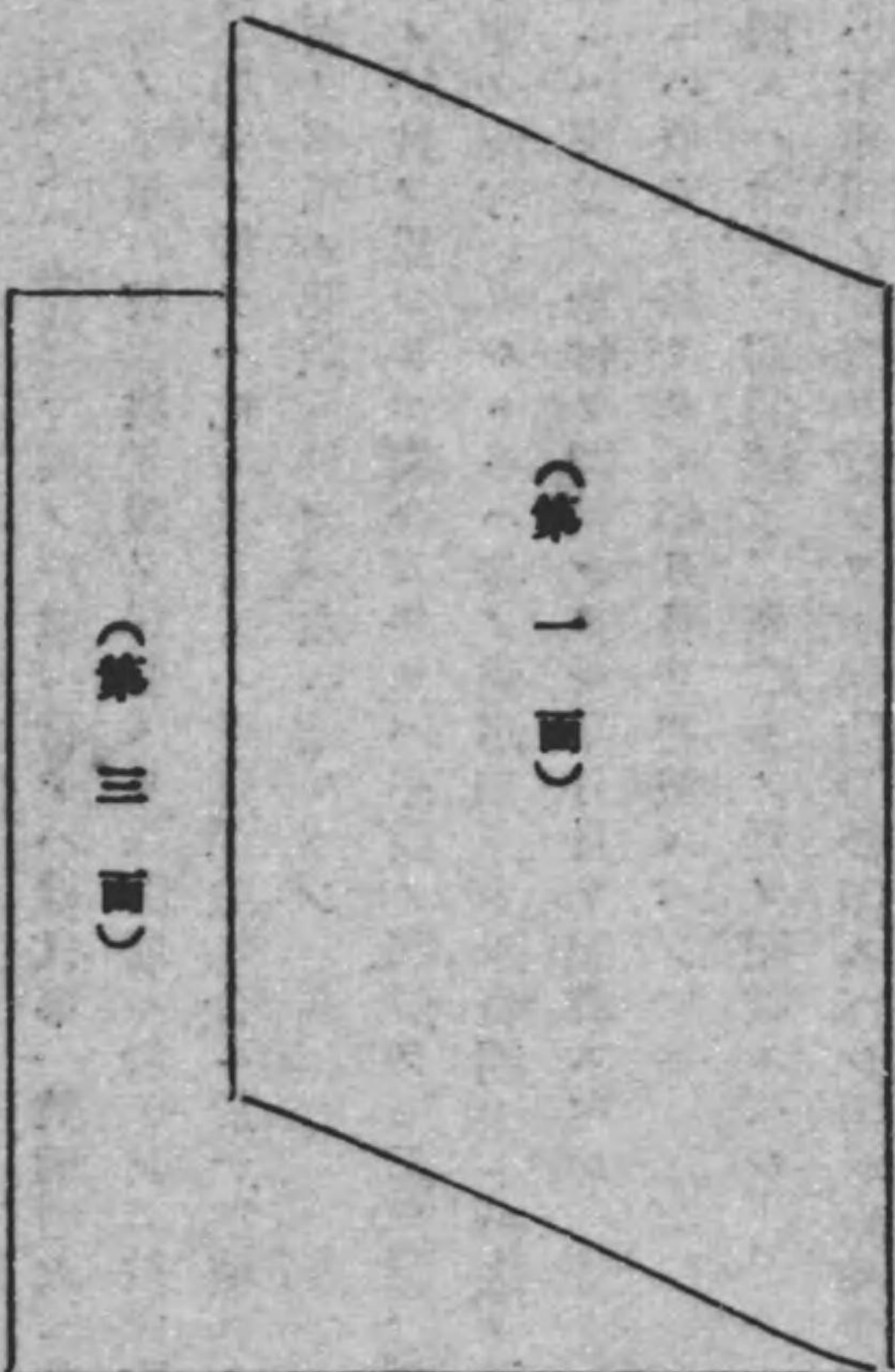
注意事項

- 一 此の證は健康保険の被保険者であるといふ證であるから大切に持つてゐなければなりません。療養を受けるときは此の證を醫師や歯科醫師に渡さなければなりません。醫師や歯科醫師は療養が終る迄此の證を預つてゐます。萬一其の間に他の疾病や負傷の爲に他の醫師や歯科醫師からも療養を受けなければならぬときは此の證を渡してある醫師や歯科醫師に其の手續をお聞きなさい。同一の疾病や負傷に付いて従来掛つてゐる醫師や歯科醫師を取替へる場合には北海道廳長官又は府縣知事(東京府では警視總監)(組合)の承諾が要ります。
- 二 療養は一の疾病や負傷に付いて受給開始日から百八十日を過ぎたならばその疾病や負傷に付いてその後療養を受けられません。
- 三 被保険者の資格がなくなつたとき又は轉勤したときは五日以内に此の證を事業主に返さなければなりません。しかし資格がなくなつても引續き給付を受けてゐる者は其の療養を受けなくなつてから五日以内に此の證を直接道府縣廳(東京府では警視廳)(組合)に返すこととなつてゐます。右の期間に事業主や道府縣廳(東京府では警視廳)(組合)に此の證を返へさない者は五十圓以下の罰金か料金の處分を受けます。
- 四 被保険者の資格がなくなつた者は此の證を持つてゐても療養を受けられません。
- 五 此の證を言つて療養を受けた者は詐欺罪として十年以下の懲役の處分を受けます。
- 六 此の證に記載欄がなくなつたり此の證が毀損したときは直に道府縣廳(東京府では警視廳)(組合)に正しなさい。
- 七

- 八 此の證の第一面に書いてある事項が變つたならば直に事業主に差出して訂正して貰ひなさい。
- 九 此の證の「自署」と書いてある欄には自分の住所と氏名とを自分で書きなさい。若し書くことができないければ他人に書いて貰つて捺印を押しなさい。尙此の欄に書いた住所や氏名が變つたならば直に訂正しなさい。

備考

一 本證ハ各面ノ大サヲ條約十五種、續約十種トシ厚キ紙ヲ用ヒ之ヲ左圖ノ如クニツ折ト爲スベシ



- 二 「何第何號」トアルハ被保險者臺帳ノ記載及番號ヲ記載スルモノトス
- 二ノ二 「工場、事業場又ハ事務所」ニ付テハ様式第一號備考六ニ準ズベシ
- 三 第二面及第三面ノ事項ハ被保險者證ヲ保管スル保險醫ニ於テ其ノ被保險者證返還ノ際記載スルモノトス但シ療養費支給ノ場合ニ於テハ地方長官又ハ健康保險組合ニ於テ記載スルモノトス
- 四 第二面及第三面ノ事項ノ記載ニ付テハ左ニ依ルベシ
 - イ 齒ニ付療養ノ給付ヲ爲シタル場合ニ於テハ患齒ノ部位ヲモ「傷病名」ニ記載スベシ
 - ロ 保險醫處方箋ヲ交付シタルトキハ其ノ使用期間ト診療期間トハ之ヲ通算シテ記載スベシ
 - ハ 「開始日」ニハ療養ノ給付ヲ開始シタル年月日ヲ記載スベシ
 - ニ 「終了日」ニハ療養ヲ終リタル年月日ヲ記載スベシ
 - ホ 「終了事由」ニハ治療、期間満了、死亡等ノ別ヲ記載スベシ
 - ヘ 「認印」ニハ本事項ノ記載ヲ爲シタル保險醫捺印スベシ但シ療養費支給ノ場合ニ於テハ廳府縣又ハ健康保險組合ノ保員捺印スベシ
 - ト 保險醫變更ノ爲被保險者證ヲ返還スル場合ニ於テ保險醫其ノ發行シタル療養證明書ノ未ダ返納ナキモノアルトキハ其ノ療養證明書ヲ發行シタル年月日ヲ「備考」ニ記載スベシ
 - チ 療養費ノ支給ニ在リテハ「備考」ニ其ノ旨ヲ記載スベシ
 - 五 被保險者證ヲ再交付スル場合ニ於テ其ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ現ニ療養ノ給付ヲ受クルトキハ其ノ疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ヲ開始シタル年月日ヲ地方長官又ハ健康保險組合ニ於テ記載スベシ
 - 六 健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ニ對シテ交付スベキ被保險者證ハ工場、事業場又ハ事務所ノ名稱及所在地ヲ抹消シ且第一面ノ餘白ニ健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ナル旨並其ノ住所及資格喪失豫定年月日(引續キ被保險者ト爲リタル日ヨリ百八十一日ヨリ)ヲ朱書シテ之ヲ交付スベシ
 - 七 健康保險組合ニ於テハ本様式ニ依ラザルコトヲ得但シ第一面ノ所定事項ヲ省略スルコトヲ得ズ

様式第七號

昭和何年度何健康保險組合收入支出豫算書

一 金	収入	収入豫算高
又ハ		
一 金		經常部豫算高
一 金		臨時部豫算高
合計		
支出	支出豫算高	
一 金		經常部豫算高
一 金		臨時部豫算高
合計		
差引		

昭和何年度何健康保險組合收入支出豫算

一 健康保險收入	科目	項目	算		増減	附記
			本年	前年		
			豫算額	豫算額		

前年度末現在	本年度中増	本年度中減	本年度末現在
--------	-------	-------	--------

(11) 被保険者数

イ 異動及現在

種別	強制被保険者		任意包括被保険者		合計
	職員	其他	職員	其他	
前年度末現在					
本年度中増					
本年度中減					
本年度末現在					

備考

- 一 様式中強制被保険者トアルハ健康保険法第十三條ノ規定ニ依ル被保険者、任意包括被保険者トアルハ健康保険法第十五條ノ規定ニ依ル被保険者ヲ謂フ以下之ニ做フ
- 二 組合ノ設立アル事業ニ以上ノ組合ニ在リテハ事業毎ニ之ヲ別表ト爲スベシ此ノ場合ニ於テハ事業ノ名稱ヲ附記スベシ

- 三 組合ノ設立アル事業ノ主要製品ノ概目又ハ作業ノ内容ヲ附記スベシ
 - 四 健康保険法第二十條ノ規定ニ依ル被保険者アルトキハ種別欄ニ任意継続被保険者ノ欄ヲ設ケ本様式ニ從ヒ其ノ數ヲ記載スベシ
- ロ 標準報酬等級別

種別	強制被保険者		任意包括被保険者		合計
	職員	其他	職員	其他	
第一級					
第二級					
第三級					
第四級					
第五級					
第六級					
第七級					
第八級					
第九級					
第十級					
第十一級					
第十二級					
第十三級					
第十四級					
第十五級					
第十六級					
計					

備考

- 一 年度末現在ニ依ルベシ
- 二 健康保険法第二十條ノ規定ニ依ル被保険者アルトキハ種別欄ニ任意継続被保険者ノ欄ヲ設ケ本様式ニ從ヒ健康保険法施行規則

健康保險法施行規則

其ノ數ヲ記載スベシ

四 組合

本項ニハ組合ノ開會年月日及議決事項ヲ記載スベシ

五 理事

本項ニハ理事長及理事ノ氏名及住所(被保險者タル理事ニ在リテハ工場、事業場又ハ事業ニ於ケル業務ノ種別)ヲ記載スベシ

六 保險成績

(一) 保險給付ノ件數、日數及費用額

種別	療養ノ給付		療養費		傷病		手當金	計	備考
	業務上	業務外	業務上	業務外	業務上	業務外			
男									
女									
計									
男									
女									
計									
男									
女									
計									

種別	葬埋料		埋葬費		分焼費	産院收容	助産ノ手當	出產手當金	合計	備考
	業務上	業務外	業務上	業務外						
男										
女										
計										
男										
女										
計										

備考

- 一 様式中業務上トアルハ疾病又ハ負傷ガ業務上ノ事由ニ因ルモノ、業務外トアルハ疾病又ハ負傷ガ業務上ノ事由ニ因ラザルモノヲ謂フ以下之ニ做フ
- 二 健康保險法第四十八條第一項ノ規定ニ依ル療養ノ給付ノ分ハ×印ヲ附シ區別シテ之ヲ記載スベシ
- 三 同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ付數回ニ分チテ給付ヲ爲シタル場合ト雖モ此ノ數回分ヲ合シテ一件トシ尙療養費又ハ傷病手當金ニシテ二以上ノ疾病又ハ負傷ニ付通ジテ支給シタルモノニ在リテハ健康保險法施行規則

十組 合 債

前年度末現在額	本年度借入額	本年度償還額	本年度末現在額

十一 其ノ他重要ナル事項
 本項ニハ組合ニ於テ重要ト認メタル事項ヲ記載スベシ
 右及報告候也

昭和何年何月何日

理事長 何 某

様式第九號

何健康保險組合財産目録

昭和何年何月何日現在

種 別	數 量	金額又ハ價格	備 考	金 員			
				計	何々	現 金	郵便貯金
準備金							
國債證券							

種 別	計	何々	有價證券				其ノ他ノ財産
			計	何々	地方債證券	合 計	

備考

- 一 有價證券ノ「金額又ハ價格」欄ニハ額面額ヲ記載シ尙其ノ種類及時價ヲ「備考」欄ニ記載スベシ
- 二 土地、建物又ハ器具及機械ノ「金額又ハ價格」欄ニハ時價ヲ記載シ尙土地及建物ハ其ノ用途ヲ「備考」欄ニ記載スベシ
- 三 積立金アル場合ニ於テハ「準備金」ノ欄ニ準シ別ニ一欄ヲ設クヘシ

様式第十號

昭和何年何月分事業狀況報告

何々	何々	計
本年	本年	本年
度	度	度
算	算	算
額	額	額
支	支	支
出	出	出
額	額	額
計	計	計
額	額	額

種別	本年	本年	本年
何々	度	度	度
何々	算	算	算
何々	額	額	額
何々	支	支	支
何々	出	出	出
何々	額	額	額
何々	計	計	計
何々	額	額	額

種別	本月	本月	本月
一時	借	返	末
借	入	還	現
入金	額	額	在
準備			
金			
繰			
替			
使用			

前年度	本年
度	度
支	支
出	出
計	計
額	額

備考

一 四月分五月分ノ收支状況ニ付テハ其ノ年度ニ屬スル分ト前年度ニ屬スル分トハ之ヲ別表ト爲スベシ此ノ場
合ニ於テハ所屬年度ヲ附記スベシ

二 收入又ハ支出ノ「種別」欄ハ豫算ノ款項ヲ記載スベシ

三 收入ノ測定ヲ爲シタルモ未ダ收入セザル金額並支拂ノ請求ヲ受ケタルモ未ダ支出セザル金額及支拂ノ請求
ヲ受ケザルモ支拂義務ノ既ニ發生シタル金額(醫學會ニ對スル診療報酬ノ如シ)ヲ備考トシテ記載スベシ

四 過年度支出ノ科目ヨリ支出シタル金額ニ付テハ其ノ種類ヲ備考トシテ記載スベシ

四 保 險 施 設

本項ニハ健康保險法第二十三條ノ規定ニ依リ施設シタル事項及其ノ成績ノ概要ヲ記載スベシ

五 職員及理事ノ異動

本項ニハ就職又ハ退職若ハ死亡シタル職員又ハ理事ノ數ヲ選定職員若ハ互選職員又ハ選定職員タル理事若ハ互選
職員タル理事ニ區別シ記載スベシ尙月末現在ニ於テ缺員數アルトキハ其ノ數ヲ同條ニ區別シ記載スベシ

様式第十一號

組合原簿
組合ノ名稱其ノ他

名	稱
設	立
年	月
月	日

健康保険法施行規則

事務所所在地	組合ノ設立アル事業	工場、事業場又ハ事務所ノ名稱、所在地及種類	要摘

理事

氏名	生年月日	住	所	就職年月日	種別	任期	摘	要	定員										
									計	事業主ノ選定シタル者	員中ヨリ互選シタル者								

職員

氏名	生年月日	住	所	就職年月日	種別	任期	摘	要	定員										
									計	事業主ノ選定シタル者	被保險者中ヨリ互選シタル者								

事業主タル組合員

氏名	生年月日	住	所	組合ノ設立アル事業	組合員タル資格取得ノ年月日	組合員タル資格取得ノ事由	摘	要

健康保険法施行規則

健康保険法施行規則

備考

- 一 記載事項ニ變更アリタルトキハ之ヲ改訂スルト共ニ變更ノ事項及年月日ヲ「摘要」欄ニ記載スベシ
- 二 理事又ハ議員退職又ハ死亡シタルトキ、組合員其ノ資格ヲ喪失シタルトキハ朱線ヲ以テ抹消シ年月日及事由ヲ「摘要」欄ニ朱書スベシ
- 三 他ノ組合ヲ合併シタルトキ又ハ組合ガ分割シタルトキハ其ノ年月日及合併又ハ分割ノ組合名ヲ「組合ノ名稱其ノ他」ノ部ノ「摘要」欄ニ記載スベシ
- 四 「理事」ノ部ノ「種別」欄ニハ事業主ノ選定シタル職員中ヨリ互選シタル者、被保険者タル職員中ヨリ互選シタル者ノ別ヲ記載スベシ「職員」ノ部ノ「種別」欄亦之ニ準ズ
- 五 理事長ニ付テハ「理事」ノ部ノ氏名ノ右肩ニ「理事長」又ハ「理事代理」ト記載スベシ
- 六 「理事」ノ部及「職員」ノ部ノ「任期」欄ハ「自昭和何年何月何日」ノ如ク記載スベシ
- 七 「工場、事業場又ハ事務所」欄ノ記載ニ付テハ様式第一號備考六ニ準ズベシ
- 八 本様式ニ定ムル事項ノ外必要テリト認ムル事項ハ別ニ欄ヲ設ケテ之ヲ記載スルコトヲ得

様式第十二號 削除

様式第十三號

療養証明書

被保険者證ノ記號及番號						
被 保 險 者	(氏 名)					
	(男女別)	(生年月)				
	(住 所)					
工場、事業場 又ハ事務所	(名 稱)					
	(所在地)					
現ニ療養ヲ爲ス傷病名及給付開始年月日						
發行年月日						
發 行 者	何府(縣)何市(郡)何町(村)大字何番地					
	醫師(齒科醫師) 何 某					
本證明書ニ依リテ爲シタル療養ノ給付	傷病名	開始日	終了日	終了事由	備 考	認印

備考

- 一 「本證明書」ニ依リテ爲シタル療養ノ給付「欄」ノ事項ハ療養證明書ニ依リテ療養ヲ爲シタル被保険者ニ於テ其ノ療養證明書返還ノ際記載スベシ
- 二 「本證明書」ニ依リテ爲シタル療養ノ給付「欄」ノ記載ニ付テハ様式第六號備考四ノイ乃至ヘニ準ズベシ
- 三 「工場、事業場又ハ事務所」欄ノ記載ニ付テハ様式第一號備考六ニ準ズベシ

健康保険法施行規則

被保險者證 ノ記號及番號		處方箋	
患者 (氏名)	(年齢)	府健組 廳ハ險名 所轄又保 縣廉合ノ	
藥名		分量	
用法		用量	
使用期間	開始昭和 終了昭和	年 月 日	處方年 月 日
保險醫 氏名印	診療所ノ名 稱、所在地 又ハ保險 所ノ住		昭和 年 月 日

健康保險用

備考

一 「所轄府縣又ハ健康保險組合ノ名稱」欄ニハ被保險者ノ屬スル府縣又ハ健康保險組合ノ名稱ヲ記載スベシ

二 健康保險組合ニ於テハ本様式ニ依ラザルコトヲ得但シ被保險者證ノ記號及番號竝ニ使用期間ノ開始及終了年月日ノ記載ハ之ヲ省略スルコトヲ得ズ

附 則 (昭和九年十二月二十九日內務省令第三十九號)

本令ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ昭和九年法律第十三號實施ノ爲ニ豫メ必要ナル事項ニ關シテハ昭和十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ交付シタル被保險者證ハ本令施行後ト雖モ之ヲ使用スルコトヲ妨グズ

本令施行前ニ處方箋ノ交付ヲ受ケタル被保險者ハ本令施行後ト雖モ之ニ依リ藥劑ノ支給ヲ受クルコトヲ妨グズ此ノ場合ニ於ケル手續ハ従前ノ例ニ依ル

健康保險法第十三條第三號(ホ)ノ規定ニ依ル運送事業ノ指定ニ關スル件

(昭和九年十二月二十八日) 勅令第四百一號

健康保險法第十三條第三號(ホ)ノ規定ニ依リ運送ノ事業ヲ指定スルコト左ノ如シ

- 一 自動車、荷牛馬車又ハ荷車ニ依ル運送ノ事業
- 二 索道ニ依ル運送ノ事業

附 則

本令ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ昭和九年法律第十號ノ實施ノ爲ニ兼メ必要ナル範圍ニ於テハ昭和十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

健康保險法第十四條第一項第四號ノ事業 (大正十五年十月十九日) 內務省告示第五百十六號

瓦斯又ハ水道ニ關スル工作物ノ建設、保存、修理又ハ破壊ノ工一事業

健康保險法第十四條第一項第六號ノ事業 (大正十五年十月十九日) 內務省告示第五百十七號

自動車又ハ索道ニ依リテ爲ス貨物又ハ旅客ノ運送

健康保險法第十四條第一項第四號ノ事業 (昭和元年十二月二十七日) 內務省告示第九號

- 一 道路、河川、港灣、運河、鐵道及軌道ニ關スル土木工事
- 二 砂防工事

健康保險法第十四條第一項第四號ノ事業 (昭和四年八月八日) 內務省告示第二七六號

電信又ハ電話ニ關スル工作物ノ建設、保存、修理又ハ破壊ノ工一事業

健康保險ノ被保險者タラサル臨時使用人ニ關スル件

(大正十五年十月十九日) 內務省告示第四十七號

健康保險法施行令第九條第四號ノ規定ニ依リ臨時ニ使用セラルル者ノ中被保險者タラザルモノヲ指定スルコト左ノ如シ

- 一 季節的業務ニ使用セラルル者但シ繼續シテ百二十日以上使用セラルベキ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

官吏及待遇官吏ハ健康保險ノ被保險者タラサルノ件

(大正十五年十月十九日) 內務省告示第四十八號

政府ノ事業ニ使用セラルル官吏及待遇官吏ハ健康保險ノ被保險一者タラザルモノトス

政府ノ管掌スル健康保險ノ被保險者力療養ノ給付ヲ受クルコトヲ得ヘキ醫師及齒科醫師並藥劑師ニ關スル件

(昭和元年十二月二十八日) 內務省告示第一號
(改正昭和四年七月三十一日) 內務省告示第三十一號

第一條 政府ノ管掌スル健康保險ノ被保險者(以下被保險者ト稱ス)ハ所轄地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下之ニ同ジ)ノ指定シタル保險醫又ハ保險藥劑師ニ就キ療養ノ給付ヲ受クルコトヲ得

第二條 被保險者所轄地方長官ノ管轄區域外ニ其ノ住所ヲ有ス

ル場合ニ於テハ前條ノ保險醫又ハ保險藥劑師ノ外其ノ被保險者ノ住所地ヲ管轄スル地方長官ノ指定シタル保險醫又ハ保險藥劑師ニ就キ療養ノ給付ヲ受クルコトヲ得

第三條 被保險者所轄地方長官ノ承認ヲ受ケタル場合又ハ緊急ノ場合ニ於テハ前二條ノ保險醫又ハ保險藥劑師以外ノ保險醫

(健康保險法)

又ハ保險藥劑師ニ就キ療養ノ給付ヲ受クルコトヲ得
第四條 被保險者ハ其ノ診療ヲ受クベキ場所ヨリ四里以内(診
療所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ於テ別段ノ定ヲ爲シタルト
キハ之ニ從フ)ノ里程ノ地ニ在ル診療所ニ於テ診療ニ從事ス
ル保險醫(齒科醫師ヲ除ク)ノ往診ヲ求ムルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ其ノ診療ヲ受クベキ場所ヨリ半里ヲ超ユル

健康保險ノ療養ノ給付ヲ爲ス大學附屬醫院等ニ關スル
件

(昭和二年八月十九日)
勅令第二百六十八號

第一條 官公立ノ大學附屬醫院其ノ他之ニ準ズベキ病院ハ健康
保險ノ保險者ノ委嘱ニ依リ健康保險法施行令第七十四條第一
項第一號乃至第三號ノ療養ノ給付(往診ヲ除ク)ヲ爲スコト
ヲ得
被保險者前項ノ病院ニ就キ療養ノ給付ヲ受ケタル場合ニ於テ其
ノ給付ノ手續ハ當該病院ノ定ムル所ニ依ル
第二條 被保險者前條ノ病院ニ就キ療養ノ給付ヲ受ケタルトキ
ハ保險者ノ承認アリタル場合ヲ除クノ外同一ノ疾病又ハ負傷
ニ付テハ健康保險法施行令第七十五條ノ規定ニ依リ保險者ノ
指定シタル醫師若ハ齒科醫師又ハ前條ノ規定ニ依リ保險者ノ
委嘱シタル他ノ病院ニ就キ療養ノ給付ヲ受クルコトヲ得ズ

九〇

里程ノ地ニ在ル診療所ニ於テ診療ニ從事スル保險醫ノ往診ノ
爲ニ要スル馬車賃ハ其ノ被保險者ノ負擔トス

附 則

本令ハ昭和二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附 則

本令ハ昭和四年七月三十一日內務省令第三十一號)

本令ハ昭和四年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

保險者ハ正當ノ事由アルニ非ザレバ前項ノ承認ヲ拒ムコトヲ
得ズ

第三條 第一條ノ病院ニ於テ處方箋ノ交付ヲ受ケタルトキハ被
保險者ハ健康保險法施行令第七十六條ノ規定ニ依リ保險者ノ
指定シタル藥劑師中自己ノ選定シタル者ニ就キ藥劑ヲ受クル
コトヲ得

第四條 第一條ノ病院ハ內務大臣文部大臣ト協議シテ之ヲ定ム
附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

健康保險ノ療養ノ給付ヲ爲ス大學附屬醫院等ニ關スル
勅令施行ニ關スル件

(昭和二年十二月八日內務、文部省令)
改正昭和四年六月一日內務、文部省令
昭和四年八月一日內務、文部省令
昭和六年五月二十一日內務、文部省令
昭和十年一月九日內務、文部省令

第一條 昭和二年八月勅令第二百六十八號健康保險ノ療養ノ給
付ヲ爲ス大學附屬醫院等ニ關スル件(以下勅令ト稱ス)第四
條ノ規定ニ依リ定メタル官公立ノ大學附屬醫院其ノ他之ニ準
ズベキ病院(以下病院ト稱ス)ハ內務大臣及文部大臣之ヲ告
示ス

第二條 被保險者病院ニ於テ療養ノ給付ヲ受ケムトスルトキハ
其ノ旨當該病院ニ申出ヅベシ

前項ノ申出ヲ爲ス場合ニ於テハ被保險者ハ被保險者證ヲ其ノ
病院ニ提出スベシ但シ已ムヲ得ザル事由アルトキハ此ノ限ニ
在ラズ此ノ場合ニ於テハ其ノ事由止ミタル後遲滞ナク被保險
者證ヲ其ノ病院ニ提出スベシ
第一項ノ申出ヲ爲ス場合ニ於テ疾病又ハ負傷ガ業務上ノ事由
ニ因ルモノナルトキハ被保險者ハ之ニ關スル事業主ノ證明書
ヲ提出スベシ

健康保險法第四十八條第一項ノ規定ニ依リ繼續シテ療養ノ給
付ヲ受クルコトヲ得ル者病院ニ於テ療養ノ給付ヲ受ケムトス

(健康保險法)

九一

第四條 健康保險法施行令第七十五條第一項ノ規定ニ依リ保險
者ノ指定シタル醫師又ハ齒科醫師(以下保險醫ト稱ス)ニシ
テ第五條第一項ノ規定ニ依リ療養證明書ヲ交付シタル者健康

ルトキハ其ノ給付ヲ受クルコトヲ得ルモノナルコトヲ保險者
ニ於テ承認シタル書面ヲ提出シテ之ヲ當該病院ニ申出ヅベシ
第三條 病院被保險者ニ對シ療養ヲ爲サザルニ至リタルトキハ
遲滞ナク被保險者證ヲ被保險者ニ返還スベシ但シ其ノ被保險
者死亡シタルトキハ埋葬料又ハ健康保險法第四十九條第二項
若ハ第五十六條第二項ノ埋葬費ノ支給ヲ受タベキ者ニ之ヲ返
還スベシ

病院前項ノ規定ニ依リ被保險者證ヲ返還スルトキハ被保險者
證ノ第二面ニ掲グル事項ヲ之ニ記載スベシ

第一項ノ場合ニ於テ病院第五條第一項ノ規定ニ依リ療養證明
書ヲ交付シタルモノナルトキハ其ノ療養證明書ノ全部返納ア
リタルトキ被保險者證ヲ返還スベシ但シ勅令第二條第一項ノ
規定ニ依リ病院變更ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

保險法施行規則第四十六條第一項ノ規定ニ依リ被保險者證ヲ返還スベキ場合ニ於テハ其ノ療養證明書ノ全部返納アリタルトキ之ヲ返還スベシ但シ健康保險法施行令第七十五條第二項ノ規定ニ依ル保險醫變更ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第五條 保險醫ノ療養ヲ受クル被保險者同時ニ病院ニ就キ療養ヲ受クル必要アルトキ又ハ病院ノ療養ヲ受クル被保險者同時ニ保險醫若ハ他ノ病院ニ就キ療養ヲ受クル必要アルトキハ被保險者證ヲ保管スル保險醫又ハ病院ニ就キ療養證明書ノ交付ヲ受クベシ

前項ノ療養證明書ハ之ヲ被保險者證ト看做シ第二條、第三條健康保險法施行規則第四十五條及第四十六條ノ規定ヲ適用ス被保險者病院又ハ保險醫ヨリ第一項ノ療養證明書ノ返還ヲ受ケタルトキハ之ヲ交付シタル保險醫又ハ病院(保險醫又ハ病院變更ノ場合ニ於テハ變更後ノ保險醫又ハ病院)ニ返納ナク返納スベシ

第六條 被保險者病院變更ノ爲被保險者證又ハ前條第一項ノ療養證明書ノ返還ヲ受ケムトスルトキハ病院變更ニ付地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)又ハ健康保險組合ノ承認アリタルコトヲ證スル書面ヲ當該病院ニ提示スベシ

病院ニ就キ療養ヲ受クル被保險者ニシテ同時ニ保險醫ニ就キ療養ヲ受クル者保險醫變更ノ爲前條第一項ノ療養證明書ノ返

還ヲ受ケムトスルトキハ保險醫變更ニ付地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)又ハ健康保險組合ノ承認アリタルコトヲ證スル書面ヲ當該保險醫ニ提示スベシ

第七條 病院被保險者ニ對シ處方箋ヲ交付スル場合ニ於テハ之ニ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

- 一 被保險者證ノ記載及番號
- 二 所轄廳府縣名又ハ健康保險組合ノ名稱
- 三 使用期間ノ開始及終了年月日

被保險者前項ノ處方箋ニ依リ藥劑ノ支給ヲ受ケントスルトキハ保險者ノ指定シタル藥劑師ニ之ヲ提出スベシ

第八條 第五條第一項ノ療養證明書ノ様式ハ健康保險法施行規則様式第十三號ニ依ル

第八條ノ二 被保險者病院ニ於テ健康保險法施行令第七十四條第一項第三號(一回ノ費用二十圓ヲ超ユル場合ニ限ル)乃至第五號ノ給付ヲ受ケ又ハ病院ニ入院セントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ提出スベシ但シ己ムラ得ザル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ此ノ場合ニ於テハ其ノ事由止ミタル後返還ナク申請書記載事項及己ムラ得ザル事由ヲ記載シタル書面ヲ提出スベシ

- 一 被保險者證ノ記載及番號
- 二 發病又ハ負傷ノ年月日及原因

三 疾病又ハ負傷ガ業務上ノ事由ニ因ルモノナリヤ否ヤノ別前項ノ申請書又ハ屆書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル病院ノ意見書ヲ添附スベシ

一 健康保險法施行令第七十四條第一項第三號乃至第五號ノ給付又ハ入院ヲ必要ト認ムル理由

二 給付ノ内容及之ニ要スベキ費用ノ見積額

三 病院ニ入院セントスル場合ニ於テハ入院ノ期間

第九條 保險給付ヲ受ケムトスル者ヨリ第二條第四項ノ規定ニ依ル證明書ヲ求メラレタルトキハ事業主ハ正當ノ理由アルニ非ザレバ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第十條 健康保險組合ハ病院ト協議ノ上第二條乃至第八條ノ二ノ規定ニ拘ラズ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第十一條 本令ニ於テ被保險者トアルハ被保險者ノ資格喪失後療養ノ給付ヲ受クル者ヲ含ムモノトス

第十二條 第五條第三項ノ規定ニ保ル療養證明書ノ返納ヲ怠リタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第十三條 正當ノ事由ナクシテ第九條ノ規定ニ依ル請求ニ應ゼ

政府ノ管掌スル健康保險ノ保險料率

(大正十五年十月二十一日)

(內務省告示第百五十九號)

一 石炭ノ試掘、探掘及之ニ附屬スル事業ノ事業場又ハ工場ニ使用セララル各被保險者ニ付テハ其ノ標準報酬日額一圓ニ付八錢ノ割

(健康保險法)

ズ又ハ虚偽ノ證明ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則(昭和四年六月一日內務、文部省令)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和四年內務省令第十八號施行前ニ交付シタル療養證明書ハ其ノ施行後ト雖モ之ヲ使用スルコトヲ妨ゲズ

附 則(昭和四年八月一日內務、文部省令)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則(昭和六年五月二十一日內務、文部省令)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則(昭和十年一月九日內務、文部省令)

本令ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ處方箋ノ交付ヲ受ケタル被保險者ハ本令施行後ト雖モ之ニ依リ藥劑ノ支給ヲ受クルコトヲ妨ゲズ此ノ場合ニ於ケル手續ハ從前ノ例ニ依ル

保險料率

(大正十五年十月二十一日)

(內務省告示第百五十九號)

二 前號以外ノ各被保險者ニ付テハ其ノ標準報酬日額一圓ニ付四錢ノ割

健康保險法施行細則

昭和八年三月十七日 閣議令第十一號
改正昭和十年三月三十日 閣議令第十四號

- 第一條 本令ハ政府ノ管掌スル健康保險ニ付之ヲ適用ス
- 第二條 左ニ掲グル申請、請求又ハ届出ハ知事ニ之ヲ爲スベシ
 - 一 健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タラントスル申請
 - 二 療養ノ給付ヲ受クル保險醫ノ變更ノ承認ヲ受ケントスル申請
 - 三 療養ノ給付ヲ受クル官公立大學附屬醫院其ノ他之ニ準ズベキ病院（以下官公立大學附屬醫院等ト稱ス）ノ變更ノ承認ヲ受ケントスル申請
 - 四 療養ノ給付ヲ受クル保險醫ヲ官公立大學附屬醫院等ニ變更ノ承認ヲ受ケントスル申請及療養ノ給付ヲ受クル官公立大學附屬醫院等ヲ保險醫ニ變更ノ承認ヲ受ケントスル申請
 - 五 健康保險法第四十八條第一項ノ規定ニ依ル療養ノ給付ヲ受ケントスル申請
 - 六 健康保險法施行令第七十四條第一項第三號（一回ノ費用二十圓ヲ超ユル場合ニ限ル）乃至第五號ノ給付ヲ受ケントスル申請

- 七 病院ニ收容セラレントスル申請
- 八 健康保險法施行令第七十七條第一項第一號ノ療養費ノ支給ヲ受ケントスル届出、同令第七十七條第一項第二號ノ承認ヲ受ケントスル申請、同令第七十七條第一項第二號ノ療養費ノ支給ヲ受ケントスル申請及同令第七十七條第一項第三號ノ療養費ノ支給ヲ受ケントスル申請
- 九 傷病手當金、埋葬料、健康保險法第四十九條第二項又ハ同法第五十六條第二項ノ埋葬費（以下埋葬費ト稱ス）、分娩費及出産手當金ノ支給ヲ受ケントスル請求
- 十 産院ニ收容セラレントスル申請
- 第三條 健康保險事業主代理人ノ選任届書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ
 - 一 工場、事業場又ハ事務所（工場又ハ事業場ナキ事業ニ限ル以下之ニ同ジ）ノ所在地及名稱
 - 二 代理人ノ氏名、生年月日及住所
 - 三 代理人ト事業主トノ關係
 - 四 選任年月日

- 前項第二號又ハ第三號ニ掲グル事項ニ變更アリタルトキハ事業主ハ左ノ事項ヲ五日以内ニ知事ニ届出ズベシ
 - 一 工場、事業場又ハ事務所ノ所在地及名稱
 - 二 變更ノ事項及年月日
- 第四條 健康保險事業主代理人ヲ解任シタルトキ又ハ健康保險事業主代理人死亡シタルトキハ事業主ハ左ノ事項ヲ五日以内ニ知事ニ届出ズベシ
 - 一 工場、事業場又ハ事務所ノ所在地及名稱
 - 二 解任又ハ死亡シタル代理人ノ氏名
 - 三 解任又ハ死亡ノ年月日
- 第五條 被保險者同時ニ二以上ノ業務ニ使用セララルル場合ニ於テ被保險者二以上アル爲又ハ其ノ使用セララルル工場、事業場若ハ事務所ノ所在地ガ異リタル道府縣ニ在ル爲其ノ保險ヲ掌ルベキ地方長官又ハ健康保險組合ヲ定メタル旨ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ
 - 一 被保險者證ノ記號及番號
 - 二 同時ニ使用セララルル各業務ノ所在地、名稱及種類
 - 三 前號ノ業務ニ於ケル各工場、事業場又ハ事務所ノ所在地名稱及種類
 - 四 保險ヲ掌ルベキ地方長官ノ地方廳名又ハ健康保險組合ノ名稱

- 第六條（削除）
- 第七條 被保險者健康保險法第六十二條第一項各號ノ一ニ該當シ又ハ該當セザルニ至リタルトキノ届書（事業主ヨリ提出スルモノニ限ル）ニハ健康保險法施行規則第十七條第一項ニ掲グル事項ノ外工場、事業場又ハ事務所ノ所在地及名稱ヲ記載スベシ
- 第八條 事業ノ名稱若ハ種類又ハ事業主ノ住所若ハ氏名ニ變更アリタルトキノ届書ニハ健康保險法施行規則第二十條ニ掲グル事項ノ外工場、事業場又ハ事務所ノ所在地及名稱ヲ記載スベシ
- 第九條 被保險者ノ氏名ニ變更アリタルトキノ届書ニハ健康保險法施行規則第二十條ニ掲グル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スベシ
 - 一 被保險者證ノ記號及番號
 - 二 工場、事業場又ハ事務所ノ所在地及名稱
- 第十條 被保險者證ヲ滅失又ハ毀損シタルトキノ届書及被保險者證ニ餘白ナキニ至リタルトキノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ
 - 一 被保險者證ノ記號及番號
 - 二 工場、事業場又ハ事務所ノ所在地及名稱（健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ニ在リテハ之ヲ除ク以下之ニ

同ジ)

三 被保險者證ヲ滅失シタルモノニ在リテハ其ノ年月日及事情

第十一條 健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者資格喪失ノ爲又ハ健康保險組合ノ被保險者ト爲リタル爲被保險者證ヲ返納スル場合ニ於テハ左ノ事項ヲ記載シタル返納書ニ被保險者證ヲ添附シテ之ヲ提出スベシ

- 一 返納スル被保險者證ノ記號及番號
- 二 資格喪失ニ在リテハ其ノ年月日
- 三 健康保險組合ノ被保險者ト爲リタルモノニ在リテハ其ノ年月日及健康保險組合ノ名稱

第十二條 被保險者ノ資格喪失後繼續シテ保險給付ヲ受クル者其ノ給付ヲ受ケザルニ至リタル爲被保險者證ヲ返納スル場合ニ於テハ左ノ事項ヲ記載シタル返納書ニ被保險者證ヲ添附シテ之ヲ提出スベシ

- 一 被保險者證ノ記號及番號
- 二 工場、事業場又ハ事務所ノ所在地及名稱
- 三 保險給付ヲ受ケザルニ至リタル年月日

第十三條 健康保險法施行規則第二十三條ノ二第五項ノ規定ニ依リ返納スル被保險者證ハ埋葬料又ハ埋葬費ノ支給請求書ヲ提出スルモノニ在リテハ其ノ請求書ニ之ヲ添附スベシ

第十四條 被保險者資格喪失後繼續シテ療養ノ給付ヲ保險醫又ハ官公立大學附屬醫院等ニ就キ受クルトキハ其ノ保險醫又ハ官公立大學附屬醫院等ニ對シ資格喪失年月日ヲ申出デ且左ノ事項ヲ五日以内ニ知事ニ届出ヅベシ

- 一 被保險者證ノ記號及番號
- 二 工場、事業場又ハ事務所ノ所在地及名稱
- 三 被保險者資格喪失年月日
- 四 傷病名及其ノ療養ノ給付ノ開始年月日
- 五 療養ノ給付ヲ受クル保險醫ノ診療所所在地及氏名又ハ官公立大學附屬醫院等ノ所在地及名稱

第十五條 保險醫ノ變更ノ承認ヲ受ケントスル申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ變更ニ關スル保險醫(現ニ療養ノ給付ヲ受クル保險醫ニ限ル)ノ意見書ヲ添附スベシ但シ現ニ療養ノ給付ヲ受クル傷病ノ専門醫タル保險醫ニ變更スルコトノ承認ヲ受ケントスルモノニ在リテハ之ヲ添附スルコトヲ要セズ

- 一 被保險者證ノ記號及番號
- 二 工場、事業場又ハ事務所ノ所在地及名稱
- 三 傷病名及其ノ療養ノ給付ノ開始年月日
- 四 現ニ療養ノ給付ヲ受クル保險醫ノ診療所所在地及氏名
- 五 變更後療養ノ給付ヲ受ケントスル保險醫ノ診療所所在地及氏名(未定ナルトキハ其ノ旨)

六 變更ヲ必要トスル事由

前項ノ意見書ハ已ムヲ得ザル事由アルトキハ之ヲ添附スルコトヲ要セズ此ノ場合ニ於テハ其ノ事由ヲ申請書ニ記載スベシ被保險者變更後ノ保險醫ニ就キ療養ノ給付ヲ受クルトキハ知事ヨリ受ケタル承認書ヲ其ノ保險醫ニ提示スベシ

第十六條 前條ノ規定ハ官公立大學附屬醫院等ノ變更ノ承認ヲ受ケントスル申請書、保險醫ヲ官公立大學附屬醫院等ニ變更ノ承認ヲ受ケントスル申請書及官公立大學附屬醫院等ヲ保險醫ニ變更ノ承認ヲ受ケントスル申請書ニ之ヲ準用ス

第十七條 被保險者昭和元年內務省令第一號政府ノ管掌スル健康保險ノ被保險者ガ療養ノ給付ヲ受クルコトヲ得ベキ醫師及齒科醫師並藥劑師ニ關スル件(以下昭和元年內務省令第一號ト稱ス)第三條ノ規定ニ依リ同令第一條及同令第二條以外ノ保險醫又ハ保險藥劑師ニ就キ療養ノ給付ヲ受ケントスル場合ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 被保險者證ノ記號及番號
- 二 工場、事業場又ハ事務所ノ所在地及名稱
- 三 現ニ療養ノ給付ヲ受クルモノニ在リテハ傷病名及其ノ療養ノ給付ノ開始年月日並療養ノ給付ヲ受クル保險醫ノ診療所所在地及氏名又ハ保險藥劑師ノ藥局所在地及氏名
- 四 昭和元年內務省令第一號第一條及同令第二條以外ノ保險

醫又ハ保險藥劑師ニ就キ療養ノ給付ヲ受クルヲ必要トスル事由並期間

被保險者昭和元年內務省令第一號第一條及同令第二條以外ノ保險醫又ハ保險藥劑師ニ就キ療養ノ給付ヲ受クルトキハ知事ヨリ受ケタル承認書ヲ其ノ保險醫又ハ保險藥劑師ニ提示スベシ

第十八條 被保險者緊急ノ爲知事ノ承認ヲ受ケズシテ昭和元年內務省令第一號第一條及同令第二條以外ノ保險醫又ハ保險藥劑師ニ就キ療養ノ給付ヲ受ケタルモノニ在リテハ其ノ五日以内ニ知事ニ届出ヅベシ

- 一 被保險者證ノ記號及番號
- 二 工場、事業場又ハ事務所ノ所在地及名稱
- 三 傷病名及其ノ療養ノ給付ノ開始年月日
- 四 當該傷病ニ付他ノ保險醫若ハ保險藥劑師又ハ官公立大學附屬醫院等ニ就キ療養ノ給付ヲ受ケタルモノニ在リテハ其ノ保險醫ノ診療所所在地及氏名若ハ保險藥劑師ノ藥局所在地及氏名又ハ官公立大學附屬醫院等ノ所在地及名稱
- 五 療養ノ給付ヲ受クル昭和元年內務省令第一號第一條及同令第二條以外ノ保險醫ノ診療所所在地及氏名又ハ保險藥劑師ノ藥局所在地及氏名
- 六 緊急ナリシ事由

第十九條 現ニ療養ノ給付ヲ受クル傷病ニ付昭和元年内務省令第一號第一條及同令第二條以外ノ保險醫ニ就キ療養ノ給付ヲ受クルコトノ承認ヲ受ケタルトキハ其ノ傷病ニ付テ保險醫ノ變更ノ承認又ハ官公立大學附屬醫院等ヲ保險醫ニ變更ノ承認ヲ受ケタルモノト看做ス被保險者緊急ノ爲承認ヲ受ケズシテ昭和元年内務省令第一號第一條及同令第二條以外ノ保險醫ニ就キ療養ノ給付ヲ受クルニ至リタル場合亦同ジ

第二十條 健康保險法第四十八條第一項ノ規定ニ依ル療養ノ給付ヲ受ケントスル申請書ニハ健康保險法施行規則第五十八條ニ掲グル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スベシ

一 工場、事業場又ハ事務所ノ所在地及名稱

二 現ニ官公立大學附屬醫院等ニ就キ療養ノ給付ヲ受クルモノナルトキハ其ノ官公立大學附屬醫院等ノ所在地及名稱

第二十一條 病院ニ收容セラレントスル申請書、一回ノ費用二十圓ヲ超ユル治療ヲ受ケントスル申請書、看護ノ給付ヲ受ケントスル申請書及移送ノ給付ヲ受ケントスル申請書ニハ健康保險法施行規則第五十六條ノ二第一項又ハ昭和二年十二月八日^{内務省令}省令健康保險ノ療養ノ給付ヲ爲ス大學附屬醫院等ニ關スル勅令施行ニ關スル件(以下昭和二年十二月八日^{内務省令}省令ト稱ス)第八條ノ二第一項ニ掲グル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スベシ

一 工場、事業場又ハ事務所ノ所在地及名稱

二 傷病名及其ノ療養ノ給付ノ開始年月日

三 病院ニ收容セラレントスル申請ニシテ收容セラレントスル希望ノ病院アルトキハ其ノ病院ノ所在地及名稱(官公立大學附屬醫院等ニ收容セラレントスル申請ニ在リテハ之ヲ除ク)

第二十二條 病院ニ收容セラレタル上一回ノ費用二十圓ヲ超ユル治療ヲ受ケントスルモノニ在リテハ病院ニ收容セラレントスル申請ト一回ノ費用二十圓ヲ超ユル治療ヲ受ケントスル申請トハ之ヲ一ノ申請書ヲ以テ爲シ且其ノ申請書ニハ病院ニ收容セラレタル上一回ノ費用二十圓ヲ超ユル治療ヲ受ケントスルモノナル旨ヲ記載スベシ

第二十三條 前二條ノ規定ハ健康保險法施行規則第五十六條ノ二第一項但書及昭和二年十二月八日^{内務省令}省令第八條ノ二第一項但書ノ規定ニ依ル居書ノ記載ニ之ヲ準用ス

第二十四條 療養ノ給付ヲ受クル疾病又ハ負傷ガ第三者ノ行爲ニ因ルモノナルトキノ居書ニハ健康保險法施行規則第五十二條ニ掲グル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スベシ

一 被保險者證ノ記載及番號

二 工場、事業場又ハ事務所ノ所在地及名稱

三 療養ノ給付ヲ受クル保險醫ノ診療所所在地及氏名又ハ官

公立大學附屬醫院等ノ所在地及名稱

第二十五條 健康保險法施行令第七十七條第一項第一號ノ療養費ノ支給ヲ受ケントスル居書、同令第七十七條第一項第二號ノ承認ヲ受ケントスル申請書、同令第七十七條第一項第二號ノ療養費ノ支給ヲ受ケントスル申請書及同令第七十七條第一項第三號ノ療養費ノ支給ヲ受ケントスル申請書ニハ健康保險法施行規則第五十三條第一項、同令第五十四條第一項、同令第五十五條第一項又ハ同令第五十六條第一項ニ掲グル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スベシ

一 工場、事業場又ハ事務所ノ所在地及名稱

二 傷病名

三 健康保險法施行令第七十七條第一項第二號ノ療養費ノ支給ヲ受ケントスル申請書ニ在リテハ同令第七十七條第一項第二號ノ承認ヲ受ケタル年月日

四 特定ノ日本銀行支店若ハ代理店又ハ郵便局ニ就キ支拂ヲ受ケントスルモノニ在リテハ其ノ銀行又ハ郵便局ノ所在地及名稱(健康保險法施行令第七十七條第一項第二號ノ承認ヲ受ケントスル申請書ニ在リテハ之ヲ除ク)

第二十六條 被保險者産院ニ收容セラレントスルトキハ其ノ旨ヲ申請スベシ

前項ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

健康保險法施行細則

一 被保險者證ノ記載及番號

二 工場、事業場又ハ事務所ノ所在地及名稱

三 收容セラレントスル希望ノ産院アルトキハ其ノ産院ノ所在地及名稱

第一項ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シタル醫師ノ意見書ヲ添附スベシ

一 分娩ノ豫定年月日

二 産院ニ收容ヲ要スル事由

三 産院收容ノ期間及費用ノ見積額

第二十七條 傷病手當金、埋葬料、埋葬費、分娩費及出産手當金ノ支給ノ請求書ニハ健康保險法施行規則第五十七條第一項同令第五十九條、同令第六十條、同令第六十一條又ハ同令第六十二條第一項ニ掲グル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スベシ

一 工場、事業場又ハ事務所ノ所在地及名稱

二 標準報酬ノ等級(分娩費ノ支給ノ請求ニ在リテハ之ヲ除ク)

三 支給ヲ受クベキ金額(埋葬費ノ支給ノ請求ニ在リテハ之ヲ除ク)

四 傷病手當金ノ支給ノ請求ニ在リテハ左ノ事項

イ 工場、事業場又ハ事業ニ於テ從事スル業務ノ種別(健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ニ在リテハ之ヲ

除ク)

ロ 傷病名

ハ 當該保險事故ニ付テ第何回目ノ請求ナリヤノ別
ニ 當該保險事故ガ第三者ノ行爲ニ因ルモノナルトキハ其ノ事實並ニ第三者ノ住所及氏名(住所又ハ氏名不詳ナルトキハ其ノ旨)(第二回目以後ノ請求ニ在リテハ之ヲ除ク)

五 分娩費ノ支給ノ請求ニ在リテハ左ノ事項

イ 死産ナルトキハ妊娠月數

ロ 助産ノ手當ヲ受ケザルモノニ在リテハ其ノ事由

六 出產手當金ノ支給ノ請求ニ在リテハ左ノ事項

イ 分娩前後ノ別

ロ 當該保險事故ニ付テ第何回目ノ請求ナリヤノ別

七 特定ノ日本銀行支店若ハ代理店又ハ郵便局ニ就キ支拂ヲ受ケントスルモノニ在リテハ其ノ銀行又ハ郵便局ノ所在地及名稱

第二十八條 健康保險法施行令第八十七條ノ規定ニ依ル傷病手當金ノ支給ノ請求書ニハ病院、病舎又ハ療養所ニ收容セラレタル期間ニ關スル當該病院、病舎又ハ療養所ノ證明書ヲ添付スベシ

第二十九條 (削除)

第三十條 (削除)

第三十一條 療養費、傷病手當金、分娩費又ハ出產手當金ノ支給ヲ受クベキ被保險者死亡シタル爲其ノ相續人ニ於テ之ガ支給ニ關スル届出、申請又ハ請求ヲ爲ス場合ノ届書、申請書又ハ請求書ニハ相續人タルコトヲ證スルニ足ルベキ戸籍謄本若ハ戸籍抄本又ハ市町村長ノ證明書ヲ添付スベシ埋葬料又ハ埋葬費ノ支給ヲ受クベキ者死亡シタル爲其ノ相續人ニ於テ之ノ支給ヲ請求ヲ爲ス場合ノ請求書亦同ジ

第三十二條 療養ノ給付ヲ受クル被保險者ノ疾病又ハ負傷ガ第三者ノ行爲ニ因ルモノナルトキノ届書ニ第三者ノ住所又ハ氏名不詳ナル爲其ノ旨ヲ記載シタル場合ニ於テ其ノ後第三者ノ住所又ハ氏名判明シタルトキハ被保險者ハ左ノ事項ヲ遅滞ナク知事ニ届出ズベシ健康保險法施行令第七十七條第一項第一號ノ療養費ノ支給ヲ受ケントスル届出、同令第七十七條第一項第二號ノ承認ヲ受ケントスル申請及同令第七十七條第一項第三號ノ療養費ノ支給ヲ受ケントスル申請並ニ傷病手當金ノ支給ノ請求ノ場合ニ於テ疾病又ハ負傷ガ第三者ノ行爲ニ因ルモノナルトキ第三者ノ住所又ハ氏名不詳ナル爲其ノ旨ヲ届書申請書又ハ請求書ニ記載シタル場合ニ於テ其ノ後第三者ノ住所又ハ氏名判明シタルトキ亦同ジ

一 被保險者證ノ記載及番號

二 工場、事業場又ハ事務所ノ所在地及名稱
三 第三者ノ行爲ヲ受ケタル年月日及傷病名
四 判明シタル第三者ノ住所又ハ氏名

埋葬料又ハ埋葬費ノ支給ノ請求ノ場合ニ於テ死亡ガ第三者ノ行爲ニ因ルモノナルトキ第三者ノ住所又ハ氏名不詳ナル爲其ノ旨ヲ請求書ニ記載シタル場合ニ於テ其ノ後第三者ノ住所又ハ氏名判明シタルトキハ埋葬料又ハ埋葬費ノ支給ヲ請求シタル者ハ前項ニ準ジ届出ズベシ

第三十三條 健康保險法施行令第八十五條(但書ヲ除ク)ニ該當スル被保險者アルトキハ事業主ハ左ノ事項ヲ遅滞ナク知事ニ届出ズベシ

- 一 被保險者ノ氏名
- 二 被保險者證ノ記載及番號
- 三 工場、事業場又ハ事務所ノ所在地及名稱
- 四 保險事故ノ種別
- 五 疾病又ハ負傷ニ在リテハ傷病名及其ノ疾病又ハ負傷ガ業務上ノ事由ニ因ルモノナリヤ否ヤノ別並疾病又ハ負傷ノ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハザリシ期間
- 六 分娩ニ在リテハ勞務ニ服セザリシ期間
- 七 繼續シテ報酬ヲ受ケ得ベキ期間及其ノ報酬ノ額
- 八 當該保險事故ニ付テ第何回目ノ届出ナリヤノ別

健康保險法施行細則

前項ノ届書ニハ疾病又ハ負傷ニ在リテハ勞務ニ服スルコト能ハザリシ期間ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書ヲ添付スベシ

第三十四條 第十五條第一項、第十六條、第二十六條第三項、第二十八條、第三十一條及前條第二項ノ規定ニ依リ保險醫、官公立大學附屬醫院等、醫師若ハ齒科醫師ノ意見書又ハ病院病舎、療養所若ハ市町村長ノ證明書ヲ添付スベキ場合ニ於テ申請書、請求書又ハ届書ニ相當ノ記載ヲ受ケタルトキハ意見書又ハ證明書ノ添付ヲ省略スルコトヲ得

第三十五條 (削除)

第三十六條 保險醫第十五條第一項、第十六條、第二十六條第三項又ハ第三十三條第二項ノ規定ニ依ル意見書ヲ求メラレタルトキハ正當ノ事由アルニ非ザレバ之ヲ拒ムコトヲ得ズ第三十四條ノ規定ニ依リ意見ノ記載ヲ求メラレタルトキ亦同ジ

第三十七條 保險產婆健康保險法施行規則第六十一條ノ規定ニ依ル證明書又ハ同令第六十二條第二項ノ規定ニ依ル意見書ヲ求メラレタルトキハ正當ノ事由アルニ非ザレバ之ヲ拒ムコトヲ得ズ同令第六十四條ノ規定ニ依リ證明又ハ意見ノ記載ヲ求メラレタルトキ亦同ジ

第二十條乃至第二十五條及第二十七條ノ規定ニ依リ届書、申請書又ハ請求書ニ記載スベキ事項ハ口頭ヲ以テ届出、申請又ハ請求ヲ爲スモノニ在リテハ其届出、申請又ハ請求ノ際之ヲ陳述スベシ

第三十七條ノ三 第十五條第一項、第十六條、第二十八條及第三十一條ノ規定ニ依リ届書、申請書又ハ請求書ニ添附スベキ書類ハ口頭ヲ以テ届出、申請又ハ請求ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ届出、申請又ハ請求ノ際之ヲ提出スベシ但シ知事ニ於テ其ノ必要ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三十七條ノ四 第三條第二項、第四條、第十四條、第十八條第二十六條第一項、第三十二條及第三十三條第一項ノ規定ニ依ル届出又ハ申請ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ届書又ハ申請書ニ添附スベキ書類ハ届出又ハ申請ノ際之ヲ提出スベシ但シ知事ニ於テ其ノ必要ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三十七條ノ五 第十一條及第十二條ノ規定ニ依ル返納書ノ提出ハ口頭ノ申出ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ返納書ニ記載スベキ事項ヲ陳述シ被保險者證ヲ提出スベシ

第三十八條 第三條第二項、第四條及第三十三條第一項ノ規定ニ依ル届出又ハ其ノ届書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第十四條ノ規定ニ依ル申出又ハ虚偽ノ申出ヲ爲シタル者

二 第十四條、第十八條及第三十二條ノ規定ニ依ル届出又ハ其ノ届書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

第四十條 本令中被保險者トアルハ保險給付ニ關スル事項ニ付テハ被保險者ノ資格喪失後保險給付ヲ受クル者ヲ含ムモノトス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (昭和十年三月三十日福岡縣令第十四號)

本令ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

健康保險助産手當規則

昭和八年三月十七日福岡縣令第十二號
改正昭和十年三月三十日福岡縣令第十五號

第一條 政府ノ管掌スル健康保險ノ被保險者ノ分娩ニ付テハ本令ニ依リ助産ノ手當ヲ行フ

第二條 本令ニ依リテ爲ス助産ノ手當ハ左ノ範圍トス

一 分娩前ノ診察

二 分娩ノ介助

三 分娩後ノ處置

第三條 被保險者ハ分娩ニ付テハ健康保險産婆(以下保險産婆ト稱ス)中自己ノ選定シタル者ニ就キ助産ノ手當ヲ受クベシ前項ノ保險産婆ハ知事ノ指定ス

第四條 被保險者ハ知事ノ承認ヲ受ケ他ノ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下之ニ同ジ)ノ指定シタル保險産婆(健康保險産婆ナル名稱タルト否トヲ問ハズ健康保險ノ助産ノ手當ヲ取扱フ産婆トシテ地方長官ヨリ指定セラレタル者ヲ謂フ以下之ニ同ジ)中自己ノ選定シタル者ニ就キ助産ノ手當ヲ受

クルコトヲ得但シ緊急ノ爲知事ノ承認ヲ受クルノ暇ナキトキハ其ノ承認ヲ受ケズシテ助産ノ手當ヲ受クルコトヲ得

第五條 被保險者ハ骨盤狹窄、胎位異狀其ノ他異常分娩ノ場合

健康保險助産手當規則

ニ於テハ知事ノ承認ヲ受ケ保險醫中自己ノ選定シタル者ニ就キ助産ノ手當ヲ受クルコトヲ得但シ緊急ノ爲知事ノ承認ヲ受クルノ暇ナキトキハ其ノ承認ヲ受ケズシテ助産ノ手當ヲ受クルコトヲ得

被保險者ハ正規分娩ノ場合ト雖モ緊急ノ爲保險産婆ニ就キ助産ノ手當ヲ受クルコト能ハザルトキハ保險醫中自己ノ選定シタル者ニ就キ助産ノ手當ヲ受クルコトヲ得

第六條 被保險者ガ前條ノ規定ニ依リ保險醫ニ就キ助産ノ手當ヲ受クルトキハ其ノ間保險産婆ニ就キ助産ノ手當ヲ受クルコトヲ得ズ被保險者ガ産院ニ收容セラレル間亦同ジ

第七條 被保險者保險醫ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタル後ニ於テ仍保險産婆ニ於テ爲スベキ助産ノ手當アルトキハ保險産婆ニ就キ之ヲ受クベシ

第八條 前條ノ場合ニ於テ保險醫ガ福岡縣以外ノ地ニ診療所ヲ有スル者ナルトキハ第四條ノ承認ヲ受ケズシテ他ノ地方長官ノ指定シタル保險産婆ニ就キ助産手當ヲ受クルコトヲ得

第九條 被保險者第三條第一項、第四條又ハ第五條ノ規定ニ依

リ保險産婆又ハ保險醫ヲ選定シタルトキハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ヲ除クノ外同一ノ分娩ニ付テハ其ノ保險産婆又ハ保險醫ヲ變更スルコトヲ得ズ

- 一 保險産婆又ハ保險醫ガ其ノ指定ヲ取消サレタルトキ
- 二 保險産婆又ハ保險醫ガ死亡シタルトキ
- 三 知事ノ指定シタル保險産婆ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタル被保險者ガ他ノ地方長官ノ指定シタル保險産婆ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタルニ至リタルトキ
- 四 知事ノ承認ヲ受ケタルトキ

第十條 被保險者正當ノ事由ナクシテ保險産婆ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケザルトキハ其ノ者ニ對シ支給スベキ分娩費ノ額ハ十圓トシ第五條ノ場合ニ於テ正當ノ事由ナクシテ保險醫ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケザルトキ亦同ジ

第十一條 被保險者ハ助産ノ手當ヲ受ケタルニ先チ分娩ノ見込時期(既ニ分娩シタルモノニ在リテハ分娩ノ年月日)ヲ知事ニ届出ヅベシ

- 前項ノ届書ニハ分娩ノ見込時期(既ニ分娩シタルモノニ在リテハ分娩ノ年月日)ノ外ニ左ノ事項ヲ記載スベシ
- 一 被保險者證ノ記號及番號
- 二 工場、事業場又ハ事務所(工場又ハ事業場ナキ事業ニ限ル以下之ニ同ジ)ノ所在地及名稱(健康保險法第二十條ノ

前項但書ノ已ムヲ得ザル事由ニ因リ助産手當受給資格認定書ヲ提出スルコト能ハザルトキハ其ノ事由止ミタル後遅滞ナク之ヲ其ノ保險産婆ニ提出スベシ

被保險者第一項ノ申出ヲ爲ス場合ニ於テ保險産婆ガ他ノ地方長官ノ指定シタル保險産婆ナル場合ニ於テハ之ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタルコトノ知事ノ承認ヲ受ケタルモノハ其ノ承認書ヲ保險産婆ニ提示スベシ

第十四條 被保險者保險産婆ヲ變更(第九條第三號ニ該當シ變更スル場合ヲ除ク)スルトキハ現ニ助産ノ手當ヲ受ケタル保險産婆及新ニ助産ノ手當ヲ受ケントスル保險産婆ニ其ノ旨ヲ申出デ且保險産婆ノ變更ニ付キ知事承認ヲ受ケタルモノハ其ノ承認書ヲ提示スベシ

被保險者前項ノ場合ニ於テハ現ニ助産ノ手當ヲ受ケタル保險産婆ヨリ(第九條第一號又ハ同條第二號ノ場合ニ於テハ助産ノ手當ヲ受ケタル保險産婆又ハ其ノ遺族等ヨリ)助産手當受給資格認定書ノ返還ヲ受ケテ之ヲ前條第二項ノ規定ニ依リ新ニ助産ノ手當ヲ受ケントスル保險産婆ニ提出スベシ

第十五條 前條ノ規定ハ知事ノ指定シタル保險産婆ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタル被保險者ガ他ノ地方長官ノ指定シタル保險産婆ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケントスル場合ニ之ヲ準用ス

健康保險助産手當規則

規定ニ依ル被保險者ニ在リテハ之ヲ除ク以下之ニ同ジ)

第十二條 前條ノ届出アリタル被保險者ニシテ助産ノ手當ヲ受ケタル資格アルモノト認定セル者ニ對シテハ知事ニ於テ左ノ事項ヲ記載シタル助産手當受給資格認定書ヲ交付ス

- 一 被保險者ノ氏名及生年月
- 二 被保險者證ノ記號及番號
- 三 工場事業場又ハ事務所ノ所在地及名稱
- 四 分娩ノ見込時期(既ニ分娩シタルモノニ在リテハ分娩ノ年月日)
- 五 被保險者ノ資格取得年月日(被保險者ノ資格ヲ取得シタルコト二回以上アルトキハ最後ノ資格取得年月日)
- 六 現ニ被保險者ノ資格ヲ喪失セル者ニ在リテハ其ノ喪失年月日
- 七 助産ノ手當ヲ受ケタル資格アルモノト認定セル旨

第十三條 被保險者保險産婆ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケントスルトキハ保險産婆ニ之ヲ申出ヅベシ

前項ノ申出ヲ爲ス場合ニ於テハ被保險者ハ助産手當受給資格認定書ヲ其ノ保險産婆ニ提出スベシ但シ已ムヲ得ザル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ此ノ場合ニ於テハ被保險者證ヲ其ノ保險産婆ニ提示(療養ノ給付ヲ受ケタル爲被保險者證ヲ保險醫ニ提出セルモノ等ニ付テハ之ヲ除ク)スベシ

産婆ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタルコトノ知事ノ承認ヲ受ケタルモノハ其ノ承認書ヲ現ニ助産ノ手當ヲ受ケタル保險産婆及新ニ助産ノ手當ヲ受ケントスル保險産婆ニ提示スベシ

第十六條 第十四條第二項ノ規定ハ第七條ノ規定ニ依リ保險産婆ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第十七條 他ノ地方長官ノ指定シタル保險産婆ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタルコトノ承認ヲ受ケントスル申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 被保險者證ノ記號及番號
- 二 工場、事業場又ハ事務所ノ所在地及名稱
- 三 分娩前ニ在リテハ分娩ノ見込時期
- 四 分娩後ニ在リテハ分娩ノ年月日
- 五 現ニ保險産婆ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタルモノ又ハ當該分娩ニ付保險産婆ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタルモノニ在リテハ其ノ保險産婆ノ開業地及氏名
- 六 他ノ地方長官ノ指定シタル保險産婆ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタル必要トスル事由

第十八條 被保險者他ノ地方長官ノ指定シタル保險産婆ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタルトキハ左ノ事項ヲ五日以内ニ知事ニ届出ヅベシ

- 二 工場事業場又ハ事務所ノ所在地及名稱
 - 三 助産ノ手當ヲ受ケタル保險産婆ノ開業地及氏名
 - 四 緊急ノ爲知事ノ承認ヲ受ケズシテ他ノ地方長官ノ指定シタル保險産婆ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタルモノニ在リテハ其ノ旨及緊急ナリシ事由並當該分娩ニ付前ニ保險産婆ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタルコトアルトキハ其ノ保險産婆ノ開業地及氏名
 - 五 第八條ノ規定ニ依リ知事ノ承認ヲ受ケズシテ他ノ地方長官ノ指定シタル保險産婆ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタルモノニ在リテハ其ノ旨並助産ノ手當ヲ受ケタル保險醫ノ診療所所在地及氏名
- 前項ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載シタル保險産婆(前項第三號ノ保險産婆ニ限ル)ノ證明書ヲ添附スベシ
- 一 助産ノ手當ヲ爲シタル年月日及事項
 - 二 分娩ノ年月日但シ分娩前ニ在リテハ分娩ノ豫定年月日
- 第十九條 保險産婆ノ變更ノ承認ヲ受ケントスル申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ
- 一 被保險者證ノ記號及番號
 - 二 工場、事業場又ハ事務所ノ所在地及名稱
 - 三 分娩前ニ在リテハ分娩ノ見込時期
 - 四 分娩後ニ在リテハ分娩ノ年月日

- 五 現ニ助産ノ手當ヲ受ケタル保險産婆ノ開業地及氏名
 - 六 變更後助産ノ手當ヲ受ケントスル保險産婆ノ開業地及氏名
 - 七 變更ヲ必要トスル事由
- 第二十條 被保險者第九條第一號又ハ同條第二號ニ該當シ保險産婆ヲ變更シタルトキハ左ノ事項ヲ五日以内ニ知事ニ届出ヅベシ
- 一 被保險者證ノ記號及番號
 - 二 工場事業場又ハ事務所ノ所在地及名稱
 - 三 分娩前ニ在リテハ分娩ノ見込時期
 - 四 分娩後ニ在リテハ分娩ノ年月日
 - 五 變更前助産ノ手當ヲ受ケタル保險産婆ノ開業地及氏名
 - 六 變更後助産ノ手當ヲ受ケタル保險産婆ノ開業地及氏名
 - 七 變更シタル事由
- 第二十一條 第十三條第一項乃至第三項ノ規定ハ被保險者保險醫ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケントスル場合ニ之ヲ準用ス
- 被保險者前項ノ場合ニ於テハ保險醫ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケルコトノ知事ノ承認ヲ受ケタルモノハ其ノ承認書ヲ保險醫ニ提示スベシ
- 第二十二條 第十四條ノ規定ハ被保險者保險醫ヲ變更スル場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條 第十四條及第十五條第二項ノ規定ハ保險産婆ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタル被保險者ガ保險醫ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケントスル場合ニ之ヲ準用ス

第二十四條 保險醫ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタルコトノ承認ヲ受ケントスル申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 被保險者證ノ記號及番號
 - 二 工場、事業場又ハ事務所ノ所在地及名稱
 - 三 現ニ保險産婆ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタルモノ又ハ當該分娩ニ付保險産婆ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタルモノニ在リテハ其ノ保險産婆ノ開業地及氏名
- 前項ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シタル醫師又ハ産婆ノ意見書ヲ添附スベシ
- 一 分娩ノ豫定年月日
 - 二 保險醫ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタル必要トスル事由
 - 三 助産ノ手當ノ内容

第二十五條 被保險者保險醫ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタルトキハ左ノ事項ヲ五日以内ニ知事ニ届出ヅベシ

- 一 被保險者證ノ記號及番號
- 二 工場、事業場又ハ事務所ノ所在地及名稱
- 三 助産ノ手當ヲ受ケタル保險醫ノ診療所所在地及氏名
- 四 當該分娩ニ付更ニ保險産婆ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタルニ

至リタルモノニ在リテハ其ノ保險産婆ノ開業地及氏名

五 緊急ノ爲知事ノ承認ヲ受ケズシテ保險醫ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタルモノニ在リテハ其ノ旨及緊急ナリシ事由並當該分娩ニ付保險産婆ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタルコトアルトキハ其ノ保險産婆ノ開業地及氏名

六 正規分娩ノ場合ニ於テ緊急ノ爲保險産婆ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタルコト能ハザリシニ依リ保險醫ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタルモノニ在リテハ其ノ旨及緊急ノ爲保險産婆ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタルコト能ハザリシ事由並當該分娩ニ付保險産婆ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタルコトアルトキハ其ノ保險産婆ノ開業地及氏名

前項ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載シタル保險醫(前項第三號ノ保險醫ニ限ル)ノ證明書ヲ添附スベシ

- 一 助産ノ手當ヲ爲シタル年月日及事項
- 二 分娩ノ年月日但シ分娩前ニ在リテハ分娩ノ豫定年月日
- 三 前項第五號ニ該當スルモノニ在リテハ保險醫ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタル必要トシタル事由

第二十六條 第十九條ノ規定ハ保險醫ノ變更ノ承認ヲ受ケントスル申請書ニ第二十條ノ規定ハ被保險者第九條第一號又ハ同條第二號ニ該當シ保險醫ヲ變更シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十七條 被保險者正當ノ事由ニ因リ保險産婆又ハ保險醫ニ